

(様式第 10)

名大医総第 92 号
平成 30 年 10 月 3 日

厚生労働大臣

殿

開設者名 国立大学法人名古屋大学
総長 松尾 清一 (印)

名古屋大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、平成 29 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒464-8601 名古屋市千種区不老町
氏 名	国立大学法人 名古屋大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

名古屋大学医学部附属病院

3 所在の場所

〒466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町65番地	電話 (052) 741-2111
-----------------------------	-------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有 ・ 無		
内科と組み合わせた診療科名等			
1 呼吸器内科	2 消化器内科	3 循環器内科	4 腎臓内科
5 神経内科	6 血液内科	7 内分泌内科	8 代謝内科
9 感染症内科	10 アレルギー疾患内科またはアレルギー科	11 リウマチ科	
診療実績 神経内科：脳神経内科にて医療を提供している 内分泌内科、代謝内科：糖尿病・内分泌内科にて医療を提供している。 感染症内科：内科全般にて医療を提供している。 アレルギー疾患内科またはアレルギー科：内科全般と小児科にて医療を提供している。			
※平成30年8月1日より、神経内科は脳神経内科に変更となりました。			

- (注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
 2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	(有) ・ 無
外科と組み合わせた診療科名	
(1)呼吸器外科 (2)消化器外科 3乳腺外科 (4)心臓外科 (5)血管外科 6心臓血管外科 7内分泌外科 (8)小児外科	
診療実績	
乳腺外科、内分泌外科：乳腺・内分泌外科にて医療を提供している。 心臓血管外科：心臓外科、血管外科にて医療を提供している。	

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

(1)精神科 (2)小児科 (3)整形外科 (4)脳神経外科 (5)皮膚科 (6)泌尿器科 (7)産婦人科 8産科 9婦人科 (10)眼科 (11)耳鼻咽喉科 (12)放射線科 13放射線診断科 14放射線治療科 (15)麻酔科 (16)救急科

- (注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	(有) ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名	
1小児歯科 2矯正歯科 (3)口腔外科	
歯科の診療体制	

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 児童精神科	2 病理診断科	3 リハビリテーション科	4 糖尿病・内分泌内科
5 老年内科	6 移植外科	7 形成外科	8 乳腺・内分泌外科
9 脳神経内科			

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
50床	床	床	床	1,030床	1,080床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	378人	324人	637.2人	看 護 補 助 者	54人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	9人	26人	31.6人	理 学 療 法 士	31人	臨床検査技師	83人
薬 剤 師	87人	7人	94人	作 業 療 法 士	7人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視 能 訓 練 士	12人	そ の 他	0人
助 産 師	33人	0人	33人	義 肢 装 具 士	0人	あん摩マッサージ指圧師	3人
看 護 師	1109人	41人	1138.6人	臨 床 工 学 士	37人	医療社会事業従事者	10人
准 看 護 師	1人	0人	1人	栄 養 士	0人	その他の技術員	98人
歯 科 衛 生 士	8人	0人	8人	歯 科 技 工 士	1人	事 務 職 員	327人
管 理 栄 養 士	8人	0人	8人	診 療 放 射 線 技 師	71人	そ の 他 の 職 員	8人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含まないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	61人	眼 科 専 門 医	9人
外 科 専 門 医	100人	耳 鼻 咽 喉 科 専 門 医	10人
精 神 科 専 門 医	12人	放 射 線 科 専 門 医	22人
小 児 科 専 門 医	39人	脳 神 経 外 科 専 門 医	21人
皮 膚 科 専 門 医	8人	整 形 外 科 専 門 医	44人
泌 尿 器 科 専 門 医	12人	麻 酔 科 専 門 医	21人
産 婦 人 科 専 門 医	25人	救 急 科 専 門 医	8人
		合 計	392人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (石黒 直樹) 任命年月日 平成25年 4月 1日

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで、名古屋大学医学部附属病院材料部長事務取扱を務め、医療機器安全管理責任者であった。
 平成22年4月1日から平成25年3月31日まで、名古屋大学医学部附属病院材料部長を務め、医療機器安全管理責任者であった。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	783.3人	9.3人	792.6人
1日当たり平均外来患者数	2,252.2人	78.6人	2,330.8人
1日当たり平均調剤数	708.0剤		
必要医師数	211人		
必要歯科医師数	6人		
必要薬剤師数	27人		
必要(准)看護師数	475人		

- (注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備 概 要			
集中治療室	1,691 m ²	鉄筋コンクリート	病床数	50床	心電計	(有)・無
			人工呼吸装置	(有)・無	心細動除去装置	(有)・無
			その他の救急蘇生装置	(有)・無	ペースメーカー	(有)・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 291 m ² [移動式の場合] 台数 台		病床数	27床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 54 m ² [共用室の場合] 共用する室名 薬歴管理室、高度医療薬剤支援室					
化学検査室	559 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 生化学自動分析装置、免疫自動分析装置			
細菌検査室	128 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) バクテアラート3D、マイクロスキャン			
病理検査室	341 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 検体検査装置クリオスタット、自動脱水包埋装置			
病理解剖室	66 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 解剖台、クリーンベンチ、臓器撮影台			
研究室	142 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 次世代シーケンサー、質量分析装置			
講義室	55 m ²	鉄筋コンクリート	室数	1室	収容定員	35人
図書室	41 m ²	鉄筋コンクリート	室数	1室	蔵書数	8,400冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	62.48%	逆紹介率	51.91%
算出根拠	A: 紹介患者の数		15,553 人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		13,393 人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		568 人
	D: 初診の患者の数		25,800 人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
柵木 充明	愛知県医師会 会長	○	愛知県医師会 長を務めており、 医療安全に精通し ているため。	有・ 無	1
三島 信彦	名古屋通信病 院 病院長		名古屋通信病 院長を務めており、 医療安全に精通し ているため。	有・ 無	1
長谷川 ふ き子	成田・長谷川法 律事務所 弁 護士		医療安全管理を 得意とする弁 護士であり、法律に 関する高い識見 を有しているた め。	有・ 無	1
芦田 豊	全国健康保険 協会 愛知支 部 支部長		全国健康保険協 会愛知支部長を 務めており、医療 を受ける者とし て、医療に係る高 い見識を有して いるため。	有・ 無	2
和田 肇	名古屋大学 副総長		総長が指名する 理事・副総長	有 ・無	3

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有 ・無
委員の選定理由の公表の有無	有 ・無
公表の方法 本院ホームページ上に公表。	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
泌尿生殖器腫瘍後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	1人
EBウイルス感染症迅速診断(リアルタイムPCR法)	48人
抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子検査	7人
腹腔鏡下広汎子宮全摘術	3人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
パクリタキセル腹腔内投与及び静脈内投与並びにS-1内服併用療法 腹膜播種又は進行性胃癌(腹水細胞診又は腹腔洗浄細胞診により遊離がん細胞を認めるものに限る。)	1人
インターフェロン α 皮下投与及びジドブジン経口投与の併用療法 成人T細胞白血病リンパ腫(症候を有するくすぶり型又は予後不良因子を有さない慢性型のものに限る。)	1人
骨髄由来間葉系細胞による顎骨再生療法	1人
S-1内服投与、シスプラチン静脈内投与及びパクリタキセル腹腔内投与の併用療法 腹膜播種を伴う初発の胃癌	19人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要 特になし		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	99	56	ベーチェット病	74
2	筋萎縮性側索硬化症	85	57	特発性拡張型心筋症	74
3	脊髄性筋萎縮症	1	58	肥大型心筋症	13
4	原発性側索硬化症	2	59	拘束型心筋症	1
5	進行性核上性麻痺	7	60	再生不良性貧血	60
6	パーキンソン病	300	61	自己免疫性溶血性貧血	3
7	大脳皮質基底核変性症	8	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	2
8	ハンチントン病	2	63	特発性血小板減少性紫斑病	78
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	1
10	シャルコー・マリー・トゥース病	4	65	原発性免疫不全症候群	11
11	重症筋無力症	114	66	IgA腎症	36
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	18
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	94	68	黄色靱帯骨化症	11
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	71	69	後縦靱帯骨化症	81
15	封入体筋炎	2	70	広範脊柱管狭窄症	9
16	クドウ・深瀬症候群	1	71	特発性大腿骨頭壊死症	98
17	多系統萎縮症	34	72	下垂体性ADH分泌異常症	29
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	85	73	下垂体性TSH分泌亢進症	1
19	ライソゾーム病	5	74	下垂体性PRL分泌亢進症	11
20	副腎白質ジストロフィー	1	75	クッシング病	8
21	ミトコンドリア病	8	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	2
22	もやもや病	94	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	66
23	プリオン病	0	78	下垂体前葉機能低下症	86
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0
25	進行性多巣性白質脳症	1	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	2	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	2
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	15	83	アジソン病	0
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	127
30	遠位型ミオパチー	2	85	特発性間質性肺炎	20
31	ペスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	48
32	自己貪食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	61
34	神経線維腫症	67	89	リンパ脈管筋腫症	11
35	天疱瘡	23	90	網膜色素変性症	52
36	表皮水疱症	5	91	バッド・キアリ症候群	7
37	膿疱性乾癬(汎発型)	1	92	特発性門脈圧亢進症	2
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	0	93	原発性胆汁性肝硬変	47
39	中毒性表皮壊死症	0	94	原発性硬化性胆管炎	19
40	高安動脈炎	40	95	自己免疫性肝炎	19
41	巨細胞性動脈炎	1	96	クローン病	322
42	結節性多発動脈炎	7	97	潰瘍性大腸炎	461
43	顕微鏡的多発血管炎	18	98	好酸球性消化管疾患	2
44	多発血管炎性肉芽腫症	8	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	7	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	7	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	パージャール病	33	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	1	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	206	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	88	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	113	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	混合性結合組織病	12	107	全身型若年性特発性関節炎	0
53	シェーグレン症候群	19	108	TNF受容体関連周期性症候群	1
54	成人スチル病	6	109	非典型溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	4	110	ブラウ症候群	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	0	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	5
113	筋ジストロフィー	5	163	特発性後天性全身性無汗症	0
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	1
117	脊髄空洞症	0	167	マルファン症候群	4
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	1
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	5
122	脳表ヘモジデリン沈着症	2	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	1	177	有馬症候群	0
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	1	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重症型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	1
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	プラダー・ウィリ症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	0	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重症型急性脳炎	1	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	2	208	修正大血管転位症	0
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	0
160	先天性魚鱗癬	1	210	単心室症	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	0	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	1	263	脳腫黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	0	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	0	266	家族性地中海熱	4
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	4	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	4
222	一次性ネフローゼ症候群	45	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	271	強直性脊椎炎	9
224	紫斑病性腎炎	2	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	3	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	2	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	1	276	軟骨無形成症	3
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	1	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	1
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	0	283	後天性赤芽球癆	1
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンconi貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	2	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	1
240	フェニルケトン尿症	0	288	自己免疫性出血病XIII	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	0
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	1
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸)	0
244	メーブルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	8
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膀胱炎	1
251	尿素サイクル異常症	0	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	7
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	3
254	ポルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	1
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシュャー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	0	305	遅発性内リンパ水腫	1
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	2

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
307	カナバン病	0	319	セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症	0
308	進行性白質脳症	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
309	進行性ミオクローヌステんかん	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
310	先天異常症候群	0	322	β ーケトチオラーゼ欠損症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	326	大理石骨病	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
316	カルニチン回路異常症	0	328	前眼部形成異常	0
317	三頭酵素欠損症	0	329	無虹彩症	0
318	シトリン欠損症	0	330	先天性気管狭窄症	0

(注) 「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ 特定機能病院入院基本料	・ 病棟薬剤業務実施加算2
一般病棟 7対1入院基本料	・ データ提出加算
精神病棟10対1入院基本料	・ 入退院支援加算2
・ 超急性期脳卒中加算	・ 入退院支援加算3
・ 診療録管理体制加算1	・ 精神疾患診療体制加算
・ 医師事務作業補助体制加算1	・ 精神科急性期医師配置加算
・ 急性期看護補助体制加算	・ 地域歯科診療支援病院入院加算
・ 看護職員夜間配置加算	・ 特定集中治療室管理料1
・ 療養環境加算	・ 総合周産期特定集中治療室管理料
・ 重症者等療養環境特別加算	・ 小児入院医療管理料2
・ 無菌治療室管理加算1	・ 小児入院医療管理料4
・ 無菌治療室管理加算2	・ 地域歯科診療支援病院歯科初診料
・ 緩和ケア診療加算	・ 歯科外来診療環境体制加算2
・ 精神科身体合併症管理加算	
・ 精神科リエゾンチーム加算	
・ 摂食障害入院医療管理加算	
・ 医療安全対策加算1	
・ 感染防止対策加算1	
・ 患者サポート体制充実加算	
・ ハイリスク妊娠管理加算	
・ ハイリスク分娩管理加算	
・ 精神科救急搬送患者地域連携受入加算	
・ 総合評価加算	
・ 呼吸ケアチーム加算	
・ 後発医薬品使用体制加算3	
・ 病棟薬剤業務実施加算1	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ 高度難聴指導管理料 (人工内耳埋込術の届出により可)	・ HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
・ 糖尿病合併症管理料	・ 検体検査管理加算(I)
・ がん性疼痛緩和指導管理料	・ 検体検査管理加算(IV)
・ がん患者指導管理料	・ 国際標準検査管理加算
・ 外来緩和ケア管理料	・ 遺伝カウンセリング加算
・ 移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・ 心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・ 移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・ 時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・ 糖尿病透析予防指導管理料	・ 胎児心エコー法
・ 乳腺炎重症化予防・ケア指導料	・ ヘッドアップティルト試験
・ 院内トリアージ実施料	・ 長期継続頭蓋内脳波検査
・ 夜間休日救急搬送医学管理料の注3に掲げる救急搬送看護体制加算	・ 神経学的検査
・ 外来放射線照射診療料	・ 補聴器適合検査
・ ニコチン依存症指導管理料	・ 内服・点滴誘発試験
・ 療養・就労両立支援指導料の注2に掲げる相談体制充実加算	・ 画像診断管理加算3
・ がん治療連携計画策定料	・ ポジトロン断層撮影
・ 肝炎インターフェロン治療計画料	・ ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
・ ハイリスク妊産婦連携指導料1	・ CT撮影及びMRI撮影
・ ハイリスク妊産婦連携指導料2	・ 冠動脈CT撮影加算
・ 薬剤管理指導料	・ 心臓MRI撮影加算
・ 医療機器安全管理料1	・ 乳房MRI撮影加算
・ 医療機器安全管理料2	・ 小児鎮静下MRI撮影加算
・ 医療機器安全管理料(歯科)	・ 頭部MRI撮影加算
・ 在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料	・ 抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・ 在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	・ 外来化学療法加算1
・ 持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定	・ 無菌製剤処理料
・ 遺伝学的検査	・ 心大血管疾患リハビリテーション料(I)
・ 骨髄微小残存病変量測定	・ 脳血管疾患等リハビリテーション料(I)

・ 運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	・ 上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)
・ 呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	・ 内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下パセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)、内視鏡下副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成手術
・ がん患者リハビリテーション	・ 乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(一連につき)(MRIによるもの)
・ 歯科口腔リハビリテーション2	・ 乳房切除術(性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。)
・ 児童思春期精神科専門管理加算	・ 乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)
・ 精神作業療法	・ 乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)
・ 認知療法・認知行動療法1	・ 乳腺悪性腫瘍手術(乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
・ 認知療法・認知行動療法2	・ ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・ 抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・ 胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・ 医療保護入院管理等診療料	・ 胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・ 導入期加算2及び腎代替療法実績加算	・ 肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)
・ CAD/CAM冠	・ 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・ 有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算1及び2	・ 食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、等
・ センチネルリンパ節生検(片側)	・ 経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・ 組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・ 胸腔鏡下弁形成術
・ 骨移植術(軟骨移植術含む。)(同種骨移植(非生体)(同種骨移植(特殊なものに限る。)))	・ 経カテーテル大動脈弁置換術
・ 骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・ 胸腔鏡下弁置換術
・ 後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)	・ ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・ 腫瘍脊椎骨全摘術	・ ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)
・ 脳腫瘍覚醒下マッピング加算	・ 両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・ 脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・ 植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術
・ 脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・ 両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・ 仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術(便失禁)	・ 大動脈バルーンポンピング法(IABP法)
・ 仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術(便過活動膀胱)	・ 経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
・ 緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・ 補助人工心臓
・ 緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)	・ 植込型補助人工心臓(非拍動流型)
・ 網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	・ 同種心移植術
・ 網膜再建術	・ 骨格筋由来細胞シート心表面移植術
・ 人工中耳植込術	・ バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
・ 人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	・ 胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)

・ 体外衝撃波胆石破碎術	・ 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
・ 腹腔鏡下胆道閉鎖症手術	・ 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
・ 腹腔鏡下肝切除術	・ 子宮附属器腫瘍摘出術(両側)(性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。)
・ 生体部分肝移植術	・ 胎児胸腔・羊水腔シャント術
・ 同種死体肝移植術	・ 輸血管管理料 I
・ 腹腔鏡下膵腫瘍摘出術	・ 輸血適正使用加算
・ 腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	・ 貯血式自己血輸血管理体制加算
・ 腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術	・ コーディネート体制充実加算
・ 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・ 自己生体組織接着剤作成術
・ 腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・ 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・ 体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	・ 広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・ 腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・ 麻酔管理料(I)
・ 同種死体腎移植術	・ 麻酔管理料(II)
・ 生体腎移植術	・ 放射線治療専任加算
・ 膀胱水圧拡張術	・ 外来放射線治療加算
・ 腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・ 高エネルギー放射線治療
・ 腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・ 1回線量増加加算
・ 尿道形成手術(前部尿道)(性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。)	・ 強度変調放射線治療(IMRT)
・ 尿道下裂形成手術(性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。)	・ 画像誘導放射線治療加算(IGRT)
・ 陰茎形成術(性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。)	・ 体外照射呼吸性移動対策加算
・ 人工尿道括約筋植込・置換術	・ 定位放射線治療
・ 陰茎全摘術(性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。)	・ 定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・ 精巣摘出術(性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。)	・ 病理診断管理加算2
・ 腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	・ デジタル病理画像による病理診断
・ 腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・ 悪性腫瘍病理組織標本加算
・ 会陰形成手術(筋層に及ばないもの)(性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。)	・ クラウン・ブリッジ維持管理料
・ 造脘術、脘閉鎖症術(遊離植皮によるもの、腸管形成によるもの、筋皮弁移植によるもの)(性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。)	
・ 子宮全摘術(性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。)	
・ 腹腔鏡下膣式子宮全摘術(性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。)	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・ 実物大臓器立体モデルによる手術計画(頭蓋顎顔面領域の骨変形、欠損若しくは骨折又は骨盤、四肢骨若しくは脊椎の骨格に変形を伴う疾患に係るものに限る。)	・
・ 悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	・
・ 腹腔鏡下前立腺摘除術	・
・ 膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るものに限る。)	・
・ 内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	・
・ インプラント義歯	・
・ 抗悪性腫瘍剤感受性検査(HDRA法又はCD-DST法)	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	解剖・病理部 月1回
剖 検 の 状 況	剖検症例数 20 例 / 剖検率 5.4 %

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補助元	委託元
白質・ミエリン障害を病因とする統合失調症サブグループの同定	尾崎 紀夫	精神科	13,650,000	補委	日本学術振興会
脳タンパク質老化と認知症制御	祖父江 元	神経内科	29,380,000	補委	日本学術振興会
脳タンパク質老化と神経回路破壊の可視化	祖父江 元	神経内科	44,200,000	補委	日本学術振興会
心不全における心筋配向変化の多元計算解剖学解析—マイクロCTと組織標本の比較検討	秋田 利明	心臓外科	2,080,000	補委	日本学術振興会
超高精細胸壁並行断面CTと人工知能によるびまん性肺疾患のコンピュータ支援診	岩野 信吾	放射線科	1,820,000	補委	日本学術振興会
分子トレーシングを基盤としたがんと神経の細胞標的分子の創製	夏目 敦至	脳神経外科	26,650,000	補委	日本学術振興会
ベトナムにおける妊産婦管理および婦人科rare tumorの学際的研究	吉川 史隆	産婦人科	8,580,000	補委	日本学術振興会
デスモイド型線維腫症の病態に基づく診断、新規治療開発への学際的・国際的共同研究	西田 佳弘	整形外科	10,400,000	補委	日本学術振興会
カテプシンK-Notch signal 経路 とサルコペニアに関する研究	葛谷 雅文	老年科	2,730,000	補委	日本学術振興会
ストレス性血管病におけるGLP1/DDP4の新しい作用メカニズム解明と治療応用	成 憲武	老年科	4,940,000	補委	日本学術振興会
表皮における脂質メディエーターの役割の解明と角化異常症の新規治療戦略への展開	秋山 真志	皮膚病態学	5,070,000	補委	日本学術振興会
幹細胞由来ペプチドを用いた革新的大動脈瘤治療法の開発	碓氷 章彦	心臓外科	1,950,000	補委	日本学術振興会
時空的観察による卵胞発育制御機構の解明と卵胞発育因子の同定	岩瀬 明	産婦人科	2,210,000	補委	日本学術振興会
剥離網膜の包括的病態解析と新規細胞保護治療開発	寺崎 浩子	眼科	5,330,000	補委	日本学術振興会
腎領域の臨床研究を促進する新規腎アウトカム指標を決定する国際共同研究	安田 宜成	CKD寄附講座	4,160,000	補委	日本学術振興会
体内で分解し残存異物とならない新規マグネシウムデバイス開発と各種疾患治療への応用	内田 広夫	小児外科	5,070,000	補委	日本学術振興会
重症心不全における心筋配向変化が心機能増悪をもたらす機序の解明	秋田 利明	心臓外科	4,030,000	補委	日本学術振興会
スーパーエンハンサーによる脳腫瘍の発生と悪性化のクロマチンダイナミクスの解明	夏目 敦至	脳神経外科	5,070,000	補委	日本学術振興会
Drug repositioning 戦略による整形外科領域の新規医療開発	石黒 直樹	整形外科	5,330,000	補委	日本学術振興会
婦人科がんの個別化腫瘍免疫療法を旨とした腫瘍浸潤リンパ球の基礎的研究	吉川 史隆	産婦	5,590,000	補委	日本学術振興会
過酷な培養環境に応答した細胞由来因子群による骨再生法	日比 英晴	口腔外科	2,600,000	補委	日本学術振興会
アジア太平洋地域における膜性腎症の診断・治療・疫学に関する調査研究	丸山 彰一	腎臓内科	5,720,000	補委	日本学術振興会
情動行動の基盤となる神経機序の解明	永井 拓	薬剤部	7,800,000	補委	日本学術振興会
トランスレータブル視覚弁別試験の基盤研究と創薬への応用	山田 清文	薬剤部	7,540,000	補委	日本学術振興会
骨格筋由来分泌蛋白を標的とした心血管病の病態解明と治療法の開発	大内 乗有	分子心血管病寄附	7,150,000	補委	日本学術振興会
間葉系幹細胞特異的マーカーを利用した糸球体腎炎の病態解明と新規細胞治療法の開発	丸山 彰一	腎臓内科	7,540,000	補委	日本学術振興会

運動ニューロン疾患における神経コミュニケーション異常の分子病態解明と治療法開発	勝野 雅央	神経内科	7,150,000	補委	日本学術振興会
新生児消化器疾患発症機序の分子生物学的解明に向けた解析ワークフローの確立	田中 裕次郎	小児外科	6,240,000	補委	日本学術振興会
内耳老廃物排泄機構に着目した新機軸脳神経臨床画像診断の確立	長縄 慎二	放射線科	4,680,000	補委	日本学術振興会
胃癌腹膜播種特異的関連分子を標的とした新規腹腔内治療法の開発	小寺 泰弘	消化器外科2	5,330,000	補委	日本学術振興会
EDHFをターゲットとした新しい血管病の探索研究—血管内膜肥厚とEDHFの関連—	古森 公浩	血管外科	9,880,000	補委	日本学術振興会
FGFR3シグナルの活性化による骨軟骨機能の検討	鬼頭 浩史	整形外科	7,800,000	補委	日本学術振興会
卵巣癌関連腹膜中皮に新機軸をのいた腹腔内細胞クロストークに関する学際的機能研究	梶山 広明	産婦人科	6,630,000	補委	日本学術振興会
ループス腎炎の炎症特異的診断バイオマーカー開発とその実用化に関する国際調査研究	坪井 直毅	腎臓内科	6,500,000	補委	日本学術振興会
経済グローバル化により産み出される環境汚染に対する解決スキームの構築	加藤 昌志	環境労働衛生学	3,770,000	補委	日本学術振興会
双極性障害のゲノムコピー数変異解析に基づく分子病態解明	久島 周	精神科	11,310,000	補委	日本学術振興会
小児急性脳症の網羅的メタボローム・マイクロRNA解析を用いたバイオマーカー探索	鳥居 ゆか	小児科学	1,300,000	補委	日本学術振興会
神経筋ネットワーク変性における分子シグナル異常を標的とした治療法開発	飯田 円	神経内科	1,430,000	補委	日本学術振興会
免疫抑制受容体による抗原特異的T細胞の免疫応答制御の解明と細胞療法への応用	後藤 辰徳	血液内科	1,300,000	補委	日本学術振興会
胎児脳障害に対する分子状水素の予防効果に関する研究	今井 健史	産科婦人科	1,300,000	補委	日本学術振興会
新規アディポカイン「オメンチン」の腹部大動脈瘤形成および進展における役割解明	井上 陽子	循環器内科	570,000	補委	日本学術振興会
胸部大血管術後患者に対する神経筋電気刺激の効果に関する非ランダム化比較試験	清水 美帆	リハビリ	570,000	補委	日本学術振興会
凝固波解析を用いた新規フィブリノゲン異常症検出法の開発	鈴木 敦夫	検査部	570,000	補委	日本学術振興会
次世代シーケンサーを用いた非結核性抗酸菌ゲノム配列の国際比較と病原性遺伝子の探索	稲垣 孝行	薬剤部	550,000	補委	日本学術振興会
胎生期におけるreelinをターゲットとした統合失調症発現メカニズムの解明	北川 佳奈子	薬剤部	550,000	補委	日本学術振興会
精神疾患の環境的要因曝露における発症機序の解明および新規治療薬の選定	肥田 裕丈	薬剤部	550,000	補委	日本学術振興会
統合失調症におけるADAMTS-3の機能解明	常浦 祐未	薬剤部	550,000	補委	日本学術振興会
ワイヤレスネットワークデバイスを活用した上肢機能評価システムの開発	吉田 彬人	リハビリ	550,000	補委	日本学術振興会
心血管病におけるリンパ管新生療法の展開研究	清水 優樹	循環器内科(卒キヤリ)	1,430,000	補委	日本学術振興会
精神障害の新たな病態理解に向けた脳の神経ネットワーク形成異常の解明	石塚 佳奈子	親と子どもの心療科	1,430,000	補委	日本学術振興会
正電荷ナノワイヤと高感度SNP検出装置による脳腫瘍リキッドバイオプシー遺伝子診断	栗本 路弘	脳神経外科	1,430,000	補委	日本学術振興会
胆道癌における包括的遺伝子配列解析による悪性化メカニズムの解明と臨床応用	尾上 俊介	消化器外科一	1,430,000	補委	日本学術振興会
肝硬変における細胞外基質の変化が肝細胞機能へ与える影響の解析と治療法の探索	小木曾 聡	移植外科	1,430,000	補委	日本学術振興会
循環腫瘍DNAを用いた肺癌の術前治療の新規効果判定法と予後予測	末永 雅也	消化器外科二	1,430,000	補委	日本学術振興会
妊娠高血圧腎症と将来の心血管障害発症との関連性～エピジェネティクスの観点より	牛田 貴文	産科婦人科	1,430,000	補委	日本学術振興会

計29件
累計55件

腹腔内細胞コミュニケーションに基づくp53変異卵巣癌における腹膜進展機序の新展開	芳川 修久	産科婦人科(卒キヤリ)	1,430,000	補委	日本学術振興会
腹膜リンパ管新生におけるCTGFの役割	鬼無 洋	腎不全システム治療学寄附講座	1,430,000	補委	日本学術振興会
幹細胞が分泌するエクソソームを用いた新たな骨再生治療法の開発	坂口 晃平	歯科口腔外科	1,430,000	補委	日本学術振興会
ミクログリア制御による新規疼痛制御治療薬の開発	加納 史也	歯科口腔外科	1,430,000	補委	日本学術振興会
歯髄幹細胞由来エクソソームを用いたビスホスホネート関連顎骨壊死の治療法の開発	岡部 一登	科口腔外科	1,430,000	補委	日本学術振興会
臨床応用へ向けた温熱刺激による新規骨形成法	大田 剛広	整形外科	1,430,000	補委	日本学術振興会
神経軸索再生における受容体型チロシンキナーゼALKの機能解析	町野 正明	整形外科	1,300,000	補委	日本学術振興会
間葉系幹細胞による大動脈瘤治療の臨床応用を目指した研究	緒方 藍歌	心臓外科	3,770,000	補委	日本学術振興会
青年期うつ病に対する治療ガイドラインの確立に向けた研究	鈴木 太	精神科	1,534,000	補委	日本学術振興会
高齢者悪性胸膜中皮腫に対する治療選択の最適化をめざした基盤構築	森瀬 昌宏	呼吸器内科	1,690,000	補委	日本学術振興会
がん悪液質におけるサルコペニア発症機序の解明	下方 智也	ガンプロ	1,300,000	補委	日本学術振興会
インスリン抵抗性に着目したアルツハイマー病バイオマーカーの縦断的研究	梅垣 宏行	老年科	1,560,000	補委	日本学術振興会
運動による認知機能低下予防効果の機序の解明	柳川 まどか	老年科	650,000	補委	日本学術振興会
急性肝不全モデル動物における歯髄由来幹細胞の効果-肝臓における炎症と再生の相関	石上 雅敏	消化器内科	1,300,000	補委	日本学術振興会
心電図周波数解析と心内ローターマッピングを用いた新しい心房細動評価と治療法の開発	因田 恭也	循環器内科	1,040,000	補委	日本学術振興会
治療標的検索のための肺がん細胞におけるメカニカルストレスの解析	近藤 征史	呼吸器内科	1,170,000	補委	日本学術振興会
慢性腎臓病・高血圧におけるフルクトース代謝の役割と分子機構の解明	石本 卓嗣	腎臓内科	1,300,000	補委	日本学術振興会
卵膜由来間葉系幹細胞を用いた腎疾患治療	勝野 敬之	腎臓内科	1,170,000	補委	日本学術振興会
日本における抗PLA2R抗体関連膜性腎症の実態と病態機序の解明	秋山 真一	腎臓内科	1,170,000	補委	日本学術振興会
腎疾患領域におけるリンパ管新生の観点からの病態解明とその治療戦略	伊藤 恭彦	腎不全寄附講座(腎臓内科)	1,690,000	補委	日本学術振興会
腹膜透析関連腹膜炎、特に真菌感染の腹膜に与える影響と、補体活性制御系の関与	水野 正司	腎不全寄附講座(腎臓内科)	1,430,000	補委	日本学術振興会
慢性腎不全患者の予後を規定する炎症をターゲットとする新しい治療戦略の確立	坂田 史子	腎臓内科	650,000	補委	日本学術振興会
ALS/FTLDの高次機能障害におけるadult neurogenesisの役割	石垣 診祐	神経内科	1,690,000	補委	日本学術振興会
レジストリ構築による球脊髄性筋萎縮症の早期バイオマーカー開発	橋詰 淳	神経内科	1,430,000	補委	日本学術振興会
NIID(エオジン好性核内封入体病)の病態の解明および原因遺伝子探索	曾根 淳	難知性神経疾患寄附講座(神経内科)	1,430,000	補委	日本学術振興会
高脂肪食誘発性の視床下部炎症におけるプロテインフォスファターゼ1Bの作用解析	坂野 僚一	糖尿病内分泌内科	1,690,000	補委	日本学術振興会
エネルギーバランスにおける報酬系GABABシステムの機能解析	有馬 寛	糖尿病内分泌内科	1,560,000	補委	日本学術振興会
患者由来腫瘍細胞を用いたスクリーニングによるPh陽性ALL治療薬の探索	早川 文彦	血液内科	1,170,000	補委	日本学術振興会
免疫抑制的腫瘍微小環境を打破する遺伝子導入Tリンパ球の開発とその機能解析	寺倉 精太郎	血液内科	1,560,000	補委	日本学術振興会

計29件
累計84件

組織浸潤アロT細胞の標的抗原とクロナタイプに着目したGVHDバイオマーカーの開発	村田 誠	血液内科	1,690,000	補委	日本学術振興会
炎症性樹状細胞と好塩基球を基軸とした気管支喘息発症・増悪メカニズムの解析	若原 恵子	呼吸器内科	910,000	補委	日本学術振興会
小児再生不良性貧血の免疫抑制療法反応性を予測するバイオマーカーの開発	村松 秀城	小児科	1,430,000	補委	日本学術振興会
骨肉腫に対するIGF受容体を標的とした新規キメラ抗原受容体T細胞療法の開発	西尾 信博	先端医療	1,040,000	補委	日本学術振興会
慢性肺炎疾患合併肺高血圧症に対する肺胞増殖を介した新規治療法の開発	加藤 太一	小児科	1,560,000	補委	日本学術振興会
次世代シーケンサーを用いた統合失調症多発家系の遺伝子解析と病因・病態解明	Aleksic Branko	国際教育(精神科)	130,000	補委	日本学術振興会
老年期精神障害における神経画像の背景病理に関する臨床神経病理学的検討	藤城 弘樹	睡眠医学寄附講座(精神科)	910,000	補委	日本学術振興会
スペクトラルマンモグラフィとMRIによる乳癌の宿主・腫瘍側リスクの定量化と層別化	佐竹 弘子	放射線科	1,300,000	補委	日本学術振興会
大規模3次元CT画像データベースを利用した胸部疾患コンピュータ支援診断の開発	岩野 信吾	放射線科	910,000	補委	日本学術振興会
放射線抵抗性表在癌に対する半導体レーザーによる温熱装置の開発とその臨床応用	久保田 誠司	放射線科	780,000	補委	日本学術振興会
グルカゴン遺伝子ノックアウトマウスを用いた膵内分泌腫瘍に対する治療・予防法の開発	菊森 豊根	乳腺内分泌外科	1,560,000	補委	日本学術振興会
術後感染性合併症に対するRAGE活性化機序の解明と治療法の開発	深谷 昌秀	消化器外科(外科1)	1,300,000	補委	日本学術振興会
クローン術後抗TNF α 抗体維持療法の有効性と安全性に関する検討	中山 吾郎	消化器外科(外科2)	520,000	補委	日本学術振興会
慢性大動脈解離entry閉鎖を目的とした生体適合性形状記憶ポリマーの開発	六鹿 雅登	心臓外科	1,690,000	補委	日本学術振興会
ClopidogrelおよびPrasugrelの自家静脈グラフト内膜肥厚抑制効果	児玉 章朗	血管外科	1,560,000	補委	日本学術振興会
脊髄再生の足場となる新規自己集合体ペプチドゲル有効性の検証	安藤 圭	整形外科	2,080,000	補委	日本学術振興会
脳科学を応用した疼痛関連SNP解析技術の確立	岩月 克之	手の外科	1,560,000	補委	日本学術振興会
神経筋接合部の変性制御により神経損傷後の運動機能回復を促進する薬理的アプローチ	栗本 秀	ニプロ協同講座(手の外科)	1,170,000	補委	日本学術振興会
メクロジンによるFGFR3シグナル抑制効果の動物モデルにおける検討	松下 雅樹	整形外科	1,430,000	補委	日本学術振興会
脳死関連肺障害の病態解明と予防・治療法の開発ー特にNPYとVEGFと関連して	西脇 公俊	麻酔科	1,560,000	補委	日本学術振興会
Instructional designに基づく新しい内視鏡手術教育システム	藤原 道隆	クリニカルシミュレーション	1,560,000	補委	日本学術振興会
診療の質評価と共感への認識探索を通じた医師の共感に関する自己評価再検討	高橋 徳幸	総合診療科	1,300,000	補委	日本学術振興会
高齢者の運動器疾患と酸化ストレス・栄養摂取に関する疫学的研究	関 泰輔	整形外科	1,560,000	補委	日本学術振興会
高齢者総合評価(CGA)の地域展開と地域在住高齢者の療養状況に関する研究	大西 丈二	老年科	1,040,000	補委	日本学術振興会
ヒト内視鏡生検検体を用いた腸炎上皮傷害に関わるバイオマーカーの探索的研究	中村 正直	消化器内科	2,080,000	補委	日本学術振興会
心筋疾患におけるKlotho-FGF系の病態生理学的意義の解明	奥村 貴裕	循環器内科	1,430,000	補委	日本学術振興会
心臓線維化における老化制御因子WRNタンパクの役割	坂東 泰子(暮石 泰子)	循環器内科	1,820,000	補委	日本学術振興会
ExosomesとマイクロRNAを用いた、安全性の高いオーダーメイド治療の開発	加藤 規利	腎臓内科	1,170,000	補委	日本学術振興会
白血球接着因子とその調節分子の糸球体腎炎における機能解析と細胞移入治療への応用	坪井 直毅	腎臓内科	1,300,000	補委	日本学術振興会

計29件
累計113件

睡眠メラトニン測定によるパーキンソン病における睡眠障害のバイオマーカー開発	中村 友彦	神経内科	1,560,000	補委	日本学術振興会
グラスリン依存性エンドサイトーシス関連分子CALMを標的とした白血病治療の可能性	石川 裕一	血液内科	1,560,000	補委	日本学術振興会
病的やせを伴う摂食障害の病態解明と新規治療法に関する研究	田中 聡	精神科	260,000	補委	日本学術振興会
社会的刺激への反射的応答に着目した自閉スペクトラム症の生物学的病態解明	岡田 俊	精神科	650,000	補委	日本学術振興会
頭頸部癌患者の社会適応状態の調査及び健康関連QOLを障害するメカニズムの解明	足立 康則	精神科	780,000	補委	日本学術振興会
Dual Source CTを用いた進行直腸癌の術前マネージメントシステムの確立	石垣 聡子	放射線科	1,040,000	補委	日本学術振興会
ヒト脳老廃物排泄機構の時空間的低侵襲画像評価法の開発	川井 恒	放射線科	2,340,000	補委	日本学術振興会
小児から老人まで、機能的脳MRIと生理学的指標とから見た発達・加齢	中根 俊樹	放射線科	1,430,000	補委	日本学術振興会
癌幹細胞に対する新規治療戦略	角田 伸行	乳腺内分泌外科1	1,300,000	補委	日本学術振興会
TLR7を標的にした新規癌治療法における作用機序の解明	上原 圭介	消化器外科1	1,430,000	補委	日本学術振興会
システインの肝障害抑制に関する作用機序の解明	横山 幸浩	消化器外科1	1,300,000	補委	日本学術振興会
Pre-metastatic nicheを制御する新規転移抑制治療法の開発	水野 隆史	消化器外科1	1,040,000	補委	日本学術振興会
血中エクソソームを利用した膵癌タイプ別分類に基づくテーラーメイド治療の確立	山田 豪	消化器外科2	1,170,000	補委	日本学術振興会
心筋梗塞に対するエクソソーム投与による心筋再生誘導の検討	寺澤 幸枝	心臓外科	1,820,000	補委	日本学術振興会
大動脈形態の3D画像解析によるステントグラフト長期予後規定因子の分析	杉本 昌之	血管外科	1,170,000	補委	日本学術振興会
神経筋接合部保持が神経機能再生にもたらす効果とその利用法の確立	大西 哲朗	手の外科	1,560,000	補委	日本学術振興会
ヒアルロン酸レセプターCD44の断片化阻害による、軟骨細胞の脱分化抑制効果	高橋 伸典	整形外科	1,690,000	補委	日本学術振興会
敗血症関連脳症の病態機序の解明および治療薬の検討	里元 麻衣子	麻酔科	1,690,000	補委	日本学術振興会
薬物生体相互作用の多次元行列を用いた解析による、新薬力学モデルの開発	足立 裕史	麻酔・蘇生医学	1,170,000	補委	日本学術振興会
網膜色素変性における網膜内層の機能と形態	上野 真治	眼科	1,430,000	補委	日本学術振興会
2光子励起顕微鏡を用いたケロイド内膠原線維のライブイメージングとその解析	高成 啓介	形成外科	1,690,000	補委	日本学術振興会
アカデミックナースによる病院と大学のパートナーシップモデルの構築	寺田 八重子	卒後キャリア(看護)	1,300,000	補委	日本学術振興会
医療現場の倫理問題への制度的関与の検討	飯島 祥彦	倫理審査	650,000	補委	日本学術振興会
がん薬物療法における血管新生阻害作用に関連した臨床薬理研究	満間 綾子	ガンプロ	780,000	補委	日本学術振興会
生薬成分・腸内細菌代謝産物によるサイトカイン・ケモカイン産生制御と抗炎症療法	石黒 和博	消化器内科	1,430,000	補委	日本学術振興会
新規脂肪由来分泌因子による血管リモデリング制御機構	大橋 浩二	分子心血管学寄附(循内)	1,560,000	補委	日本学術振興会
MKおよび血管拡張因子EETsを介した腎・血圧調節機構の解明と新規降圧療法の開発	加藤 佐和子	腎臓内科	1,170,000	補委	日本学術振興会
免疫介在性ニューロパシーにおける傍ランビエ絞輪部に着目した軸索障害機序の解明	飯島 正博	神経内科	1,300,000	補委	日本学術振興会
カルバペネム耐性E. cloacaeの薬剤耐性機序と分子疫学に関する研究	八木 哲也	臨床感染制御	1,690,000	補委	日本学術振興会

計29件
累計142件

脳波一機能的MRI同時記録によるウェスト症候群のてんかん焦点の解明と予後予測	夏目 淳	障害児医療寄附 (小児科)	1,040,000	補委	日本学術振興会
Hybrid EMTの見地からみた胸管内微小腫瘍細胞の同定による新たな食道癌治療	小池 聖彦	消化器外科2	1,170,000	補委	日本学術振興会
ピサポロール誘導体の作用機序の解明と臨床応用	國料 俊男	腫瘍外科	1,170,000	補委	日本学術振興会
ドラッグリポジショニングによる骨折・骨欠損新規治療法の開発	三島 健一	整形外科	1,560,000	補委	日本学術振興会
吸入麻酔薬は可逆的なヒストン脱メチル化に関与しているか	小西 裕子	麻酔科	1,300,000	補委	日本学術振興会
脂肪由来再生細胞による尿失禁再生治療の作用機序と前立腺癌細胞に対する影響の検討	後藤 百万	泌尿器科	1,300,000	補委	日本学術振興会
先天性難聴を誘発する新規分子の特定と予防・治療法の開発	曾根 三千彦	耳鼻科	1,560,000	補委	日本学術振興会
超高解像度眼底撮影装置・黄斑部局所網膜電図を用いた網膜血管と視機能の関係の検討	伊藤 逸毅	眼科	1,560,000	補委	日本学術振興会
活性化大網培養上清を用いた難治性創傷治癒に与える影響に関する基礎的研究	亀井 譲	形成外科	1,820,000	補委	日本学術振興会
介入による消化器癌周術期高齢者機能の改善と機能低下に影響するバイオマーカー探索	田中 千恵	消化器外科2	1,690,000	補委	日本学術振興会
ストレス感受性転写因子NPAS4を標的とした神経精神疾患治療薬の開発	日比 陽子	薬剤部	1,690,000	補委	日本学術振興会
本邦・アジア造血細胞移植レジストリの国際データ標準化に関する研究	鋤塚 八千代	先端医療	1,950,000	補委	日本学術振興会
抗がん薬による下痢・腸炎の病態解明と新治療法の開発	安藤 雄一	化学療法部	1,170,000	補委	日本学術振興会
地域連携クリティカルパスを用いた標準的癌診療工程プロセスとその最適化	白鳥 義宗	メディカルIT	1,950,000	補委	日本学術振興会
非B非C型肝炎における腸内細菌叢と治療介入	本多 隆	消化器内科	2,860,000	補委	日本学術振興会
運動療法による冠動脈・頸動脈プラーク退縮と安定化、メカニズムの検討	石井 秀樹	循環器内科	1,300,000	補委	日本学術振興会
肺高血圧症病状進行での血管新生抑制型アイソフォームVEGF-A165b役割解明	近藤 隆久	肺高血圧寄附講座	2,470,000	補委	日本学術振興会
新規心臓特異的プロテインキナーゼが修飾する生理機能の解明	竹藤 幹人	循環器内科	1,430,000	補委	日本学術振興会
オメンチンを標的とした心血管病の治療開発	柴田 玲	先端循環器寄附講座	1,690,000	補委	日本学術振興会
心筋細胞の最終分化における核内受容体の役割 - 心筋再生医療を目指した基盤研究 -	海野 一雅	循環器内科	2,470,000	補委	日本学術振興会
脂肪組織由来間葉系前駆細胞を用いた誘導心筋細胞による心筋再生療法の開発	近藤 和久	循環器内科	2,210,000	補委	日本学術振興会
IL-7を基軸とした重症呼吸器感染症に対する新規免疫療法の開発	進藤 有一郎	呼吸器内科	2,340,000	補委	日本学術振興会
癌幹細胞性を有する肺癌循環腫瘍細胞解析による分子標的薬耐性克服治療の開発	長谷 哲成	呼吸器内科	1,820,000	補委	日本学術振興会
血管内皮障害を呈する腎疾患におけるSulf2の機能解析と新たな治療戦略の探求	増田 智広	腎臓内科	1,950,000	補委	日本学術振興会
CD147による細胞内輸送・代謝機構の解明と糖鎖修飾調整を介した新規治療法の開発	小杉 智規	腎臓内科	2,210,000	補委	日本学術振興会
間葉系幹細胞に着目した腎間質線維化の機序解明と新規治療法の開発	齋藤 尚二	腎臓内科	1,820,000	補委	日本学術振興会
神経特異的polysome解析によるALS/FTLD病態解明と分子標的療法の開発	井口 洋平	神経内科	1,690,000	補委	日本学術振興会
家族性アミロイドポリニューロパチーにおける末梢神経障害の機序解明と新規治療法開発	小池 春樹	神経内科	2,080,000	補委	日本学術振興会
筋萎縮性側索硬化症の進行、予後に関連する因子を基にした治療法開発	熱田 直樹	神経内科	1,690,000	補委	日本学術振興会

計29件
累計171件

高炭水化物食による体重増加に対する腸管、膵島内分泌細胞の役割の解明	清野 祐介	糖尿病内分泌内科	1,690,000	補委	日本学術振興会
多能性幹細胞から視床下部と下垂体の機能的ユニットを作る	須賀 英隆	糖尿病内分泌内科	910,000	補委	日本学術振興会
BOECを用いたvon Willebrand病の細胞科学的解析と治療への応用	松下 正	輸血部	2,080,000	補委	日本学術振興会
新規FLT3阻害剤の有用性と選択根拠となる分子病態の解明	清井 仁	血液内科	1,820,000	補委	日本学術振興会
悪性リンパ腫の臓器指向性に関わる腫瘍細胞と微小環境の相互作用の解明と新規治療開発	島田 和之	血液内科	1,820,000	補委	日本学術振興会
脳波の紡錘波状速波に着目した早産児神経ネットワーク変容過程の解明とその臨床制御	城所 博之	小児科	2,600,000	補委	日本学術振興会
次世代シーケンサーを応用した小児重症ウイルス感染症の診断	川田 潤一	小児科	1,560,000	補委	日本学術振興会
周産期低酸素性虚血性脳症に対する新規二段階細胞療法の開発	佐藤 義朗	周産母子(小児科))	1,560,000	補委	日本学術振興会
中鎖脂肪酸トリグリセリド食を基盤とした先天性魚鱗癬の治療法開発	小川 靖	皮膚科	1,820,000	補委	日本学術振興会
免疫チェックポイント阻害薬の使用による自己抗体と抗腫瘍抗体産生の解明	室 慶直	皮膚科	1,820,000	補委	日本学術振興会
モデルマウスと抗体アレインによる網状肢端色素沈着症の包括的病態解明と治療薬開発	河野 通浩	皮膚科	1,820,000	補委	日本学術振興会
双極性障害の運転適性を判断する臨床指標の探索	岩本 邦弘	精神科	1,430,000	補委	日本学術振興会
高齢期における精神病症状の神経病理学的基盤の解明	入谷 修司	精神医療寄附講座	910,000	補委	日本学術振興会
統合失調症の発症リスクとなるゲノムコピー数変異が脳内ネットワークに与える影響	山本 真江里	精神科	1,170,000	補委	日本学術振興会
SNRIの疼痛緩和メカニズム探索に関する基礎および臨床の連携研究	木村 宏之	精神科	1,560,000	補委	日本学術振興会
脳神経変性疾患検出を目的としたグルタミン酸トランスポーターイメージング剤の開発	山口 博司	新学術	1,560,000	補委	日本学術振興会
拡散画像によるヒト脳内グリンパティック系の非侵襲的評価とアルツハイマー病への応用	田岡 俊昭	放射線科	2,340,000	補委	日本学術振興会
腹部大動脈瘤ステントグラフト内挿後の諸問題解決を目指すMRIの新戦略	竹原 康雄	低侵襲画像寄附講座	2,600,000	補委	日本学術振興会
小児肝移植後持続性高EBウイルス血症の病態及びグラフト肝における線維化機序の解明	亀井 秀弥	移植外科	1,170,000	補委	日本学術振興会
胃癌に対する胃切除術後の持続血糖測定を用いたダンピング症候群の定量的評価	小林 大介	消化器外科二	650,000	補委	日本学術振興会
国際共同研究による新規胃癌血清腫瘍マーカーの開発と血中移行機序の検討	神田 光郎	消化器外科二	1,690,000	補委	日本学術振興会
血液メタボローム解析を用いた食道癌術前化学療法の効果予測バイオマーカーの探索	丹羽 由紀子	医療の質安全管理	2,210,000	補委	日本学術振興会
術後肝障害に対するTLR4を標的にした予防療法の開発	菅原 元	消化器外科一	1,950,000	補委	日本学術振興会
TFF1の膵癌抑制効果の検証と膵癌治療に対する有用性の検討	山口 淳平	消化器外科一	1,950,000	補委	日本学術振興会
心筋梗塞後リモデリングを抑制するクラシロマイシン徐放性生体吸収性シートの開発	大島 英揮	心臓外科	1,430,000	補委	日本学術振興会
間葉系幹細胞分泌分子による心臓移植後の新しい免疫寛容誘導の開発	藤本 和朗	心臓外科	1,560,000	補委	日本学術振興会
骨親和性ペプチドを付与した、生体適合性骨髄止血材料の開発	伊藤 英樹	心臓外科	1,430,000	補委	日本学術振興会
活性型ビタミンD投与による大動脈瘤形成抑制効果の検討	新美 清章	血管外科	1,560,000	補委	日本学術振興会
胸部稀少悪性腫瘍の細胞株樹立と遺伝子異常の解明	福井 高幸	呼吸器外科	2,340,000	補委	日本学術振興会

計29件
累計200件

包括的ゲノムプロファイリングに基づくIDH野生型神経膠腫の新規予後因子の機能解明	本村 和也	脳神経外科	1,690,000	補委	日本学術振興会
機能連絡解析を駆使したてんかん外科コネクトームマップと定位的脳波記録による実証	前澤 聡	脳神経外科	2,730,000	補委	日本学術振興会
多様なmodalityによる振戦の病態解明とFUSやDBSによる病態修飾	中坪 大輔	脳神経外科	3,120,000	補委	日本学術振興会
進行期骨軟部肉腫に対する細胞外マトリックス制御による新規腫瘍免疫療法の開発	浦川 浩	整形外科	1,690,000	補委	日本学術振興会
吸入麻酔薬はWntを介して一部の癌細胞を悪性化するか	林 智子	麻酔科	1,820,000	補委	日本学術振興会
アディポサイトカインと下部尿路機能障害	松川 宜久	泌尿器科	1,820,000	補委	日本学術振興会
膀胱虚血におけるNrf2の役割の解明; 過活動膀胱の新規治療標的としての可能性	舟橋 康人	泌尿器科	1,560,000	補委	日本学術振興会
排尿筋低活動におけるウイルスベクターを用いたニューロトロピン遺伝子治療の検討	馬嶋 剛	泌尿器科	2,080,000	補委	日本学術振興会
バイオ3Dプリンターを用いた脂肪幹細胞含有自己組織化尿道の作成	山本 徳則	泌尿器科	2,860,000	補委	日本学術振興会
先天性横隔膜ヘルニアの予後向上に向けて ~肺高血圧に着目した病態解明と治療戦略~	津田 弘之	周産母子(産婦人科)	1,430,000	補委	日本学術振興会
多嚢胞性卵巣症候群に關与するゲノムインプリンティング解析と発症予測マーカー考案	滝川 幸子	産婦人科	2,340,000	補委	日本学術振興会
正常眼データベースとの比較による網膜疾患の眼血流動態の解明	岩瀬 剛	眼科	2,210,000	補委	日本学術振興会
放射線治療後の皮膚線維化・瘢痕化障害に対する治療法の開発	菱田 雅之	形成外科	1,430,000	補委	日本学術振興会
オッセオインテグレーションを構成するコンドロイチン4硫酸の機能解析	土屋 周平	口腔外科	2,080,000	補委	日本学術振興会
エキスパートナースの認知行動のフレーム意味論的解析の看護支援システムへの統合	船田 千秋	メディカルIT	1,950,000	補委	日本学術振興会
アート×医療:演劇を必修科目とする卒前看護教育プログラムの開発と効果の検証	岡崎 研太郎	地域医療寄附講座	1,820,000	補委	日本学術振興会
在宅高齢者夫婦世帯における行動変容をもたらす継続可能な転倒予防プログラムの開発	三浦 昌子	キャリア看護	2,080,000	補委	日本学術振興会
地域連携における医療介護情報の信頼性および情報に基づいたサービス選択に関する研究	大西 丈二	老年内科	1,300,000	補委	日本学術振興会
電気電導体繊維の渦電流変化を利用した閉創前遺残ガーゼ感知システムの構築	檜 顕成	小児外科(小児がん治療センター)	1,170,000	補委	日本学術振興会
ドラッグリポジショニング戦略による進行性骨化性線維異形成症治療薬の開発	鬼頭 浩史	整形外科	1,300,000	補委	日本学術振興会
吸入麻酔薬と抗癌剤の併用療法の可能性を探る	平井 昂宏	麻酔科	1,430,000	補委	日本学術振興会
iPS細胞由来エクソソームの皮膚創傷治癒に与える影響に関する基礎的研究	神戸 未来	形成外科	910,000	補委	日本学術振興会
イメージング創薬プラットフォームとして応用可能な新規トランスジェニックマウスの創製	山田 清文	薬剤部	1,430,000	補委	日本学術振興会
筋肉障害発症・進展におけるGFXの役割とその治療に向けた基盤構築	五藤 大貴	老年科	1,170,000	補委	日本学術振興会
慢性ストレス関連疾患の機序の解明と治療標的の探索	竹下 享典	輸血部	1,170,000	補委	日本学術振興会
慢性肺疾患児の複数臓器障害に対する包括的細胞療法の開発	早川 昌弘	周産母子(小児科)	1,040,000	補委	日本学術振興会
薬剤誘発リンパ管-静脈吻合によるリンパ浮腫に対する新しい治療法の開発	中村 優	形成外科	1,040,000	補委	日本学術振興会
超高齢化社会の医療人材不足を克服する次世代医療用ウェアラブルセンサーの新規開発	内田 広夫	小児外科	1,300,000	補委	日本学術振興会
腎臓可視化透明モデル動物を用いた先天性腎疾患に対するオーファンドラッグの創製	丸山 彰一	腎臓内科	1,430,000	補委	日本学術振興会

計29件
累計229件

コモンマームセットのゲノム解析による精神疾患モデル霊長類の同定	尾崎 紀夫	精神科	1,690,000	補委	日本学術振興会
開心術後癒着を防止するとともに心膜再生を誘導する新たな手術支援材料創出の試み	成田 裕司	心臓外科	1,430,000	補委	日本学術振興会
Dkk1分子発現亢進による新規変形性関節症治療薬の開発	石黒 直樹	整形外科	1,690,000	補委	日本学術振興会
卵巣がん細胞由来エクソソームによる新規腹膜播種メカニズム解明と治療法の開発	吉川 史隆	産婦人科	1,690,000	補委	日本学術振興会
進行卵巣癌に対する新しい戦略的腫瘍溶解性ウイルス療法の開発	那波 明宏	ペリサーチ	780,000	補委	日本学術振興会
DDS型超分子デバイスを用いた光線力学療法による難治性小児がん根治への試み	田井中 貴久	小児外科	1,690,000	補委	日本学術振興会
AI遠隔医療プラットフォームを活用した小児外科医療資源最適化への挑戦	城田 千代栄	小児外科	17,290,000	補委	日本学術振興会
新規薬物の依存性や報酬効果の予測が可能なin vivo評価系の構築	永井 拓	薬剤部	3,900,000	補委	日本学術振興会
深紫外線LEDによる横断的加齢性疾患治療の基盤構築	西田 佳弘	整形外科学	2,600,000	補委	日本学術振興会
在宅医療の推進及び介護負担軽減のための方策の検討	伊奈 孝一郎	老年科	1,170,000	補委	日本学術振興会
幹細胞を用いた周産期脳障害の新規治療法開発	北瀬 悠磨	周産母子(小児)	1,040,000	補委	日本学術振興会
Heavily T2強調3D-FLAIRによる進行性核上性麻痺の新規診断法開発	山崎 雅弘	放射線科	650,000	補委	日本学術振興会
乳がん術中照射用プレートの改良:高いQOLを目指して	川村 麻里子	放射線科	780,000	補委	日本学術振興会
もやもや病におけるエピジェネティクス解析-発症メカニズム解明にむけて-	荒木 芳生	脳神経外科	1,170,000	補委	日本学術振興会
吸入麻酔薬はエピゲノム異常を引き起こすか?	水野 祥子	麻酔科	1,170,000	補委	日本学術振興会
大気圧プラズマによるEMT制御と腹膜播種抑制の新展開~難治性卵巣癌の予後向上へ~	内海 史	周産母子(産婦人)	1,170,000	補委	日本学術振興会
卵巣がんのHeterogeneityと腹腔内免疫環境解析に基づいた腹膜播種の克服	鈴木 史朗	産婦人科	1,430,000	補委	日本学術振興会
猪苓湯が出血性膀胱炎に作用する分子生物学的機構の解明	川島 希	小児科	1,690,000	補委	日本学術振興会
脳深部刺激療法後のパーキンソン病患者における発話障害の病態解明と治療法の開発	坪井 崇	神経内科	1,950,000	補委	日本学術振興会
Escobar症候群の分子病態解明とGPPT1先天性筋無力症候群の治療法開発研究	中田 智彦	小児科	1,560,000	補委	日本学術振興会
新生児壊死性腸炎に対する新規細胞療法の開発	見松 はるか	周産母子(小児科)	1,300,000	補委	日本学術振興会
幹細胞を用いた新生児慢性肺炎患に対する新規治療法の開発	齊藤 明子	周産母子(小児科)	1,040,000	補委	日本学術振興会
遺伝性角化症のオーダーメイド治療の確立	武市 拓也	皮膚科	1,950,000	補委	日本学術振興会
統合失調症死後脳におけるオリゴデンドロサイト/ミエリンの神経病理学的研究	鳥居 洋太	精神科	1,300,000	補委	日本学術振興会
22q11.2欠失細胞から捉える統合失調症の病態解明	有岡 祐子	先端医療	910,000	補委	日本学術振興会
Transcriptome解析より同定した胃癌肝転移関連分子の発現および機能解析	田中 友理	消化器外科2	1,430,000	補委	日本学術振興会
肝細胞癌におけるSAMSNI1遺伝子の機能解析と、血清腫瘍マーカーへの応用	江坂 和大	消化器外科2	1,430,000	補委	日本学術振興会
胸腺腫の病態解明と治療への応用	羽切 周平	呼吸器外科	1,300,000	補委	日本学術振興会
エピゲノム修飾因子を標的とした悪性脳腫瘍の異常エピゲノムの修復	大岡 史治	脳神経外科	1,820,000	補委	日本学術振興会

計29件
累計258件

プロテオーム解析を用いたデスモイド腫瘍の病態と新規バイオマーカーの探索的研究	濱田 俊介	整形外科	1,950,000	補委	日本学術振興会
MYH9異常症モデルマウスを用いた難聴発症メカニズムの検討	吉田 忠雄	耳鼻科	1,170,000	補委	日本学術振興会
VEGF非依存性脈絡膜血管新生制御機構の解明	片岡 恵子	眼科	1,170,000	補委	日本学術振興会
DNA脱メチル化を指標とした口腔がん新規エピゲノム治療法の開発	市村 典久	口腔外科	1,820,000	補委	日本学術振興会
幹細胞由来培養上清を用いた大規模骨欠損における新規治療法の開発	原 憲史	口腔外科	1,300,000	補委	日本学術振興会
転写因子複合体による新たな歯原性上皮幹細胞分化制御機構の解明	酒井 陽	口腔外科	1,170,000	補委	日本学術振興会
周産期ウイルス感染が惹起する炎症反応に基づく神経発達障害の分子機構の解明	伊藤 教道	薬剤部	1,950,000	補委	日本学術振興会
呼吸器疾患患者に対するリハビリテーション方策(電気刺激療法)の新規開拓	井上 貴行	リハビリ	1,300,000	補委	日本学術振興会
せん妄の薬物療法を開拓する:髄液分析および介入研究	中嶋 宏貴	老年科	1,040,000	補委	日本学術振興会
新規に開発した高伸張性生分解性ポリマーを足場とした血管再生医療技術の確立	西塚 隆伸	手の外科	1,300,000	補委	日本学術振興会
質量分析法を用いた睡眠呼吸障害における脂質代謝異常のメカニズムの検討	宮田 聖子	睡眠医学寄附(耳鼻科)	1,690,000	補委	日本学術振興会
肥大型心筋症における微小循環不全と血管新生促進・抑制機構のメカニズム解明研究	森本 竜太	循環器内科	1,040,000	補委	日本学術振興会
心房細動アブレーション治療の予後改善をめざした積極的生活習慣改善プログラムの導入	柳澤 哲	先端循環器寄附(循内)	1,170,000	補委	日本学術振興会
脳腫瘍における術中オールインワン変異解析システムの開発	近藤 五郎	小児集中寄附(脳外)	1,820,000	補委	日本学術振興会
MCIが運転能力に与える影響に関する追跡調査:神経認知課題の危険運転予測力の検証	荒川 直子(河野直子)	精神科	1,040,000	補委	日本学術振興会
競技種目特性に応じた呼吸筋トレーニングの明示:効果最大化計画	北田 友治	老年科	1,430,000	補委	日本学術振興会
ホウ素中性子捕捉療法における中性子ビームの患者個別最適化に関する研究	加茂前 健	放射線科	1,430,000	補委	日本学術振興会
運動療法を併用した慢性疲労症候群の集学的治療法の確立	佐藤 元紀	総合診療科	2,080,000	補委	日本学術振興会
肺高血圧症の病態における血管新生因子(VEGF)の役割の解明研究	足立 史郎	肺高血圧寄附	1,430,000	補委	日本学術振興会
スタチンエスケープが及ぼす冠動脈病変への影響	鈴木 進	循環器内科	1,820,000	補委	日本学術振興会
孤発性ALSにおける高次機能障害に影響する遺伝要因の同定	中村 亮一	神経内科	2,080,000	補委	日本学術振興会
多系統萎縮症の認知機能における神経ネットワーク基盤の解明	原 一洋	神経内科	2,470,000	補委	日本学術振興会
運動ニューロン疾患におけるオートファジー関連分子の病態への関与	藤内 玄規	神経内科	2,080,000	補委	日本学術振興会
慢性小胞体ストレス下の細胞生存におけるCIDE-Aの機能解析	森下 啓明	糖尿病内分泌内科	2,340,000	補委	日本学術振興会
Ph+ALLにおけるBCR遺伝子切断点の意義	西脇 聡史	先端医療	1,300,000	補委	日本学術振興会
重症複合免疫不全症における早期診断・治療システムの構築	小島 大英	小児科	1,690,000	補委	日本学術振興会
小児再生不良性貧血におけるクローン性造血の網羅的遺伝子解析	成田 敦	小児科	1,430,000	補委	日本学術振興会
MEF2D融合遺伝子陽性急性リンパ性白血病における研究基盤の構築	鈴木 喬悟	小児科	1,950,000	補委	日本学術振興会
脳磁図によるウェスト症候群のてんかん焦点の解明と予後予測	山本 啓之	小児科	1,300,000	補委	日本学術振興会

計29件
累計287件

胎児発育不全に対する新規細胞療法の開発	伊藤 美春	周産母子(小児科)	1,820,000	補委	日本学術振興会
母親の精神的健康と児の発達や行動の関係、及びこれらに影響する心理社会的要因の検討	森川 真子	障害児寄附講座	1,950,000	補委	日本学術振興会
3Dプリンタによる腹部内臓動脈瘤の血管モデル開発～最適な塞栓術を目指して～	駒田 智大	放射線科	1,170,000	補委	日本学術振興会
GNG4 およびASGR2 を標的とした胃癌肝転移特異的な治療・診断法の開発	田中 晴祥	消化器外科二	2,080,000	補委	日本学術振興会
髄膜腫の進展を制御するがん関連線維芽細胞への分化を司る足場メカノセンサー機構	棚橋 邦明	脳神経外科	2,210,000	補委	日本学術振興会
神経膠腫に対する術中迅速遺伝子診断技術の確立と、分子標的薬の前臨床的開発	青木 恒介	脳神経外科	1,300,000	補委	日本学術振興会
脊髄損傷および脊髄傷害に対する、細胞死抑制効果を示す既認可薬の網羅的探求	都島 幹人	整形外科	2,080,000	補委	日本学術振興会
胎児環境によるエピジェネティック変化を標的としたPCOS新規治療法の開発	大須賀 智子	周産母子(産婦人科)	1,560,000	補委	日本学術振興会
がん微小環境の免疫因子解明に基づく難治性絨毛癌の新規治療戦略	新美 薫	産婦人科	1,690,000	補委	日本学術振興会
糖尿病モデルマウスを用いた糖尿病性聴覚障害、前庭機能障害の横断的検討	杉本 賢文	耳鼻科	1,300,000	補委	日本学術振興会
摂食・嚥下障害に対する脂肪組織由来幹細胞を用いた新規治療の開発	西尾 直樹	耳鼻科	1,690,000	補委	日本学術振興会
難治性網膜疾患の進行防止と、VEGFに依存しない追加治療法の充実	兼子 裕規	眼科	1,950,000	補委	日本学術振興会
網膜微小循環イメージングと網膜電図を用いた網膜静脈閉塞症の統合的病態解析	安田 俊介	眼科	1,560,000	補委	日本学術振興会
腸管の免疫細胞応答における腹腔鏡手術の低侵襲性の評価	大島 一夫	小児外科	3,250,000	補委	日本学術振興会
乳歯歯髄幹細胞由来培養上清を用いた誤嚥性肺炎の治療法の開発	梶村 有紀子	口腔外科	1,820,000	補委	日本学術振興会
末梢神経内における中枢神経類似環境構築と分離埋め込み型電極による運動機能再建法	中野 智則	救急	2,210,000	補委	日本学術振興会
線毛運動障害による髄液ダイナミクス異常とダイニンの分子生物学的解析	竹内 和人	脳神経外科	2,340,000	補委	日本学術振興会
塩分過剰摂取が視床下部炎症を介して肥満を助長する機序の解明	高木 博史	糖尿病内分泌内科	1,690,000	補委	日本学術振興会
脳タンパク質老化と認知症制御に関する国際共同研究を加速するための国際活動支援	祖父江 元	神経内科	18,720,000	補委	日本学術振興会
間脳下垂体機能障害に関する調査研究	有馬 寛	糖尿病・内分泌内科学	7,378,000	補委	厚生労働省
希少癌診療ガイドラインの作成を通じた医療提供体制の質向上	小寺 泰弘	消化器外科学	15,188,000	補委	厚生労働省
成人の骨系統疾患患者のQOLに関する研究	鬼頭 浩史	整形外科学	4,550,000	補委	厚生労働省
地域要因に基づいた在宅医療・介護連携推進に関する研究-汎用性の高い在宅医療・介護連携推進ガイドラインの作成	葛谷 雅文	老年内科	4,075,000	補委	厚生労働省
腹腔外発生デスマイド型繊維腫症患者の診断基準、重症度分類および診療ガイドライン確立に向けた研究	西田 佳弘	整形外科学	1,660,000	補委	厚生労働省
地域連携に基づいた医療機関等における薬剤耐性菌の感染制御に関する研究	八木 哲也	臨床感染統御学	4,275,000	補委	厚生労働省
次世代プリンテッドエレクトロニクス材料・プロセス基盤技術開発/⑥フレキシブル複合機能デバイス技術の開発	内田 広夫	小児外科学	2,499,000	補委	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
心臓血管外科学分野に関する学術研究動向-新規術式による治療戦略の変遷と臨床成績の推移-	碓氷 章彦	心臓外科学	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
病理モデル開発と解析	石垣 診祐	神経内科学(難治性神経寄附講座)	5,200,000	補委	国立研究開発法人科学技術振興機構
「感動」を創造する芸術と科学技術による共感覚イノベーション拠点	杉下 明隆	先端医療・臨床研究支援センター	4,000,100	補委	国立研究開発法人科学技術振興機構

多施設共同研究におけるがん患者に対する適切なQOL評価法確立のための研究	安藤 昌彦	先端医療・臨床研究支援センター	800,000	補 委	国立研究開発法人国立がん研究センター
要介護高齢者、フレイル高齢者、認知症高齢者に対する栄養療法、運動療法、薬物療法に関するガイドライン作成に向けた調査研究	葛谷 雅文	老年内科	2,000,000	補 委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
真の社会イノベーションを実現する革新的「健やか力」創造拠点	中柄 昌弘	先端医療・臨床研究支援センター	3,000,400	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機構
フレイル高齢者のレジストリ研究及び地域高齢者におけるフレイル予防プログラムの開発・検証	葛谷 雅文	老年内科	1,000,000	補 委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
喫煙者、非喫煙者の肺癌病因に関する分子疫学的研究	安藤 昌彦	先端医療・臨床研究支援センター	500,000	補 委	独立行政法人国立病院機構近畿中央胸部疾患センター
SPP-004のミトコンドリア病を対象とした多施設共同長期投与試験	夏目 淳	小児科学(障害児(者)寄附講座)	500,000	補 委	埼玉医科大学病院
骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための多施設共同研究	西田 佳弘	整形外科学	300,000	補 委	国立研究開発法人国立がん研究センター
日本多施設共同コホート研究(J-MICC study)におけるゲノム情報の解析への利活用と解析	中柄 昌弘	先端医療・臨床研究支援センター	1,000,000	補 委	国立研究開発法人国立がん研究センター
在宅医療や多職種協働の有益性に関するエビデンスの集積と在宅医療推進上の課題解決に向けての指針作成について	葛谷 雅文	老年内科	1,000,000	補 委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
高齢者における新興・再興感染症、インフルエンザ等に関する研究	八木 哲也	臨床感染統御学	800,000	補 委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
視機能が高齢者の身体機能に与える影響および予防・治療法の標準化に関する研究	寺崎 浩子	眼科学	400,000	補 委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
認知症の当事者・家族の視点にもとづく療養指導のためのエビデンス構築研究	梅垣 宏行	地域在宅医療学・老年科学	2,200,000	補 委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
排尿障害を有する要支援・要介護高齢者の排尿自立に関する研究	松川 宜久	泌尿器科	750,000	補 委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
高齢者の運動器疾患と固有感覚受容との関連および固有感覚受容低下に対する治療法の開発	今釜 史郎	整形外科	1,200,000	補 委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
高齢者の運動器疾患と固有感覚受容との関連および固有感覚受容低下に対する治療法の開発	関 泰輔	整形外科	1,200,000	補 委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
神経疾患における免疫病態の解明と治療法開発に関する研究	小池 春樹	神経内科学	500,000	補 委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
難治性潰瘍性大腸炎を対象としたアドレノメデュリン製剤による医師主導治験Phase II 試験	渡辺 修	消化器内科	1,000,000	補 委	宮崎大学附属病院
細胞外微粒子に起因する生命現象とその制御に向けた基盤技術の創出	長谷川 好規	呼吸器内科学	3,250,000	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機構
ゾニサミドによるレビー小体型認知症におけるBPSD軽減効果の検証	勝野 雅央	神経内科学	950,000	補 委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
レビー小体病におけるpreclinical/prodromal期からの自然歴解明とバイオマーカー開発	勝野 雅央	神経内科学	1,200,000	補 委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
高齢者の認知機能低下に対する、心機能への修飾を介した、新規の予防法と治療法の開発(高齢者に普遍的に合併する左室拡張障害が脳循環へ与える影響に着目して)	因田 恭也	循環器内科学	800,000	補 委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
レジストリデータに基づいた経口抗凝固薬を適切に選択するための研究(略称:Strawberry研究)	梅垣 宏行	地域在宅医療学・老年科学	54,000	補 委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
(疾患)精神疾患に関わる稀な遺伝子変異の探索による病態関連神経回路の解明	尾崎 紀夫	精神医学	53,620,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
(総括)精神疾患に関わる稀な遺伝子変異の探索による病態関連神経回路の解明	尾崎 紀夫	精神医学	2,380,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
一過性骨髄異常増殖症(TAM)に対する化学療法および白血病発症予防法の確立を目指した第2相臨床試験)開発を目指した臨床試験立案研究	村松 秀城	小児科	5,000,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
AYA世代急性リンパ性白血病の小児型治療法および遺伝子パネル診断による層別化治療に関する研究	早川 文彦	血液内科	40,000,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
BIM遺伝子多型に起因するEGFR変異肺癌のEGFR阻害薬耐性をポリノスタット併用で克服する研究	長谷川 好規	呼吸器内科学	1,000,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
BIM遺伝子多型に起因するEGFR変異肺癌のEGFR阻害薬耐性をポリノスタット併用で克服する研究	安藤 昌彦	先端医療・臨床研究支援センター	1,678,400	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
CHP/NY-ESO-1抗体ヘパトドカンクタン術後食道癌症例を対象とした多施設共同前期第II相臨床試験(根治切除術後食道癌のNY-ESO-1抗原発現陽性例に対するIMF-	小寺 泰弘	消化器外科学	500,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構

C型肝炎のウイルス排除後に起こる病態に関する研究	林 和彦	消化器内科	2,497,820	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
G-CSF前処置法の開発	寺倉 精太郎	血液内科	2,000,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
IIPsにおけるクラウド型統合データベースを用いたインタラクティブなMDD診断システムの開発	長谷川 好規	呼吸器内科学	250,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
IL-36受容体拮抗因子欠損症としての膿疱性乾癬の患者レジストリ構築	秋山 真志	皮膚病態学	6,500,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
IoT活用による糖尿病重症化予防法の開発を目指した研究(臨床研究フィールド)	有馬 寛	糖尿病・内分泌内科学	3,493,630	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
On the job training回避を目的とした小児内視鏡手術統合的術前トレーニングシステム・認定プログラムの確立に関する研究	内田 広夫	小児外科学	13,780,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
QOLデータの収集と解析	安藤 昌彦	先端医療・臨床研究支援センター	5,000,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
QOL研究事務局とQOL評価の推進	安藤 昌彦	先端医療・臨床研究支援センター	1,500,001	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
REACH-J-CKDコホート研究の患者登録および経過観察	丸山 彰一	腎臓内科学	200,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
RET融合遺伝子陽性肺癌に対するアレクチニブの有効性を明らかにする研究	長谷川 好規	呼吸器内科学	1,000,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
インブリキマブ治療抵抗性クローン病患者を対象としたアドレノメデュリン製剤による医師主導治験の実施	渡辺 修	消化器内科	650,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
ガイドライン治療計画およびエビデンスの集積	尾崎 紀夫	精神医学	700,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
がん遺伝子陽性検体の臨床病理学的解析	清井 仁	血液・腫瘍内科学	3,000,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
急性及び慢性神経障害における神経回路網とその代償機構の解明	渡邊 宏久	神経内科学(脳とこころ(新学術))	692,380	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
さらなる適正使用に向けた、血液製剤の使用と輸血療法の実施に関する研究	松下 正	輸血部	19,200,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
試験治療の実施・画像解析・試験治療の実施・手術シミュレーション	平田 仁	手の外科	5,370,001	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
進行性骨化性線維異形成症に対する新規治療薬の開発	鬼頭 浩史	整形外科学	4,000,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
治験の実施	熱田 直樹	神経内科	900,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
チロシンキナーゼ阻害薬による慢性骨髄性白血病の治癒を目指した研究	清井 仁	血液・腫瘍内科学	1,200,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
特定遺伝子ならびに活性化タンパクをターゲットとする神経化学的研究による新規評価系の構築	山田 清文	薬剤部	1,300,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
ネガティブ試験等の結果を用いた効率的な試験デザイン等の検討に関する研究	清水 忍	先端医療・臨床研究支援センター	130,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
バイオマーカーを用いた川崎病急性期治療法選択に関する研究	加藤 太一	小児科学(成長発達医学)	390,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
ヒトiPS細胞を用いた視床下部-下垂体ホルモン産生細胞の分化誘導法と移植方法の開発	須賀 英隆	糖尿病・内分泌内科	40,572,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
レビー型認知症患者を中心とした非アルツハイマー型認知症登録を目指した基盤整備に関する研究	勝野 雅央	神経内科学	1,000,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
悪性胸膜中皮腫に対する血管新生阻害剤の効果予測モデル構築に基づく新治療法確立に関する研究	長谷川 好規	呼吸器内科学	9,900,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
遺伝子変異の機能解析 (Desmoid型線維腫症)、臨床検体の収集	西田 佳弘	整形外科学	650,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
医師主導治験、付随研究の実施	長谷川 好規	呼吸器内科学	500,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
医師主導治験の実施、遺伝子スクリーニング	長谷川 好規	呼吸器内科学	650,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
医師主導多施設Phase IIa治験の準備・分担実施・統括	岡田 俊	親と子どもの心療科	450,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構

医薬品服用による自動車運転に与える影響の評価方法に関する研究	岩本 邦弘	精神医学	1,000,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
運動機能関連解析・高齢者糖尿病患者の登録・介入・評価	梅垣 宏行	地域在宅医療学・老年科学	1,000,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
遠位型ミオパチーにおけるN-アセチルノイラミン酸の第2/3相試験	勝野 雅央	神経内科学	3,400,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
拡張相肥大型心筋症を対象とした多施設登録観察研究	室原 豊明	循環器内科学	200,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
膵臓肉腫組織患者標本の組織学的・分子生物学的検討、臨床研究参加の準備（難治性肉腫に対するワクチン併用TCR遺伝子改変T細胞輸注療法の多施設共同主導治験）	石黒 直樹	整形外科学	500,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
患者のQOL向上をめざした胃がんに対する低侵襲標準治療確立に関する多施設共同試験	安藤 昌彦	先端医療・臨床研究支援センター	1,400,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
間葉系幹細胞を利用する新しいGVHD予防法の開発と次世代シーケンサーによる遺伝子情報に基づく新しいドナー選択法の開発に関する研究	村田 誠	血液・腫瘍内科学	5,980,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
稀少小児遺伝性血液疾患に対する次世代シーケンサーを利用した診断システムの開発に関する研究	小島 勢二	小児科	35,620,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
急性骨髄性白血病におけるPDXモデルで意義づけられた分子層別化システムの確立と臨床的実効性と有用性の検証	清井 仁	血液・腫瘍内科学	30,000,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
球脊髄性筋萎縮症の神経筋システム変性を標的とした革新的治療法開発	勝野 雅央	神経内科学	27,690,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
局所進行胃癌に対する術前化学療法の有効性を検証する臨床第III相試験	小寺 泰弘	消化器外科学	300,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
局所進行胃癌に対する術前化学療法の有効性を検証する臨床第III相試験	神田 光郎	消化器外科二	1,500,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
筋萎縮性側索硬化症患者の疾患登録システムの研究開発	祖父江 元	神経内科学(特任プロ・新学術領域)	106,718,140	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究	西田 佳弘	整形外科学	200,001	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
高度腹膜転移胃癌に対する標準化学療法の確立に関する研究	安藤 昌彦	先端医療・臨床研究支援センター	200,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
高齢者の小細胞肺癌に対する新たな標準的治療の確立に関する研究	安藤 昌彦	先端医療・臨床研究支援センター	300,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
高齢発症AML/MDSにおける胚細胞変異に基づく個別化医療の確立	村松 秀城	小児科	1,404,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
骨髄由来間葉系細胞による顎骨再生療法の評価と臨床展開	日比 英晴	顎顔面外科学	32,000,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
骨片と併用する骨再生補助能力を持つ自己集合性ペプチドゲル骨補填材の開発・事業化	今釜 史郎	整形外科	14,592,820	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
産学連携全国がんゲノムスクリーニング事業 SCRUM-Japanで組織した遺伝子スクリーニング基盤を利用した、多施設多職種専門家から構成されたExpert Panelによる全国共通	長谷川 好規	呼吸器内科学	2,600,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
脂質による体表面バリア形成の分子機構の解明	秋山 真志	皮膚病態学	9,750,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
視線計測装置及び視線計測装置用診断プログラム(GazeFinder)による自閉スペクトラム症(ASD)の診断能に関する多施設共同試験/医師主導治験	岡田 俊	親と子どもの心療科	5,265,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
治験の実施に関する研究[WT1ペプチドワクチン]	高橋 義行	小児科学(成長発達医学)	400,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
治験の実施に関する研究[ザルトプロフェン]	西田 佳弘	整形外科学	499,941	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
治験の実施に関する研究[ペランパネル]	勝野 雅央	神経内科学	500,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
治験を前提としたMuse細胞製剤開発	清水 忍	先端医療・臨床研究支援センター	130,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
自閉スペクトラム症に対する新規オキシトシン製剤の有効性・安全性の検討とオキシトシン反応性を予測する診断法開発	岡田 俊	親と子どもの心療科	11,986,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
疾患モデル高度化による視床下部・下垂体難病研究	須賀 英隆	糖尿病・内分泌内科	40,000,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
主題:金剛製骨材治療デバイスの課題克服を目指した次世代新素材骨折治療デバイスの開発・事業化 副題:上腕用ガンマ型ネールの開発・事業化	平田 仁	手の外科	1,779,803	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構

小児ウイルス性肝炎の病態の解明	伊藤 嘉規	小児科学	200,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
小児急性リンパ性白血病に対する非ウイルススペクターを用いたキメラ抗原受容体T細胞療法の実用化	高橋 義行	小児科学(成長発達医学)	100,000,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
小児骨髄系腫瘍に対する細胞形態診断法の確立	濱 麻人	小児科(成長発達医学)	260,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
症例収集体制の構築、症例検討体制の構築と稼働、解析結果の診断への活用体制の確立	小島 勢二	小児科	6,000,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
上皮性卵巣癌の妊孕性温存治療の対象拡大のための非ランダム化検証的試験	梶山 広明	産婦人科学	1,000,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
植込型補助人工心臓装着後の出血性合併症予知法および予防法の確立に関する研究	碓氷 章彦	心臓外科学	208,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
新規精神・発達障害治療薬の探索	辻村 啓太	精神医学	8,702,001	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
成人骨髄性腫瘍のクリニカルシーケンス体制の確立とデータ共有	清井 仁	血液・腫瘍内科学	2,000,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
精神疾患の病態を反映した鑑別診断、重症度予測が可能な血中バイオマーカーの実用化研究	尾崎 紀夫	精神医学	7,000,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
脊柱靭帯骨化症の治療指針策定および手術治療の質を高めるための大規模多施設研究	今釜 史郎	整形外科	800,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
先天性横隔膜ヘルニアにおける最適な人工換気法・手術時期・手術方法に関する研究	早川 昌弘	小児科(総合周産期(新生児))	468,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
先天性赤芽球癆(Diamond-Blackfan貧血)の新規原因遺伝子の同定と病態解明に関する研究	小島 勢二	小児科	650,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
前頭側頭型認知症の分子標的治療薬・バイオマーカー開発によるdisease-modifying therapyへの展開	祖父江 元	神経内科学(特任プロ・新学術領域)	57,249,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
前頭側頭葉変性症/筋萎縮性側索硬化症の神経回路破綻解明に基づく革新的治療開発	祖父江 元	神経内科学(特任プロ・新学術領域)	44,600,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
早産児核黄疸の予防ガイドラインの作成	早川 昌弘	小児科(総合周産期(新生児))	728,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
総合診療科外来を受診する慢性疲労症候群患者の集学的治療に関する研究	佐藤 元紀	総合診療科	500,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
造血細胞移植登録一元管理レジストリデータの移植成績向上に資する臨床研究への活用に関する研究	鉄塚 八千代	先端医療・臨床研究支援センター	388,648	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
多施設共同研究による移植後肝炎ウイルス再発に対する標準的治療の確立(肝移植後ソホスブビル+レジパスビル治療)	小倉 靖弘	移植外科	199,999	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
大規模臨床、ゲノム、不死化細胞リソースを基盤としたオミックス解析による孤発性ALS治療法開発研究	祖父江 元	神経内科学(特任プロ・新学術領域)	121,110,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
大量出血症例に対する血液製剤の適正な使用のガイドライン作成に関する研究	碓氷 章彦	心臓外科学	390,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
胆道閉鎖症の最適な葛西手術に関する研究	内田 広夫	小児外科学	910,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
男性腹圧性尿失禁に対する低侵襲再生治療のための、自己ヒト皮下脂肪組織由来再生(幹)細胞分離用医療機器の開発研究	後藤 百万	泌尿器科学	73,600,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
超高齢者社会における治癒困難高齢切除不能進行再発大腸癌患者に対する標準治療確立のための研究	安藤 昌彦	先端医療・臨床研究支援センター	1,300,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
適切な医療を目指した軽度認知障害等の患者の情報登録及び連携に関する研究	葛谷 雅文	老年内科	1,200,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
適切な医療を目指した軽度認知障害等の患者の情報登録及び連携に関する研究	祖父江 元	神経内科学(特任プロ・新学術領域)	1,200,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
糖尿病腎症の重症化予防における栄養指導の方法に関する提案、提案する方法論の研究班による実施可能性に関する検証	清野 祐介	糖尿病・内分泌内科	359,970	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
統合失調症と自閉スペクトラム症のゲノム解析結果を活かした診断法・治療法開発	尾崎 紀夫	精神医学	145,704,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
動物モデル、患者サンプルの提供と解析	勝野 雅央	神経内科学	1,300,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
内視鏡外科手術における熟練技術習得体験システムを使用したトレーニングシステムの評価	内田 広夫	小児外科学	650,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構

乳児アトピー性皮膚炎への早期介入と経口免疫寛容誘導によるアレルギーマーチへの影響を探索する前向きコホート研究	秋山 真志	皮膚病態学	406,250	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
評価法の整備、評価の実施及びデータ解析	岡田 俊	親と子どもの心療科	1,430,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
腹膜播種に特化した新たな胃癌分子標的医薬の探索	神田 光郎	消化器外科二	6,177,600	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
複合性局所疼痛症候群の汎用的で客観的な重症度評価技術の開発	平田 仁	手の外科	6,669,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
慢性活動性EBウイルス感染症とその類縁疾患の診断・治療効果評価の向上を目指したEBウイルスDNA量のエビデンスの構築	伊藤 嘉規	小児科学	9,880,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
名古屋地区の精神疾患拠点の構築	入谷 修司	精神医学(精神医療学寄附講座)	2,550,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
網膜疾患に関するデータ収集・解析案の作成	寺崎 浩子	眼科学	1,961,107	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
両心室ペーシング付きテイルメイド心臓サポートネットシステム開発	秋田 利明	心臓外科学(特任研究プロジェクト)	23,399,998	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
臨床データと検体の管理・遺伝子解析計画の倫理承認取得・融合遺伝子による白血病発症機構の解明	早川 文彦	血液内科	390,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
臨床試験の実施	勝野 雅央	神経内科学	419,302	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
嚥下造影検査による舌骨・喉頭挙上訓練法の評価	藤本 保志	耳鼻咽喉科学	260,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
自立可能な好循環型先端医療開発拠点の創成を目指した研究	石黒 直樹	医学部附属病院	210,410,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
臨床研究中核病院機能を安定的に発揮できる拠点づくり	石黒 直樹	医学部附属病院	165,000,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
電解レーザ微細複合加工技術の実用化による微細医療器具の開発	後藤 秀実	消化器内科学	2,281,110	補 委	経済産業省
肺癌体細胞遺伝子変異の免疫学的診断システムの開発	長谷川 好規	呼吸器内科学	69,492,800	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構

計15件
合計447件

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Hayashi H, Sato W, Kosugi T, 他	腎臓内科	Efficacy of urinary midkine as a biomarker in patients with acute kidney injury	Clin Exp Nephrol 2017 Aug;21(4):597-607	Original Article
2	Inagaki K, Yasuda Y, Ando M, 他	腎臓内科	Seasonal proteinuria changes in IgA nephropathy patients after proteinuria remission.	PLoS One. 2017 Nov 2;12(11)	Original Article
3	Mizukoshi T, Kato S, Ando M, 他	腎臓内科	Renoprotective effects of topiroxostat for hyperuremic patients with overt diabetic nephropathy study (ETUDE Study): A prospective, randomized, multicenter clinical trial.	Nephrology (Carlton). 2017 Oct 9.	Original Article
4	Kariya T, Nishimura H, Mizuno M, 他	腎臓内科	TGF- β 1-VEGF-A pathway induces neoangiogenesis with peritoneal fibrosis in patients undergoing peritoneal dialysis.	Am J Physiol Renal Physiol. 2017 Oct 4	Original Article
5	Imaizumi T, Nakatochi M, Fujita Y, 他	腎臓内科	The association between intensive care unit-acquired hypernatraemia and mortality in critically ill patients with cerebrovascular diseases: a single- centre cohort study in Japan.	BMJ Open. 2017 Aug 18;7(8)	Original Article

6	Katsuno T, Mizuno S, Mabuchi M, 他	腎臓内科	Long-term renal survival of γ 3-heavy chain deposition disease: a case report.	BMC Nephrol. 2017 Jul 17;18(1):239	Case Report
7	Katsuno T, Ozaki T, Kim H,他	腎臓内科	Single-dose Rituximab Therapy for Refractory Idiopathic Membranous Nephropathy: A Single-center Experience.	Intern Med. 2017;56(13):1679-1686	Original Article
8	Kaihan AB, Yasuda Y, Katsuno T, 他	腎臓内科	The Japanese Histologic Classification and T-score in the Oxford Classification system could predict renal outcome in Japanese IgA nephropathy patients.	Clin Exp Nephrol. 2017 Dec;21(6):986-994	Original Article
9	Tomita T, Arai S, Kitada K, 他	腎臓内科	Apoptosis inhibitor of macrophage ameliorates fungus-induced peritoneal injury model in mice.	Sci Rep.2017 July; 7(1):6450	Original Article
10	Mizuno M, Suzuki Y, Ito Y.	腎臓内科	Complement regulation and kidney diseases: recent knowledge of the double-edged roles of complement activation in nephrology.	Clin Exp Nephrol.2018 Feb;22(1):3-14	Original Article
11	Masuda T, Maeda K, Sato W, 他	腎臓内科	Growth Factor Midkine Promotes T-Cell Activation through Nuclear Factor of Activated T Cells Signaling and Th1 Cell Differentiation in Lupus Nephritis.	Am J Pathol. 2017 Apr. 187(4):740-751	Original Article

12	Sakata F, Ito Y, Mizuno M,他	腎臓内科	Sodium chloride promotes tissue inflammation via osmotic stimuli in sub-total-nephrectomized mice.	Lab Invest 2017 Apr;97(4):432-446	Original Article
13	Sakatoku Y, Fukaya M, Miyata K, 他	消化器外科一	Successful bypass operation for esophageal obstruction after acute esophageal necrosis: a case report.	Surg Case Rep. 2017 Dec;3(1):4.	Case Report
14	Kiriyama M, Ebata T, Yokoyama Y, 他	消化器外科一	Occult mucin-producing cholangiocarcinoma in situ: a rare clinical case with difficult tumor staging.	Surg Case Rep. 2017 Dec;3(1):6.	Case Report
15	Miyata K, Fukaya M, Nagino M	消化器外科一	Gradually shrinking intra-abdominal desmoid tumor derived from the stomach in a young boy: a case report.	Surg Case Rep. 2017 Dec;3(1):54	Case Report
16	Yamada M, Ebata T, Yokoyama Y, 他	消化器外科一	Pulmonary metastasis after resection of cholangiocarcinoma: incidence, resectability, and survival.	World J Surg. 2017 Jun;41(6):1550-1557.	Original Article
17	Kobayashi T, Ebata T, Yokoyama Y, 他	消化器外科一	Study on the segmentation of the right anterior sector of the liver.	Surgery. 2017 Jun;161(6):1536-1542	Original Article

18	Tsukahara T, Ebata T, Shimoyama Y,他	消化器外科一	Residual carcinoma in situ at the ductal stump has a negative survival effect: an analysis of early-stage cholangiocarcinomas.	Ann Surg. 2017 Jul;266(1):126-132.	Original Article
19	Aiba T, Uehara K, Tsukushi S, 他	消化器外科一	Perineal alveolar soft part sarcoma treated by laparoscopy-assisted total pelvic exenteration combined with pubic resection.	Asian J Endosc Surg. 2017 May;10(2):198-201.	Case Report
20	Kuga D, Ebata T, Yokoyama Y, 他	消化器外科一	Long-term survival after multidisciplinary therapy for residual gallbladder cancer with peritoneal dissemination: a case report.	Surg Case Rep. 2017 Dec;3(1):76.	Case Report
21	Sakatoku Y, Fukaya M, Fujieda H, 他	消化器外科一	Tracheoesophageal fistula after total resection of gastric conduit for gastro-aortic fistula due to gastric ulcer.	Surg Case Rep. 2017 Aug 23;3(1):90.	Case Report
22	Mukai T, Uehara K, Goto H, 他	消化器外科一	Phase II trial of neoadjuvant chemotherapy with S-1 and oxaliplatin plus bevacizumab for colorectal liver metastasis (N-SOG 05 trial).	Jpn J Clin Oncol. 2017 Jul 1;47(7):597-603.	Original Article
23	Yokoyama Y, Asahara T, Nomoto K, 他	消化器外科一	Effects of synbiotics to prevent postoperative infectious complications in highly invasive abdominal surgery	Ann Nutr Metab. 2017;71 Suppl 1:23-30.	Original Article

24	Maeta T, Ebata T, Hayashi E,他	消化器外科一	Pancreatoduodenectomy with portal vein resection for distal cholangiocarcinoma.	Br J Surg. 2017 Oct;104(11):1549-1557.	Original Article
25	Yokoyama Y, Mizuno T, Sugawara G, 他	消化器外科一	Profile of preoperative fecal organic acids closely predicts the incidence of postoperative infectious complications after major hepatectomy with extrahepatic bile duct resection:	Surgery. 2017 Oct;162(4):928-936.	Original Article
26	Sunagawa M, Yamaguchi J, Kokuryo T, 他	消化器外科一	Trefoil factor family 1 expression in the invasion front is a poor prognostic factor associated with lymph node metastasis in pancreatic cancer.	Pancreatology. 2017 Sep - Oct;17(5):782-787.	Original Article
27	Itatsu K, Yokoyama Y, Sugawara G, 他	消化器外科一	The benefits of a wound protector in preventing incisional surgical site infection in elective open digestive surgery: a large-scale cohort study.	World J Surg. 2017 Nov;41(11):2715-2722.	Original Article
28	Fujieda H, Yokoyama Y, Hirata A, 他	消化器外科一	Does Braun anastomosis have an impact on the incidence of delayed gastric emptying and the extent of intragastric bile reflux following pancreatoduodenectomy? - a randomized controlled study.	Dig Surg. 2017;34(6):462-468.	Original Article
29	Watanabe N, Yokoyama Y, Ebata T, 他	消化器外科一	Clinical influence of preoperative factor XIII activity in patients undergoing pancreatoduodenectomy.	HPB (Oxford). 2017 Nov;19(11):972-977.	Original Article

30	Takahashi T, Fukaya M, Miyata K, 他	消化器外科一	Retrosternal reconstruction can be a risk factor for upper extremity deep vein thrombosis after esophagectomy.	World J Surg. 2017 Dec;41(12):3154-3163.	Original Article
31	Sakatoku Y, Fukaya M, Miyata K, 他	消化器外科一	Clinical value of a prophylactic minitracheostomy after esophagectomy: analysis in patients at high risk for postoperative pulmonary complications.	BMC Surg. 2017 Dec 1;17(1):120.	Original Article
32	Shinohara K, Ebata T, Yokoyama Y, 他	消化器外科一	Successful local treatment for repeated hepatic recurrences of cholangiolocellular carcinoma: a report on a long-term survivor.	Surg Case Rep. 2017 Dec 2;3(1):120.	Case Report
33	Uji M	消化器外科一	Exploration of serum biomarkers for predicting the response to Inchinkoto (ICKT), a Japanese traditional herbal medicine.	Metabolomics 2017 Dec 13:155.	Original Article
34	Kaneko H, Kokuryo T, Yokoyama Y, 他	消化器外科一	Novel therapy for pancreatic fistula using adipose-derived stem cell sheets treated with mannose.	Surgery 2017 Jun;161(6):1561-1569	Original Article
35	Komatsu S, Yokoyama Y, Nagino M.	消化器外科一	Gut microbiota and bacterial translocation in digestive surgery: the impact of probiotics.	Langenbecks Arch Surg 2017 May;402(3):401-416.	Original Article

36	Higaki E, Yanagi S, Gotohda N, 他	消化器外科一	Intraoperative peritoneal lavage cytology offers prognostic significance for gastric cancer patients with curative resection.	Cancer Sci 2017 May;108(5):978-986.	Original Article
37	Shinohara K, Shimoyama Y, Ebata T, 他	消化器外科一	Clinicopathologic study on metachronous double cholangiocarcinomas of perihilar and subsequent distal bile duct origin.	Surgery 2017 Jul;162(1):84-93.	Original Article
38	Tanaka M, Kanemitsu Y, Shida D, 他	消化器外科一	Prognostic Impact of Intra-abdominal/Pelvic Inflammation After Radical Surgery for Locally Recurrent Rectal Cancer.	Dis Colon Rectum 2017 Aug;60(8):827-836.	Original Article
39	Yokoyama Y, Ebata T, Igami T, 他	消化器外科一	Different Clinical Characteristics Between Distal Cholangiocarcinoma and Pancreatic Head Carcinoma With Biliary Obstruction.	Pancreas 2017 Nov/Dec;46(10):1322-1326.	Original Article
40	Kawakatsu S, Ohashi M, Hiki N, 他	消化器外科一	Use of endoscopy to determine the resection margin during laparoscopic gastrectomy for cancer.	Br J Surg 2017 Dec;104(13):1829-1836.	Original Article
41	Kawai R, Abe T, Uemura N, 他	消化器外科一	Feeding catheter gastrostomy with the round ligament of the liver prevents mechanical bowel obstruction after esophagectomy.	Dis Esophagus 2017 Jun 1;30(6):1-8.	Original Article

42	Tsai CY, Nojiri M, Yokoyama Y, 他	消化器外科一	Uneven acute non-alcoholic fatty change of the liver after percutaneous transhepatic portal vein embolization in a patient with hilar cholangiocarcinoma – a case report.	BMC Gastroenterol 2017 Dec 6;17(1):144.	Case Report
43	Yokoi T, Yokoyama Y, Kokuryo, T, 他	消化器外科一	Inhibition of Toll-like receptor 4 ameliorates experimental postischemic injury in the cholestatic liver through inhibition of high-mobility group box protein b1 (HMGB1) signaling	Surgery 2018 Feb;163(2):270-276.	Original Article
44	Yamaguchi J, Yokoyama Y, Kokuryo T, 他	消化器外科一	Cells of origin of pancreatic neoplasms	Surg Today. 2018 Jan;48(1):9-17.	Review
45	Uji M, Yokoyama Y, Asahara T, 他	消化器外科一	Does the intestinal microenvironment have an impact on the choleretic effect of inchinkoto, a hepatoprotective herbal medicine?	Hepatol Res. 2018 Feb;48(3):E303-E310.	Original Article
46	Mizuno T, Sheth R, Yamamoto M, 他	消化器外科一	Laparoscopic Glissonean Pedicle Transection (Takasaki) for Negative Fluorescent Counterstaining of Segment 6	Ann Surg Oncol. 2017 Apr;24(4):1046-1047.	Original Article
47	Yu Y, Lin Y, Takasaki Y, Wang C, 他	精神科・親と子どもの心療科	Rare loss of function mutations in N-methyl-D-aspartate glutamate receptors and their contributions to schizophrenia susceptibility	Transl Psychiatry. 2018 Jan 10;8(1):12.	Original Article

48	Ishizuka K, Fujita Y, Kawabata T, 他	精神科・親と子どもの心療科	Rare genetic variants in CX3CR1 and their contribution to the increased risk of schizophrenia and autism spectrum disorders	Transl Psychiatry. 2017 Aug 1;7(8):e1184.	Original Article
49	Kimura H, Kushima I, Yohimi A, 他	精神科・親と子どもの心療科	Copy number variant in the region of adenosine kinase (ADK) and its possible contribution to schizophrenia susceptibility.	Int J Neuropsychopharmacol. 2017 Nov 6.	Original Article
50	Ohara M, Okada T, Kubota C, 他	精神科・親と子どもの心療科	Relationship between maternal depression and bonding failure: A prospective cohort study of pregnant women	Psychiatry Clin Neurosci. 2017 Oct;71(10):733-741.	Original Article
51	Ohara M, Okada T, Aleksic B, 他	精神科・親と子どもの心療科	Social support helps protect against perinatal bonding failure and depression among mothers: a prospective cohort study	Sci Rep. 2017 Aug 25;7(1):9546.	Original Article
52	Fujishiro H, Okuda M, Iwamoto K, 他	精神科・親と子どもの心療科	REM sleep without atonia in middle-aged and older psychiatric patients and Lewy body disease: a case series	Int J Geriatr Psychiatry. 2017 Apr;32(4):397-406.	Original Article
53	Kimura H, Onishi Y, Kishi S, 他	精神科・親と子どもの心療科	Successful Post-Transplant Psychiatric Interventions During Long-Term Follow-Up of Patients Receiving Liver Transplants for Alcoholic Liver Disease	Am J Case Rep. 2017 Nov 16;18:1215-1219.	Original Article

54	Morosawa S, Iritani S, Fujishiro H, 他	精神科・親と子どもの心療科	Neuropeptide Y neuronal network dysfunction in the frontal lobe of a genetic mouse model of schizophrenia	Neuropeptides.2017 Apr;62:27-35.	Original Article
55	Ogasawara K, Nakamura Y, Kimura H, 他	精神科・親と子どもの心療科	Issues on the diagnosis and etiopathogenesis of mood disorders: reconsidering DSM-5	J Neural Transm (Vienna).2018 Feb;125(2):211-222	Original Article
56	Ozaki N	精神科・親と子どもの心療科	Right treatment for the right schizophrenic patients based on carbonyl stress pathophysiology	Psychiatry Clin Neurosci.2018 Jan;72(1):2	Original Article
57	Yoshida T, Sone M, Kitoh R, 他	耳鼻いんこう科	Idiopathic sudden sensorineural hearing loss and acute low-tone sensorineural hearing loss:a comparison of the results of a nationwide epidemiological survey in Japan	Acta Otolaryngol. 2017;137(sup565):S38-S43.	Original Article
58	Sugimoto S, Yoshida T, Teranishi M, 他	耳鼻いんこう科	The relationship between endolymphatic hydrops in the vestibule and low-frequency air-bone gaps	Laryngoscope. 2017 Nov 6.	Original Article
59	Nishio N, Fujimoto Y, Hiramatsu M, 他	耳鼻いんこう科	Computed tomographic assessment of autologous fat injection augmentation for vocal fold paralysis.	Laryngoscope Investig Otolaryngol. 2017 Nov 22;2(6):459-465.	Original Article

60	Kawaguchi K, Fukui T, Nakamura S, 他	呼吸器外科	A bilateral approach to extended thymectomy using the da Vinci Surgical System for patients with myasthenia gravis	Surg Today. 2018 Feb;48(2):195-199.	Case Report
61	Kawaguchi K, Okasaka T, Fukui T, 他	呼吸器外科	Pulmonary metastasis from urothelial carcinoma of the upper urinary tract 29 years after nephrectomy.	Surg Case Rep. 2017 Dec;3(1):20.	Case Report
62	Fukui T, Kato K, Okasaka T, 他	呼吸器外科	Predictors for hilar/intrapulmonary lymph node metastasis in discrete type of clinical N1 non-small cell lung cancer.	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2017 Nov;65(11):640-645.	Original Article
63	Fukui T, Hakiri S, Yokoi K.	呼吸器外科	Extralobar pulmonary sequestration in the middle mediastinum.	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2017 Aug;65(8):481-483.	Case Report
64	Hakiri S, Kawaguchi K, Fukui T, 他	呼吸器外科	Metachronous Germ Cell Tumors of the Mediastinum.	Ann Thorac Surg. 2017 Jun;103(6):e525-e527.	Case Report
65	Ozeki N, Kawaguchi K, Fukui T, 他	呼吸器外科	The diffusing capacity of the lung for carbon monoxide is associated with the histopathological aggressiveness of lung adenocarcinoma.	Eur J Cardiothorac Surg. 2017 Nov 1;52(5):969-974.	Original Article

66	Fukui T, Yokoi K.	呼吸器外科	The new classifications for thymic epithelial tumors: benefits and problems.	Thorac Dis. 2017 Nov;9(11):4165-4168.	Review
67	Yokoi K, Kondo K, Fujimoto K, 他	呼吸器外科	JLCS medical practice guidelines for thymic epithelial tumors: summary of recommendations	Jpn J Clin Oncol. 2017 Dec 1;47(12):1119-1122.	Original Article
68	Hayashi N, Matsuoka A, Goto H,他	化学療法部	Clinical effectiveness of geriatric assessment for predicting the tolerability of outpatient chemotherapy in older adults with cancer.	J Geriatr Oncol. 2018 Jan;9(1):84-86.	Original Article
69	Morita S, Kikumori T, Tsunoda N, 他	化学療法部	Feasibility of dose-dense epirubicin and cyclophosphamide with subcutaneous pegfilgrastim 3.6 mg support: a single-center prospective study in Japan.	Int J Clin Oncol. 2018 Feb;23(1):195-200.	Original Article
70	Gyawali B, Ando Y.	化学療法部	Sonidegib dose for Asian patients.	Clin Cancer Res. 2017 Oct 1;23(19):5993.	Letter
71	Matsukawa Y, Kato M, Funahashi Y, 他	泌尿器科	What are the predicting factors for the therapeutic effects of dutasteride in male patients with lower urinary tract symptoms? Investigation using a urodynamic study.	Neurourol Urodyn. 2017 Sep;36(7):1809-1815.	Original Article

72	Matsukawa Y, Ishida S, Majima T, 他	泌尿器科	Intravesical prostatic protrusion can predict therapeutic response to silodosin in male patients with lower urinary tract symptoms.	Int J Urol. 2017 Jun;24(6):454-459.	Original Article
73	Matsukawa Y, Takai S, Funahashi Y, 他	泌尿器科	Effects of Withdrawing α 1-Blocker from Combination Therapy with α 1-Blocker and 5 α -Reductase Inhibitor in Patients with Lower Urinary Tract Symptoms Suggestive of Benign Prostatic	J Urol. 2017 Oct;198(4):905-912.	Original Article
74	Inoue S, Mizushima T, Fujita K,他	泌尿器科	GATA3 immunohistochemistry in urothelial carcinoma of the upper urinary tract as a urothelial marker and a prognosticator	Hum Pathol. 2017 Jun;64:83-90.	Original Article
75	Shimizu S, Yamamoto T, Nakayama S, 他	泌尿器科	Design of a single-arm clinical trial of regenerative therapy by periurethral injection of adipose-derived regenerative cells for male stress urinary incontinence in Japan: the ADRESU study	BMC Urol. 2017 Sep 25;17(1):89.	Original Article
76	Majima T, Yamamoto T, Funahashi Y, 他	泌尿器科	Effect of naftopidil on bladder microcirculation in a rat model of bladder outlet obstruction	Low Urin Tract Symptoms. 2017 May;9(2):111-116.	Original Article
77	Majima T, Tyagi P, Dogishi K, 他	泌尿器科	Effect of intravesical liposome-based nerve growth factor antisense therapy on bladder overactivity and nociception in a rat model of cystitis induced by hydrogen peroxide	Hum Gene Ther. 2017 Jul;28(7):598-609.	Original Article

78	Shimizu T, Shimizu S, Wada N, 他	泌尿器科	Brain serotonergic nervous system is involved in bombesin-induced frequent urination through brain 5-HT7 receptors in rats.	Br J Pharmacol. 2017 Sep;174(18):3072-3080.	Original Article
79	Matsukawa Y, Majima T, Matsuo K, 他	泌尿器科	Effects of tadalafil on storage and voiding function in patients with male lower urinary tract symptoms suggestive of benign prostatic hyperplasia: A urodynamic-based study.	Int J Urol. 2018 Mar;25(3):246-250.	Original Article
80	Kato M, Kimura K, Hirakawa A, 他	泌尿器科	Prognostic parameter for high risk prostate cancer patients at initial presentation.	Prostate. 2018 Jan;78(1):11-16.	Original Article
81	Yisireyli M, Takeshita K, Saito S, 他	検査部	Indole-3-propionic acid suppresses indoxyl sulfate-induced expression of fibrotic and inflammatory genes in proximal tubular cells.	Nagoya J Med Sci. 2017 Nov;79(4):477-486.	Original Article
82	Yisireyli M, Uchida Y, Yamamoto K, 他	検査部	Angiotensin receptor blocker irbesartan reduces stress-induced intestinal inflammation via AT1a signaling and ACE2-dependent mechanism in mice.	Brain Behav Immun. 2018 Mar;69:167-179.	Original Article
83	Yisireyli M, Hayashi M, Wu H, 他	検査部	Xanthine oxidase inhibition by febuxostat attenuates stress-induced hyperuricemia, glucose dysmetabolism, and prothrombotic state in mice.	Sci Rep. 2017 Apr 28;7(1):1266.	Original Article

84	Suzuki S, Nakamura Y, Suzuki N, 他	輸血部	Combined deficiency of factors V and VIII by chance coinheritance of parahaemophilia and haemophilia A, but not by mutations of either LMAN1 or MCFD2, in a Japanese family.	Haemophilia 2018 Jan;24(1):e13-e16.	Original Article
85	Kikuchi R, Yasuda Y, Nakatochi M, 他	検査部	Urinary and circulating levels of the anti-angiogenic isoform of vascular endothelial growth factor-A in patients with chronic kidney disease.	Clin Chim Acta 2017Dec; 475: 102-8.	Original Article
86	Suzuki T, Kawada JI, Okuno Y, 他	小児科	Comprehensive detection of viruses in pediatric patients with acute liver failure using next-generation sequencin	Journal of Clinical Virology, November 2017, 96:67-72.	Original Article
87	Suzuki K, Suzuki Y, Hama A, 他	小児科	Recurrent MYB rearrangement in blastic plasmacytoid dendritic cell neoplasm.	Leukemia. 2017 Jul;31(7):1629-1633.	Original Article
88	Narita A, Muramatsu H, Okuno Y, 他	小児科	Development of clinical paroxysmal nocturnal haemoglobinuria in children with aplastic anaemia.	Br J Haematol. 2017 Sep;178(6):954-958.	Original Article
89	Taniguchi R, Muramatsu H, Okuno Y, 他	小児科	Comprehensive genetic analysis of donor cell derived leukemia with KMT2A rearrangement.	Pediatr Blood Cancer. 2018 Feb;65(2).	Original Article

90	Ito Y, Kidokoro H, Negoro T, 他	小児科	Paroxysmal nonepileptic events in children with epilepsy.	Epilepsy Res. 2017 May;132:59-63.	Original Article
91	Ogawa C, Kidokoro H, Fukasawa T, 他	小児科	Cytotoxic edema at onset in West syndrome of unknown etiology: A longitudinal diffusion tensor imaging study.	Epilepsia. 2018 Feb;59(2):440-448.	Original Article
92	Horiba, K, Kawada, J. I, Okuno, Y, 他	小児科	Comprehensive detection of pathogens in immunocompromised children with bloodstream infections by next-generation sequencing	Sci Rep 2018 Feb28; 8(1):3784.	Original Article
93	Torii Y, Kawano Y, Sato H, 他	小児科	Metabolome analysis reveals the association between the kynurenine pathway and human herpesvirus 6 encephalopathy in immunocompetent children	Metabolomics. 2017; 13, 126	Original Article
94	Ogawa C1, Sato Y1,2, Suzuki C1, 他	小児科	Treatment with silver nitrate versus topical steroid treatment for umbilical granuloma: A non-inferiority randomized control trial	PLoS One. 2018 Feb 13;13(2):e0192688.	Original Article
95	Muramatsu H, Okuno Y, Yoshida K, 他	小児科	Clinical utility of next-generation sequencing for inherited bone marrow failure syndromes.	Genet Med. 2017 Jul;19(7):796-802	Original Article

96	Tsuda H, Kotani T, Miura M,他	産科婦人科	Observed-to-expected MRI fetal lung volume can predict long-term lung morbidity in infants with congenital diaphragmatic hernia.	J Matern Fetal Neonatal Med. 2017 Jul;30(13):1509-1513.	Original Article
97	Shimizu K, Iwase A, Sakurai Y, 他	産科婦人科	Retrospective analysis of magnetic resonance imaging for differentiating intraligamentous leiomyomas from subserosal leiomyomas.	Eur J Obstet Gynecol Reprod Biol. 2017 Aug;215:256-257.	Original Article
98	Yoshida K, Kajiyama H, Utsumi F, 他	産科婦人科	A post-recurrence survival-predicting indicator for cervical cancer from the analysis of 165 patients who developed recurrence.	Mol Clin Oncol. 2018 Feb;8(2):281-285.	Original Article
99	Teshigawara T, Mizuno M, Ishii T, 他	産科婦人科	Novel potential photodynamic therapy strategy using 5-Aminolevulinic acid for ovarian clear-cell carcinoma.	Photodiagnosis Photodyn Ther. 2018 Mar;21:121-127.	Original Article
100	Yokoi A, Yoshioka Y, Hirakawa A, 他	産科婦人科	A combination of circulating miRNAs for the early detection of ovarian cancer.	Oncotarget. 2017 Sep 6;8(52):89811-89823.	Original Article
101	Tamauchi S, Kajiyama H, Utsumi F, 他	産科婦人科	Efficacy of medroxyprogesterone acetate treatment and retreatment for atypical endometrial hyperplasia and endometrial cancer.	J Obstet Gynaecol Res. 2018 Jan;44(1):151-156.	Original Article

102	Murase T, Iwase A, Komatsu K, 他	産科婦人科	Follicle dynamics: visualization and analysis of follicle growth and maturation using murine ovarian tissue culture.	J Assist Reprod Genet. 2018 Feb;35(2):339-343.	Original Article
103	Ushida T, Macdonald- Goodfellow SK, Quadri A, 他	産科婦人科	Persistence of risk factors associated with maternal cardiovascular disease following aberrant inflammation in rat pregnancy.	Biol Reprod. 2017 Jul 1;97(1):143-152.	Original Article
104	Nishino K, Yamamoto E, Niimi K, 他	産科婦人科	N- acetylglucosaminyltra nsferase IVa promotes invasion of choriocarcinoma.	Oncol Rep. 2017 Jul;38(1):440-448.	Original Article
105	Yamada S, Fuji T, Takami H, 他	消化器外科二	Evaluation and proposal of novel resectability criteria for pancreatic cancer established by the Japan Pancreas Society.	Surgery. 2017 Oct;162(4):784-791.	Original Article
106	Tanaka C, Fujiwara M, Kanda M, 他	消化器外科二	Stapling an extracorporeal Billroth-I anastomosis by the complete double stapling technique after laparoscopy- assisted distal gastrectomy.	Asian J Endosc Surg. 2017 May;10(2):137-142.	Original Article
107	Nakayama G, Ishigure K, Yokoyama H, 他	消化器外科二	The efficacy and safety of CapeOX plus bevacizumab therapy followed by capecitabine plus bevacizumab maintenance therapy in patients with metastatic colorectal cancer: a multi- center, single-arm.	BMC Cancer. 2017 Apr 4;17(1):243.	Original Article

108	Inaoka K, Kanda M, Uda H, 他	消化器外科二	Clinical utility of the platelet-lymphocyte ratio as a predictor of postoperative complications after radical gastrectomy for clinical T2-4 gastric cancer.	World J Gastroenterol. 2017 Apr 14;23(14):2519-2526.	Original Article
109	Tanaka Y, Kanda M, Tanaka C, 他	消化器外科二	Usefulness of preoperative estimated glomerular filtration rate to predict complications after curative gastrectomy in patients with clinical T2-4 gastric cancer.	Gastric Cancer. 2017 Jul;20(4):736-743.	Original Article
110	Kobayashi D, Ishigure K, Mochizuki Y, 他	消化器外科二	Multi-institutional prospective feasibility study to explore tolerability and efficacy of oral nutritional supplements for patients with gastric cancer undergoing gastrectomy (CCOG1301).	Gastric Cancer. 2017 Jul;20(4):718-727.	Original Article
111	Inaishi T, Kikumori T, Takeuchi D, 他	乳腺・内分泌外科	Obesity does not affect peri- and postoperative outcomes of transabdominal laparoscopic adrenalectomy.	Nagoya J Med Sci. 2018 Feb;80(1):21-28.	Original Article
112	Sonohara F, Inokawa Y, Hayashi M, 他	消化器外科二	Prognostic Value of Long Non-Coding RNA HULC and MALAT1 Following the Curative Resection of Hepatocellular Carcinoma.	Sci Rep. 2017 Nov 23;7(1):16142.	Original Article
113	Kurimoto K, Hayashi M, Guerrero- Preston R, 他	消化器外科二	PAX5 gene as a novel methylation marker that predicts both clinical outcome and cisplatin sensitivity in esophageal squamous cell carcinoma.	Epigenetics. 2017;12(10):865-874.	Original Article

114	Miwa T, Kanda M, Koike M, 他	消化器外科二	Identification of NCCRP1 as an epigenetically regulated tumor suppressor and biomarker for malignant phenotypes of squamous cell carcinoma of the esophagus.	Oncol Lett. 2017 Oct;14(4):4822-4828.	Original Article
115	Kanda M, Murotani K, Sugimoto H, 他	消化器外科二	An integrated multigene expression panel to predict long-term survival after curative hepatectomy in patients with hepatocellular carcinoma.	Oncotarget. 2017 Aug 19;8(41):71070-71079.	Original Article
116	Adachi Y, Yoshimura M, Nishida K, 他	乳腺・内分泌外科	Acute phase dynamics of circulating tumor cells after paclitaxel and doxorubicin chemotherapy in breast cancer mouse models.	Breast Cancer Res Treat. 2018 Jan;167(2):439-450.	Original Article
117	Kanda M, Tanaka C, Kobayashi D, 他	消化器外科二	Preoperative Albumin-Bilirubin Grade Predicts Recurrences After Radical Gastrectomy in Patients with pT2-4 Gastric Cancer.	World J Surg. 2018 Mar;42(3):773-781.	Original Article
118	Umeda S, Kanda M, Sugimoto H, 他	消化器外科二	Downregulation of GPR155 as a prognostic factor after curative resection of hepatocellular carcinoma.	BMC Cancer. 2017 Sep 1;17(1):610.	Original Article
119	Miwa T, Kanda M, Tanaka H,他	消化器外科二	FBXO50 Enhances the Malignant Behavior of Gastric Cancer Cells.	Ann Surg Oncol. 2017 Nov;24(12):3771-3779.	Original Article

120	Sonohara F, Inokawa Y, Hayashi M, 他	消化器外科二	Epigenetic modulation associated with carcinogenesis and prognosis of human gastric cancer.	Oncol Lett. 2017 May;13(5):3363-3368.	Original Article
121	Shimizu D, Kanda M, Kodera Y.	消化器外科二	Review of recent molecular landscape knowledge of gastric cancer.	Histol Histopathol. 2018 Jan;33(1):11-26.	Review
122	Uda H, Kanda M, Tanaka C, 他	消化器外科二	Perioperative Serum Carcinoembryonic Antigen Levels Predict Recurrence and Survival of Patients with Pathological T2-4 Gastric Cancer Treated with Curative Gastrectomy.	Dig Surg. 2018;35(1):55-63.	Original Article
123	Asano T, Yamada S, Fuchs BC, 他	消化器外科二	Clinical implication of Frizzled 2 expression and its association with epithelial-to-mesenchymal transition in hepatocellular carcinoma.	Int J Oncol. 2017 May;50(5):1647-1654.	Original Article
124	Kodera Y.	消化器外科二	Neoadjuvant chemotherapy for gastric adenocarcinoma in Japan.	Surg Today. 2017 Aug;47(8):899-907.	Review
125	Tanabe S, Hirabayashi S, Oda I,他	消化器外科二	Gastric cancer treated by endoscopic submucosal dissection or endoscopic mucosal resection in Japan from 2004 through 2006: JGCA nationwide registry conducted in 2013.	Gastric Cancer. 2017 Sep;20(5):834-842.	Original Article

126	Takeda S, Yamada S, Hattori N, 他	消化器外科二	Intraperitoneal Administration of Plasma-Activated Medium: Proposal of a Novel Treatment Option for Peritoneal Metastasis From Gastric Cancer.	Ann Surg Oncol. 2017 May;24(5):1188-1194.	Original Article
127	Kanda M, Shimizu D, Tanaka H, 他	消化器外科二	Significance of SYT8 For the Detection, Prediction, and Treatment of Peritoneal Metastasis From Gastric Cancer.	Ann Surg. 2018 Mar;267(3):495-503.	Original Article
128	Tanaka H, Kanda M, Shimizu D, 他	消化器外科二	FAM46C Serves as a Predictor of Hepatic Recurrence in Patients with Resectable Gastric Cancer.	Ann Surg Oncol. 2017 Oct;24(11):3438-3445.	Original Article
129	Hara T, Yoneda H, Kurimoto S, 他	手の外科	Thumb boutonnière deformity without rheumatoid arthritis or trauma	J Hand Surg Eur Vol. 2018 Mar;43(3):324-330.	Original Article
130	Yamamoto M, Natsume T, Kurimoto S, 他	手の外科	Patients with benign hand tumors are indicated for surgery according to patient-rated outcome measures.	J Plast Reconstr Aesthet Surg. 2017 Apr;70(4):487-494.	Original Article
131	Yamamoto M, Malay S, Fujihara Y, 他	手の外科	A Systematic Review of Different Implants and Approaches for Proximal Interphalangeal Joint Arthroplasty.	Plast Reconstr Surg. 2017 May;139(5):1139e-1151e.	Original Article

132	Yamamoto M, Fujihara Y, Fujihara N, 他	手の外科	A systematic review of volar locking plate removal after distal radius fracture.	Injury. 2017 Dec;48(12):2650-2656.	Original Article
133	Nakagawa Y. Hirata H.	手の外科	Hourglass-Like Constriction of the Brachial Plexus in the Posterior Cord: A Case Report.	Neurosurgery. 2018 Jan 1;82(1):E1-E5.	Original Article
134	Fujihara Y, Shauver MJ, Lark ME, 他	手の外科	The Effect of Workers' Compensation on Outcome Measurement Methods after Upper Extremity Surgery: A Systematic Review and Meta-Analysis.	Plast Reconstr Surg. 2017 Apr;139(4):923-933.	Original Article
135	Fujihara Y, Tatebe M, Fujihara N, 他	手の外科	Useful Plain Radiographic Findings in Diagnosis of Pediatric Olecranon Fracture Complicated With Proximal Radial Fracture.	Pediatr Emerg Care.2017 Nov;33(11):e105-e107.	Original Article
136	Ishii H, Iwatsuki K, Tatebe M, 他	手の外科	Multi-center rater- blinded study of early intervention with the Hand Incubator for breast cancer-related lymphedema (the BEAT-EDEMA trial): Proposal of a research protocol.	Nagoya J Med Sci.2017 Feb;79(2):221-227.	Original Article
137	Tatebe M, Urata S, Tanaka K, 他	手の外科	Survival Rate of Limb Replantation in Different Age Groups.	J Hand Microsurg.2017 Aug;9(2):92-94.	Original Article

138	Naganawa S, Kawai H, Taoka T, 他	放射線科	Improved HYDROPS: Imaging of Endolymphatic Hydrops after Intravenous Administration of Gadolinium.	Magn Reson Med Sci. 2017 Oct;16(4):357-361.	Others
139	Taoka T, Masutani Y, Kawai H, 他	放射線科	Evaluation of glymphatic system activity with the diffusion MR technique: diffusion tensor image analysis along the perivascular space (DTI-ALPS) in Alzheimer's disease cases.	Jpn J Radiol. 2017 Apr;35(4):172-178.	Original Article
140	Kawamura M, Maeda Y, Yamamoto K, 他	放射線科	Development of the breast immobilization system in prone setup: The effect of bra in prone position to improve the breast setup error.	J Appl Clin Med Phys. 2017 Jul;18(4):155-160.	Original Article
141	Kamomae T, Monzen H, Kawamura M, 他	放射線科	Dosimetric Feasibility of Using Tungsten- Based Functional Paper for Flexible Chest Wall Protectors in Intraoperative Electron Radiotherapy for Breast Cancer.	Phys Med Biol. 2017 Dec 14;63(1):015006.	Original Article
142	Kamomae T, Shimizu H, Nakaya T, 他	放射線科	Three-dimensional printer-generated patient-specific phantom for artificial in vivo dosimetry in radiotherapy quality assurance.	Phys Med. 2017 Dec;44:205-211.	Original Article
143	Ito R, Iwano S, Shimamoto H, Umakoshi H, 他	放射線科	A comparative analysis of dual- phase dual-energy CT and FDG- PET/CT for the prediction of histopathological invasiveness of non- small cell lung cancer.	Eur J Radiol. 2017 Oct;95:186-191.	Original Article

144	Kimura K, Itoh Y, Okada T, 他	放射線科	Optimized treatment strategy of radiotherapy for early glottic squamous cell carcinomas: An initial analysis.	Nagoya J Med Sci. 2017 Aug;79(3):331-338.	Original Article
145	Naganawa S.	放射線科	Effect of Gadolinium Deposition on 18F-FDG PET/CT of Dentate Nucleus and Globus Pallidus.	J Nucl Med Technol. 2017 Jun;45(2):173.	Letter
146	Naganawa S, Sone M.	放射線科	Letter to Editors: Detection of endolymphatic hydrops using traditional MR imaging sequences.	Am J Otolaryngol. 2017 Sep - Oct;38(5):637-638.	Letter
147	Naganawa S, Nakane T, Kawai H, 他	放射線科	Lack of Contrast Enhancement in a Giant Perivascular Space of the Basal Ganglion on Delayed FLAIR Images: Implications for the Glymphatic System.	Magn Reson Med Sci. 2017 Apr 10;16(2):89-90.	Review
148	Iwano S.	放射線科	Planning video-assisted thoracic surgery segmentectomy using three dimensional computed tomography angiography and bronchography with a virtual safety margin.	J Vis Surg. 2017 Jun 16;3:82.	Case Report
149	Hyodo R, Sato Y, Ito M, Sugiyama Y, 他	放射線科	Magnetic resonance spectroscopy in preterm infants: association with neurodevelopmental outcomes.	Arch Dis Child Fetal Neonatal Ed. 2017 Jul 19. pii: fetalneonatal-2016-311403. doi: 10.1136/archdischild-2016-311403. [Epub ahead of print]	Original Article

150	Hu LM, Takata K, Miyata- Takata T, 他	病理部	Clinicopathological analysis of 12 patients with Epstein-Barr virus-positive primary intestinal T/natural killer-cell lymphoma (EBV+ ITNKL)	Histopathology. 2017 Jun;70(7):1052-1063.	Original Article
151	Wu CC, Takahashi E, Asano N, 他	病理部	Primary cutaneous NK/T-cell lymphoma of nasal type: an age-related lymphoproliferative disease?	Hum Pathol. 2017 Oct;68:61-68.	Original Article
152	Suzuki Y, Kato S, Kohno K, 他	病理部	Clinicopathological analysis of 46 cases with CD4+ and/or CD56+ immature haematolymphoid malignancy: reappraisal of blastic plasmacytoid dendritic cell and related neoplasms	Histopathology. 2017 Dec;71(6):972-984.	Original Article
153	Ohashi A, Kato S, Okamoto A, 他	病理部	Reappraisal of Epstein-Barr virus (EBV) in diffuse large B-cell lymphoma (DLBCL): comparative analysis between EBV-positive and EBV-negative DLBCL with EBV-positive bystander cells	Histopathology. 2017 Jul;71(1):89-97.	Original Article
154	Eladl AE, Satou A, Elsayed AA, 他	病理部	Clinicopathological Study of 30 Cases of Peripheral T-cell Lymphoma with Hodgkin and Reed-Sternberg-like B-cells from Japan.	Am J Surg Pathol. 2017 Apr;41(4):506-516.	Original Article
155	Murata M, Maeda Y, Masuko M, 他	血液内科	Phase II study of intrabone single unit cord blood transplantation for hematological malignancies.	Cancer Sci. 2017 Aug;108(8):1634-1639.	Original Article

156	Terakura S, Kuwatsuka Y, Yamasaki S, 他	血液内科	GvHD prophylaxis after single-unit reduced intensity conditioning cord blood transplantation in adults with acute leukemia.	Bone Marrow Transplant. 2017 Sep;52(9):1261-1267.	Original Article
157	Kojima Y, Hayakawa F, Morishita T, 他	血液内科	YM155 induces apoptosis through proteasome-dependent degradation of MCL-1 in primary effusion lymphoma.	Pharmacol Res. 2017 Jun;120:242-251.	Original Article
158	Adachi Y, Ishikawa Y, Kiyoi H.	血液内科	Identification of volasertib-resistant mechanism and evaluation of combination effects with volasertib and other agents on acute myeloid leukemia.	Oncotarget. 2017 Jul 26;8(45):78452-78465.	Original Article
159	Kawashima N, Terakura S, Nishiwaki S, 他	血液内科	Increase of bone marrow macrophages and CD8(+) T lymphocytes predict graft failure after allogeneic bone marrow or cord blood transplantation.	Bone Marrow Transplant. 2017 Aug;52(8):1164-1170.	Original Article
160	Koyama D, Murata M, Hanajiri R, 他	血液内科	High incidence of extensive chronic graft-versus-host disease in patients with the REG3A rs7588571 non-GG genotype.	PLoS One. 2017 Sep 25;12(9):e0185213.	Original Article
161	Shirahata-Adachi M, Iriyama C, Tomita A, 他	血液内科	Altered EZH2 splicing and expression is associated with impaired histone H3 lysine 27 trimethylation in myelodysplastic syndrome.	Leuk Res. 2017 Dec;63:90-97.	Original Article

162	Kobayashi T, Iwama S, Yasuda Y, 他	糖尿病・内分泌内科	Patients With Antithyroid Antibodies Are Prone To Develop Destructive Thyroiditis by Nivolumab: A Prospective Study.	J Endocr Soc. 2018 Feb 6;2(3):241-251.	Original Article
163	Harada Y, Nagata Y, Kihara R, 他	血液内科	Prognostic analysis according to the 2017 ELN risk stratification by genetics in adult acute myeloid leukemia patients treated in the Japan Adult Leukemia Study Group (JALSG) AML201 study	Leuk Res. 2018 Mar;66:20-27.	Original Article
164	Chalise L, Motomura K, Ohka F, 他	脳神経外科	Comparing the Efficacy of DeVIC Therapy and High- dose Methotrexate Monotherapy with Whole-brain Radiation Therapy for Newly-diagnosed Primary Central Nervous System Lymphoma: A Single	Anticancer Res. 2017 Sep;37(9):5215-5223.	Original Article
165	Motomura K, Natsume A, Iijima K, 他	脳神経外科	Surgical benefits of combined awake craniotomy and intraoperative magnetic resonance imaging for gliomas associated with eloquent areas.	J Neurosurg. 2017 Oct;127(4):790-797.	Original Article
166	Araki Y, Takagi Y, Mineharu Y, 他	脳神経外科	Rapid Contralateral Progression of Focal Cerebral Arteriopathy Distinguished from RNF213-related Moyamoya Disease and Fibromuscular Dysplasia.	Childs Nerv Syst. 2017 Aug;33(8):1405-1409.	Original Article
167	Fukuoka T, Nishimura Y, Hara M, 他	脳神経外科	Flat posterior cranial fossa affects outcomes of microvascular decompression for trigeminal neuralgia	World Neurosurg. 2018 Mar;111:e519-e526.	Original Article

168	Haimoto S, Nishimura Y, Hara M, 他	脳神経外科	Clinical and Radiological Outcomes of Microscopic Lumbar Foraminal Decompression: A Pilot Analysis of Possible Risk Factors for Restenosis.	Neurol Med Chir (Tokyo). 2018 Jan 15;58(1):49-58.	Review
169	Matsubara N, Izumi T, Miyachi S, 他	脳神経外科	Contrast-induced encephalopathy following embolization of intracranial aneurysms in hemodialysis patients.	Neurol Med Chir (Tokyo). 2017 Dec 15;57(12):641-648.	Review
170	Matsubara N, Miyachi S, Izumi T, 他	脳神経外科	Clinical application of insertion force sensor system for coil embolization of intracranial aneurysms	World Neurosurg. 2017 Sep;105:857-863.	Original Article
171	Motomura A, Shimizu M, Kato A, 他	脳神経外科	Remote ischemic preconditioning protects human neural stem cells from oxidative stress.	Apoptosis. 2017 Nov;22(11):1353-1361.	Original Article
172	Nagata Y, Watanabe T, Nagatani T, 他	脳神経外科	Fully endoscopic combined transsphenoidal and supraorbital keyhole approach for parasellar lesions	J Neurosurg. 2018 Mar;128(3):685-694.	Case Report
173	Nagata Y, Watanabe T, Nagatani T, 他	脳神経外科	The Multiscope Technique for Microvascular Decompression	World Neurosurg. 2017 Jul;103:310-314.	Case Report

174	Ohka F, Yamamichi A, Kurimoto M, 他	脳神経外科	A novel all-in-one intraoperative genotyping system for IDH1-mutant glioma.	Brain Tumor Pathol. 2017 Apr;34(2):91-97.	Original Article
175	Ota K, Matsubara N, Miyachi S, 他	脳神経外科	Evaluation of the characteristics of various types of finishing coils for the embolization of intracranial aneurysms in an experimental model with radiolucent coils.	Interv Neuroradiol. 2017 Apr;23(2):143-150.	Review
176	Sakamoto Y, Okamoto S, Shimizu K, 他	脳神経外科	Hands-on Simulation versus Traditional Video-learning in Teaching Microsurgery Technique.	Neurol Med Chir (Tokyo). 2017 May 15;57(5):238- 245.	Review
177	Yamamoto Y, Hara M, Nishimura Y, 他	脳神経外科	Hybrid Method of Transvertebral Foraminotomy Combined with Anterior Cervical Decompression and Fusion for Multilevel Cervical Disease.	Neurol Med Chir (Tokyo). 2018 Mar 15;58(3):124- 131.	Case Report
178	Yokoyama K, Maruwaka M, Yoshikawa K, 他	脳神経外科	Elevation of PENK 143-183 in Cerebrospinal Fluid in Moyamoya Disease.	World Neurosurg. 2018 Jan;109:e446-e459.	Original Article
179	Tanaka Y, Tainaka T, Sumida W, 他	小児外科	The efficacy of resection of intrahepatic bile duct stenosis-causing membrane or septum for preventing hepatolithiasis after choledochal cyst excision.	J Pediatr Surg. 2017 Dec;52(12):1930-1933.	Original Article

180	Tanaka Y, Tainaka T, Sumida W, 他	小児外科	Comparison of outcomes of thoracoscopic primary repair of gross type C esophageal atresia performed by qualified and non-qualified surgeons.	Pediatr Surg Int. 2017 Oct;33(10):1081-1086.	Original Article
181	Shirota C, Hinoki A, Takahashi M, 他	小児外科	New Navigation Surgery for Resection of Lymphatic Malformations Using Indocyanine Green Fluorescence Imaging.	Am J Case Rep. 2017 May 13;18:529-531.	Original Article
182	Sumida W, Uchida H, Tanaka Y, 他	小児外科	Review of redo-Kasai portoenterostomy for biliary atresia in the transition to the liver transplantation era.	Nagoya J Med Sci. 2017 Aug;79(3):415-420.	Original Article
183	Shirota C, Tainaka T, Nakane T, 他	小児外科	Usefulness of fetal magnetic resonance imaging for postnatal management of congenital lung cysts: prediction of probability for emergency surgery.	BMC Pediatr. 2018 Mar 8;18(1):105.	Original Article
184	Takeichi T, Tanahashi K, Taki T, 他	皮膚科	Mutational analysis of 29 patients with autosomal-recessive woolly hair and hypotrichosis: LIPH mutations are extremely predominant in autosomal-recessive woolly hair and hypotrichosis in	Br J Dermatol. 2017 Jul;177(1):290-292.	Letters
185	Takeichi T, Kobayashi A, Ogawa E, 他	皮膚科	Autosomal dominant familial generalized pustular psoriasis caused by a CARD14 mutation.	Br J Dermatol. 2017 Oct;177(4):e133-e135.	Letters

186	Shibata A, Sugiura K, Furuta Y, 他	皮膚科	Toll-like receptor 4 antagonist TAK-242 inhibits autoinflammatory symptoms in DITRA.	J Autoimmun. 2017 Jun;80:28-38.	Original Article
187	Ogawa- Momohara M, Muro Y, Satoh M,他	皮膚科	Autoantibodies to Su/Argonaute 2 in Japanese patients with inflammatory myopathy.	Clin Chim Acta. 2017 Aug;471:304-307.	Original Article
188	Muro Y, Nakanishi H, Katsuno M, 他	皮膚科	Prevalence of anti-NT5C1A antibodies in Japanese patients with autoimmune rheumatic diseases in comparison with other patient cohorts.	Clin Chim Acta. 2017 Sep;472:1-4.	Original Article
189	Ogawa Y, Kono M, Akiyama M.	皮膚科	Pigmented macules in Waardenburg syndrome type 2 due to KITLG mutation.	Pigment Cell Melanoma Res. 2017 Sep;30(5):501-504.	Letters
190	Taki T, Ogawa Y, Sakakibara A, 他	皮膚科	Image Gallery: Unilaterally dominant acrokeratoelastoidosis (punctate palmoplantar keratoderma type 3).	Br J Dermatol. 2017 Oct;177(4):e157.	Others
191	Takeichi T, Nomura T, Takama H, 他	皮膚科	Deficient stratum corneum intercellular lipid in a Japanese patient with lamellar ichthyosis with a homozygous deletion mutation in SDR9C7.	Br J Dermatol. 2017 Sep;177(3):e62-e64.	Letters

192	Takeichi T, Watanabe N, Muro Y, 他	皮膚科	Phosphorylated signal transducer and activator of transcription 3 in the epidermis in adult-onset Still's disease.	J Dermatol. 2017 Oct;44(10):1172-1175.	Original Article
193	Takeichi T, Tsukamoto K, Okuno Y, 他	皮膚科	A combination of low-dose systemic etretinate and topical calcipotriol/betamethasone dipropionate treatment for hyperkeratosis and itching in Olmsted syndrome associated with a TRPV3 mutation.	J Dermatol Sci. 2017 Oct;88(1):144-146.	Letters
194	Yokota K, Matsumoto T, Murakami Y, 他	皮膚科	Near-infrared image-guided superselective intra-arterial infusion of high-dose cisplatin for squamous cell carcinoma on the lower lip	Eur J Dermatol 2017 Apr 1;27(2):208-209.	Letters
195	Yokota K, Kono M, Mori S, 他	皮膚科	A solid variant of primary cutaneous cribriform carcinoma: a small, stable, long-term lesion.	Eur J Dermatol 2017 Aug 1;27(4):419-421.	Case Report
196	Yokota K, Kono M, Shimizu K, 他	皮膚科	Highly variable clinical feature and course of aggressive digital papillary adenocarcinoma.	J Dermatol 2018 Mar;45(3):357-360.	Case Report
197	Akiyama M	皮膚科	Corneocyte lipid envelope (CLE), the key structure for skin barrier function and ichthyosis pathogenesis.	J Dermatol Sci 2017 Oct;88(1):3-9.	Review

198	Akiyama M	皮膚科	Ultrasonography, a useful tool for detecting tumor 'pseudoprogression'	Br J Dermatol 2017 Dec;177(6):1483-1484.	Others
199	Kono M, Suga Y, Akashi T, Ito Y, 他	皮膚科	A child with epidermolytic ichthyosis from a parent with epidermolytic nevus: risk evaluation of transmission from mosaic to germline.	J Invest Dermatol. 2017 Sep; 137(9):2024-2026.	Original Article
200	Taki T, Muro Y, Ogawa Y, 他	皮膚科	Image Gallery: Palmoplantar hyperkeratosis in dermatomyositis with anti-PM/Scl antibodies.	Br J Dermatol. 2017 May; 176(5):e94.	Case Report
201	Muro Y, Iwata N, Tanaka Y, 他	皮膚科	Anti-dense fine speckled 70 autoantibodies in Japanese children with dermatomyositis, localized scleroderma, and idiopathic arthritis with iridocyclitis.	J Rheumatol. 2017 May; 44(5):711-712.	Original Article
202	Adachi R, Muro Y, Kono M, 他	皮膚科	Intramuscular haemorrhage in a patient with dermatomyositis and anti-TIF1gamma antibodies.	Eur J Dermatol. 2018 Feb ; 28(1):116-118.	Case Report
203	Kono M, Niizawa M, Takeichi T, 他	皮膚科	Hailey-Hailey disease due to ATP2C1 splice site mutation, successfully treated with minocycline hydrochloride.	J Eur Acad Dermatol Venereol. 2018 Jan; 32(1):e19-e20.	Case Report

204	Takeichi T, Okuno Y, Saito C, 他	皮膚科	Congenital Ichthyosis and Recurrent Eczema Associated with a Novel ALOXE3 Mutation.	Acta Derm Venereol. 2017 Apr; 6;97(4):532-533.	Case Report
205	Takeichi T, Akiyama M.	皮膚科	Successful treatment of a cutaneous ulcer due to cholesterol crystal embolization with topical basic fibroblast growth factor.	Eur J Dermatol. 2017 Apr 1;27(2):182-183.	Case Report
206	Morita-Adachi R, Takeichi T, Okuno Y, 他	皮膚科	A case of lamellar ichthyosis due to a novel TGM1 mutation associated with Parkinson's disease.	Eur J Dermatol. 2017 Aug; 1;27(4):438-439.	Case Report
207	Hidaka Y, Takeichi T, Ishikawa Y, 他	皮膚科	Abscopal Effect of Local Irradiation Treatment for Diffuse Large B-cell Lymphoma.	Acta Derm Venereol. 2017 Oct; 2;97(9):1140-1141.	Case Report
208	Takeichi T, Torrelo A, Lee JYW, 他	皮膚科	Biallelic Mutations in KDSR Disrupt Ceramide Synthesis and Result in a Spectrum of Keratinization Disorders Associated with Thrombocytopenia.	J Invest Dermatol. 2017 Nov; 137(11):2344-2353.	Original Article
209	Akiyama M, Takeichi T, McGrath JA, 他	皮膚科	Autoinflammatory keratinization diseases.	J Allergy Clin Immunol. 2017 Dec; 140(6):1545-1547.	Review

210	Mizuno S, Takeichi T, Sato J, 他	皮膚科	Multiple keratotic papules and plaques on the trunk in Cowden's disease with MALT lymphoma.	J Dermatol. 2018 Feb; 45(2):238-240.	Case Report
211	Takeichi T, Tomimura S, Okuno Y, 他	皮膚科	Trichothiodystrophy, complementation group A complicated with squamous cell carcinoma.	J Eur Acad Dermatol Venereol. 2018 Feb; 32(2):e75-e77.	Case Report
212	Takeichi T, Katayama C, Tanaka T, 他	皮膚科	A novel IFIH1 mutation in the pincer domain underlies the clinical features of both Aicardi-Goutières and Singleton-Merten syndromes in a single patient.	Br J Dermatol. 2018 Feb; 178(2):e111-e113.	Case Report
213	Hasegawa- Murakami Y, Kono M, Yokota K, 他	皮膚科	Dermoscopic features of endocrine mucin-producing sweat gland carcinoma.	J Dermatol. 2018 Mar; 45(3):353-356.	Letters
214	Urata T, Kono M, Ishihara Y, 他	皮膚科	Adult Staphylococcal Scalded Skin Syndrome Successfully Treated with Multimodal Therapy Including Intravenous Immunoglobulin.	Acta Derm Venereol. 2018 Jan; 98(1):136-137.	Case Report
215	Kawarada Y, Miyazaki M, Itoh A, 他	薬剤部	Incidence of and risk factors associated with nedaplatin-related hypersensitivity reactions.	Int J Clin Oncol. 2017 Jun; 22(3):593-599.	Original Article

216	Ishigami M, Hayashi K, Honda T, 他	消化器内科	Daclatasvir and asunaprevir treatment in patients with severe liver fibrosis by hepatitis C virus genotype 1b infection: Real-world data.	J Gastroenterol Hepatol. 2017 Nov;32(11):1879-1886.	Original Article
217	Hirooka Y, Kawashima H, Ohno E, 他	光学医療診療部	Comprehensive immunotherapy combined with intratumoral injection of zoledronate-pulsed dendritic cells, intravenous adoptive activated T lymphocyte and gemcitabine in unresectable locally	Oncotarget. 2017 Dec 5;9(2):2838-2847	Original Article
218	Kuwahara T, Hirooka Y, Kawashima H, 他	消化器内科	Usefulness of endoscopic ultrasonography-elastography as a predictive tool for the occurrence of pancreatic fistula after pancreatoduodenectomy.	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2017 Dec;24(12):649-656. doi: 10.1002/jhbp.514.	Original Article
219	Sakai D, Hirooka Y, Kawashima H, 他	消化器内科	Increase in breath hydrogen concentration was correlated with the main pancreatic duct stenosis.	J Breath Res. 2018 Mar 12;12(3):036004.	Original Article
220	Ohno E, Hirooka Y, Kawashima H, 他	消化器内科	Natural history of pancreatic cystic lesions: A multicenter prospective observational study for evaluating the risk of pancreatic cancer.	J Gastroenterol Hepatol. 2018 Jan;33(1):320-328.	Original Article
221	Kuwahara T, Hirooka Y, Kawashima H, 他	消化器内科	Usefulness of shear wave elastography as a quantitative diagnosis of chronic pancreatitis.	J Gastroenterol Hepatol. 2018 Mar;33(3):756-761.	Original Article

222	Hirooka Y, Ishikawa T, Kawashima H,他	光学医療診療部	Prospective multicenter phase II study of gemcitabine plus cisplatin in patients with unresectable gallbladder cancer.	Cancer Chemother Pharmacol. 2017 Jul;80(1):119-125.	Original Article
223	Kuwahara T, Hirooka Y, Kawashima H,他	消化器内科	Quantitative diagnosis of chronic pancreatitis using EUS elastography.	J Gastroenterol. 2017 Jul;52(7):868-874.	Original Article
224	Ishikawa T, Mohamed R, Heitman SJ,他	消化器内科	Diagnostic yield of small histological cores obtained with a new EUS-guided fine needle biopsy system.	Surg Endosc. 2017 Dec;31(12):5143-5149.	Original Article
225	Ishikawa T, Hirooka Y, Teman CJ,他	消化器内科	An Unusual Case of Pancreatic Metastasis from Squamous Cell Carcinoma of the Lung Diagnosed by EUS-Guided Fine Needle Biopsy.	Case Rep Gastrointest Med. 2017;2017:3212056.	Case Report
226	Tsurudome I, Miyahara R, Funasaka K,他	消化器内科	In vivo histological diagnosis for gastric cancer using endocytoscopy.	World J Gastroenterol. 2017 Oct 7;23(37):6894-6901.	Original Article
227	Tanaka I, Kawada K, Morise M,他	呼吸器内科	A phase II trial of Ifosfamide combination with recommended supportive therapy for recurrent SCLC in second-line and heavily treated setting.	Cancer Chemother Pharmacol. 2018 Feb;81(2):339-345.	Original Article

228	Furukawa T, Kondoh Y, Taniguchi H, 他	呼吸器内科	A scoring system to predict the elevation of mean pulmonary arterial pressure in idiopathic pulmonary fibrosis	Eur Respir J. 2018 Jan 18;51(1). pii: 1701311.	Original Article
229	Omote N, Hashimoto N, Morise M, 他	呼吸器内科	Impact of mild to moderate COPD on feasibility and prognosis in non-small cell lung cancer patients who received chemotherapy.	Int J Chron Obstruct Pulmon Dis. 2017 Dec 11;12:3541-3547.	Original Article
230	Sakamoto K, Ito S, Hashimoto N, 他	呼吸器内科	Pirfenidone as salvage treatment for refractory bleomycin-induced lung injury: a case report of seminoma.	BMC Cancer. 2017 Aug 7;17(1):526.	Case Report
231	Shindo Y, Hasegawa Y.	呼吸器内科	Regional differences in antibiotic-resistant pathogens in patients with pneumonia: Implications for clinicians.	Respirology. 2017 Nov;22(8):1536-1546.	Review
232	Miyazawa A, Ito S, Asano S, 他	呼吸器内科	Regulation of PD-L1 expression by matrix stiffness in lung cancer cells.	Biochem Biophys Res Commun 2018 2018 Jan 15;495(3):2344-2349.	Original Article
233	Ito S, Uchida A, Isobe Y, 他	呼吸器内科	Responsiveness to bronchodilator procaterol in COPD as assessed by forced oscillation technique.	Respir Physiol Neurobiol. 2017 Jun;240:41-47.	Original Article

234	Hashimoto N, Ando A, Iwano S, 他	呼吸器内科	Thin-section computed tomography- determined usual interstitial pneumonia pattern affects the decision-making process for resection in newly diagnosed lung cancer patients: a retrospective study	BMC.Pulm Med 2018 Jan 5;18(1):2.	Original Article
235	Ito S, Wakahara K, Kojima T, 他	呼吸器内科	Two cases of autoimmune pulmonary alveolar proteinosis with rheumatoid arthritis.	Allergol Int. 2017 Jul;66(3):507-509.	Case Report
236	Onoue T, Goto M, Kobayashi T, 他	糖尿病・内分泌内科	Randomized controlled trial for assessment of Internet of Things system to guide intensive glucose control in diabetes outpatients: Nagoya Health Navigator Study protocol	Nagoya J Med Sci. 2017 Aug;79(3):323-329.	Original Article
237	Ogawa K, Suga H, Ozone C, 他	糖尿病・内分泌内科	Vasopressin- secreting neurons derived from human embryonic stem cells through specific induction of dorsal hypothalamic progenitors.	Sci Rep. 2018 Feb 26;8(1):3615.	Original Article
238	Sugiyama M, Banno R, Mizoguchi A, 他	糖尿病・内分泌内科	PTP1B deficiency improves hypothalamic insulin sensitivity resulting in the attenuation of AgRP mRNA expression under high-fat diet conditions.	Biochem Biophys Res Commun. 2017 Jun 17;488(1):116-121.	Original Article
239	Kodama A, Koyama A, Sugimoto M, 他	血管外科	Association Between Preoperative Frailty and Mortality in Patients With Critical Limb Ischemia Following Infrainguinal Bypass Surgery - Usefulness of the Barthel Index.	Circ J. 2017 Dec 25;82(1):267-274.	Original Article

240	Sugimoto M, Koyama A, Niimi K, 他	血管外科	Long-term Comparison of Endovascular and Open Repair of Abdominal Aortic Aneurysms: Retrospective Analysis of Matched Cohorts with Propensity Score.	Ann Vasc Surg. 2017 Aug;43:96-103.	Original Article
241	Kamei H, Onishi Y, Kurata N, 他	移植外科	Donor Selection and Prophylactic Strategy for Venous Thromboembolic Events in Living Donors of Liver Transplantation Based on Results of Thrombophilia Screening Tests.	Annals of Transplantation. 2017 Jul 4;22:409-416.	Original Article
242	Kurata N, Onishi Y, Kamei H, 他	移植外科	Successful Blood Transfusion Management of a Living Donor Liver Transplant Recipient in the Presence of Anti-Jra: A Case Report.	Transplant Proc. 2017 Sep;49(7):1604-1607.	Case Report
243	Shibata M, Kanda M, Tanaka H, 他	乳腺・内分泌外科	Overexpression of Derlin 3 is associated with malignant phenotype of breast cancer cells.	Oncol Rep. 2017 Sep;38(3):1760-1766.	Original Article
244	Shibata M, Kanda M, Shimizu D, 他	乳腺・内分泌外科	Expression of regulatory factor X1 can predict the prognosis of breast cancer.	Oncol Lett. 2017 Jun;13(6):4334-4340.	Original Article
245	Osawa Y, Seki T, Morita D, 他	整形外科	Total Hip Arthroplasty After Transtrochanteric Rotational Osteotomy for Osteonecrosis of the Femoral Head: A Mean 10-Year Follow-Up.	J Arthroplasty. 2017 Oct;32(10):3088-3092.	Original Article

246	Osawa Y, Hasegawa Y, Seki T, 他	整形外科	Patient-reported outcomes in patients who undergo total hip arthroplasty after periacetabular osteotomy.	J Orthop Sci. 2018 Mar;23(2):346-349.	Original Article
247	Higuchi Y, Hasegawa Y, Komatsu D, 他	整形外科	Incidence of Ceramic Liner Malseating After Ceramic-on-Ceramic Total Hip Arthroplasty Associated With Osteolysis: A 5- to 15-Year Follow-Up Study.	J Arthroplasty. 2017 May;32(5):1641-1646	Original Article
248	Takegami Y, Seki T, Amano T, 他	整形外科	The poor quality and reliability of information on periacetabular osteotomy on the internet in Japan.	Nagoya J Med Sci. 2017 Aug;79(3):375-385.	Original Article
249	Takegami Y, Seki T, Higuchi Y, 他	整形外科	Independent association of joint space narrowing, cyst formation and health-related quality of life of patients with hip osteoarthritis in Japan.	J Orthop Sci. 2017 Nov;22(6):1096-1101.	Original Article
250	Kasai T, Hasegawa Y, Imagama S, 他	整形外科	The impact of musculoskeletal diseases on mortality-comparison with internal diseases: A 15-year longitudinal study.	J Orthop Sci. 2017 Nov;22(6):1126-1131.	Original Article
251	Morita D, Seki T, Higuchi Y,他	整形外科	Differences in Femoral Head Penetration Between Highly Cross-Linked Polyethylene Cemented Sockets and Uncemented Liners.	J Arthroplasty. 2017 Dec;32(12):3796-3801.	Original Article

252	Machino M, Imagama S, Ando K, 他	整形外科	The Image Diagnostic Classification of MR T2 Increased Signal Intensity in Cervical Spondylotic Myelopathy: Clinical Evaluation Using Quantitative and Objective Assessment.	Spine (Phila Pa 1976). 2018 Mar 15;43(6):420-426.	Original Article
253	Machino M, Imagama S, Ando K, 他	整形外科	Characteristics of Residual Symptoms After Laminoplasty in Diabetic Patients With Cervical Spondylotic Myelopathy: A Prospective Cohort Study.	Spine (Phila Pa 1976). 2017 Jun 15;42(12):E708-E715.	Original Article
254	Machino M, Imagama S, Ando K, 他	整形外科	Prospective Comparison of Age- and Sex-related Differences in Quantifiable 10-S Grip and Release and 10-S Step Test Results for Diagnosis of cervical Spondylotic Myelopathy in 454	Spine (Phila Pa 1976). 2017 Apr 15;42(8):578-585.	Original Article
255	Ando K, Imagama S, Ito Z, 他	整形外科	Minimum 5-year Follow-up Results for Occipitocervical Fusion Using the Screw-Rod System in Craniocervical Instability.	Clin Spine Surg. 2017 Jun;30(5):E628-E632.	Original Article
256	Ando K, Imagama S, Ito Z, 他	整形外科	Ponte Osteotomy During Dekyphosis for Indirect Posterior Decompression With Ossification of the Posterior Longitudinal Ligament of the Thoracic Spine.	Clin Spine Surg. 2017 May;30(4):E358-E362.	Original Article
257	Ando K, Imagama S, Kobayashi K, 他	整形外科	Aggressive osteoblastoma of the cervical spine involving the canal and vertebral artery: a case report.	Eur Spine J. 2017 May;26(Suppl 1):111-116.	Case Report

258	Kanbara S, Urasaki T, Tomita H, 他	整形外科	Surgical outcomes of decompressive laminoplasty with spinous process osteotomy to treat lumbar spinal stenosis	Nagoya J Med Sci. 2018 Feb;80(1):1-9.	Original Article
259	Kobayashi K, Ando K, Inagaki Y, 他	整形外科	Measures and effects on prevention of fall: the role of a fall working group at a university hospital.	Nagoya J Med Sci. 2017 Nov;79(4):497-504.	Original Article
260	Kobayashi K, Ando K, Yagi H,他	整形外科	Prevention and prediction of postoperative bowel bladder disorder using an anal plug electrode with Tc-MsEP monitoring during spine surgery.	Nagoya J Med Sci. 2017 Nov;79(4):459-466.	Original Article
261	Kobayashi K, Ando K, Ito K,他	整形外科	Efficacy of intraoperative lumbar subarachnoid drainage for prevention of cerebrospinal fluid leak after spinal cord tumor resection.	J Orthop Sci. 2018 Mar;23(2):266-272.	Original Article
262	Kobayashi K, Imagama S, Ando K, 他	整形外科	Complications Associated With Spine Surgery in Patients Aged 80 Years or Older: Japan Association of Spine Surgeons with Ambition (JASA) Multicenter Study.	Global Spine J. 2017 Oct;7(7):636-641	Original Article
263	Kobayashi K, Imagama S, Ito Z, 他	整形外科	Is a Drain Tip Culture Required After Spinal Surgery?	Clin Spine Surg. 2017 Oct;30(8):356-359.	Original Article

264	Kobayashi K, Imagama S, Ando K, 他	整形外科	Risk Factors for Delirium After Spine Surgery in Extremely Elderly Patients Aged 80 Years or Older and Review of the Literature: Japan Association of Spine Surgeons with Ambition Multicenter Study.	Global Spine J. 2017 Sep;7(6):560-566.	Original Article
265	Kobayashi K, Imagama S, Inagaki Y, 他	整形外科	Incidence and characteristics of accidental falls in hospitalizations.	Nagoya J Med Sci. 2017 Aug;79(3):291-298.	Original Article
266	Kobayashi K, Imagama S, Ando K, 他	整形外科	Efficacy of Conical Laminoplasty After Thoracic Laminectomy.	Clin Spine Surg. 2018 May;31(4):156-161.	Original Article
267	Kobayashi K, Imagama S, Ando K, 他	整形外科	Analysis of falls that caused serious events in hospitalized patients.	Geriatr Gerontol Int. 2017 Dec;17(12):2403-2406.	Original Article
268	Kobayashi K, Imagama S, Ando K, 他	整形外科	Acute non-traumatic idiopathic spinal subdural hematoma: radiographic findings and surgical results with a literature review.	Eur Spine J. 2017 Nov;26(11):2739-2743.	Original Article
269	Kobayashi K, Imagama S, Kato D, 他	整形外科	Collaboration with an infection control team for patients with infection after spine surgery.	Am J Infect Control. 2017 Jul 1;45(7):767-770.	Original Article

270	Kobayashi K, Imagama S, Ando K,他	整形外科	Analysis of Incident and Accident Reports and Risk Management in Spine Surgery.	Spine (Phila Pa 1976). 2017 Aug 1;42(15):1184-1188.	Original Article
271	Kobayashi K, Imagama S, Ito Z, 他	整形外科	Prevention of spinal cord injury using brain-evoked muscle-action potential (Br(E)-MsEP) monitoring in cervical spinal screw fixation.	Eur Spine J. 2017 Apr;26(4):1154-1161.	Original Article
272	Ito K, Kawakami Noriaki, Tsuji T, 他	整形外科	Corrective surgery for kyphosis in a case of Gaucher's disease without history of vertebral compression fractures.	Spine Surgery and Related Research, 2017 Oct	Case Report
273	Imagama S, Ando K, Ito Z,他	整形外科	Risk Factors for Ineffectiveness of Posterior Decompression and Dekyphotic Corrective Fusion with Instrumentation for Beak-Type Thoracic Ossification of the Posterior Longitudinal	Neurosurgery. 2017 May 1;80(5):800-808.	Original Article
274	Imagama S, Hasegawa Y, Ando K, 他	整形外科	Staged decrease of physical ability on the locomotive syndrome risk test is related to neuropathic pain, nociceptive pain, shoulder complaints, and quality of life in middle-aged and elderly people - The utility of the	Mod Rheumatol. 2017 Nov;27(6):1051-1056	Original Article
275	Imagama S, Ando K, Kobayashi K, 他	整形外科	Factors for a Good Surgical Outcome in Posterior Decompression and Dekyphotic Corrective Fusion with Instrumentation for Thoracic Ossification of the Posterior Longitudinal	Oper Neurosurg (Hagerstown). 2017 Dec 1;13(6):661-669.	Original Article

276	Imagama S, Ando K, Kobayashi K, 他	整形外科	Efficacy of Early Fusion With Local Bone Graft and Platelet-Rich Plasma in Lumbar Spinal Fusion Surgery Followed Over 10 Years.	Global Spine J. 2017 Dec;7(8):749-755	Original Article
277	Imagama S, Ito Z, Ando K, 他	整形外科	Optimal Timing of Surgery for Intramedullary Cavernous Hemangioma of the Spinal Cord in Relation to Preoperative Motor Paresis, Disease Duration, and Tumor Volume and Location	Global Spine J. 2017 May;7(3):246-253.	Original Article
278	Matsushita M, Mishima K, Iwata K, 他	整形外科	Percutaneous pinning after prolonged skeletal traction with the hip in a flexed position for unstable slipped capital femoral epiphysis: A case series of 11 patients	Medicine (Baltimore). 2017 May;96(19):e6662.	Original Article
279	Osawa Y, Matsushita M, Hasegawa S, 他	整形外科	Activated FGFR3 promotes bone formation via accelerating endochondral ossification in mouse model of distraction osteogenesis	Bone. 2017 Dec;105:42-49.	Original Article
280	Matsushita M, Esaki R, Mishima K, 他	整形外科	Clinical dosage of meclozine promotes longitudinal bone growth, bone volume, and trabecular bone quality in transgenic mice with achondroplasia	Sci Rep. 2017 Aug 7;7(1):7383.	Original Article
281	Okura T, Matsushita M, Mishima K, 他	整形外科	Activated FGFR3 prevents subchondral bone sclerosis during the development of osteoarthritis in transgenic mice with achondroplasia	J Orthop Res. 2018 Jan;36(1):300-308.	Original Article

282	Kishimoto Y, Ohkawara B, Sakai T, 他	整形外科	Wnt/ β -catenin signaling suppresses expressions of Scx, Mxk, and Tnmd in tendon-derived cells.	PLoS One. 2017 Jul 27;12(7):e0182051.	Original Article
283	Miyamoto K, Ohkawara B, Ito M, 他	整形外科	Fluoxetine ameliorates cartilage degradation in osteoarthritis by inhibiting Wnt/ β -catenin signaling.	PLoS One. 2017 Sep 19;12(9):e0184388.	Original Article
284	Asai S, Fujibayashi T, Oguchi T, 他	整形外科	Predictors of biologic discontinuation due to insufficient response in patients with rheumatoid arthritis who achieved clinical remission with biologic treatment: A multicenter observational cohort	Mod Rheumatol. 2018 Mar;28(2):221-226.	Original Article
285	Sobue Y, Kojima T, Kurokouchi K, 他	整形外科	Prediction of progression of damage to articular cartilage 2 years after anterior cruciate ligament reconstruction: use of aggrecan and type II collagen biomarkers in a retrospective observational study.	Arthritis Res Ther. 2017 Dec 6;19(1):265.	Original Article
286	Ota T, Nishida Y, Ikuta K, 他	整形外科	Heat-stimuli-enhanced osteogenesis using clinically available biomaterials.	PLoS One. 2017 Jul 18;12(7):e0181404.	Original Article
287	Sakai T, Nishida Y, Hamada S, 他	整形外科	Immunohistochemical staining with non-phospho β -catenin as a diagnostic and prognostic tool of COX-2 inhibitor therapy for patients with extra-peritoneal desmoidtype fibromatosis.	Diagn Pathol. 2017 Aug 29;12(1):66.	Original Article

288	Urakawa H, Nakanishi K, Arai E, 他	整形外科	Single metastasis of myxoid liposarcoma from the thigh to thyroid gland: a case report.	World J Surg Oncol. 2018 Mar 27;16(1):71.	Case Report
289	Ito K, Ohkawara B, Yagi H, 他	整形外科	Lack of Fgf18 causes abnormal clustering of motor nerve terminals at the neuromuscular junction with reduced acetylcholine reseptor clusters.	Sci Rep. 2018 Jan 11;8(1):434.	Original Article
290	Ito K, Imagama S, Ando K, 他	整形外科	Psterior fusion of the occipital axis in children with upper cervical disorder using both C2 pedicle and laminar screws.	Spine Surgery and Related Research. 2018 Jan;Volume2 Issue1:82-85	Case Report
291	Iwase T, Kobayashi M, Yamamoto K, 他	眼科	Change in choroidal blood flow and choroidal morphology due to segmental scleral buckling in eyes with rhegmatogenous retinal detachment.	Sci Rep. 2017 Jul 20;7(1):5997.	Original Article
292	Akahori T, Iwase T, Yamamoto K, 他	眼科	Changes in Choroidal Blood Flow and Morphology in Response to Increase in Intraocular Pressure.	Invest Ophthalmol Vis Sci. 2017 Oct 1;58(12):5076-5085.	Original Article
293	Iwase T, Yamamoto K, Yanagida K, 他	眼科	Investigation of causes of sex-related differences in ocular blood flow in healthy eyes determined by laser speckle flowgraphy.	Sci Rep. 2017 Oct 24;7(1):13878.	Original Article

294	Fukami M, Iwase T, Yamamoto K, 他	眼科	Diurnal variation of pulse waveform parameters determined by laser speckle flowgraphy on the optic nerve head in healthy subjects.	Medicine (Baltimore). 2017 Nov;96(44):e8312.	Original Article
295	Kaneko H, Matsuura T, Takayama K, 他	眼科	Increased Retinal Thinning after Combination of Internal Limiting Membrane Peeling and Silicone Oil Endotamponade in Proliferative Diabetic Retinopathy.	Ophthalmologica. 2017;238(4):226-235.	Original Article
296	Kaneko H, Takayama K, Asami T,他	眼科	Cytokine profiling in the sub-silicone oil fluid after vitrectomy surgeries for refractory retinal diseases.	Sci Rep. 2017 May 25;7(1):2640.	Original Article
297	Tsunekawa T, Kaneko H, Takayama K, 他	眼科	Correlation between miR-148 Expression in Vitreous and Severity of Rhegmatogenous Retinal Detachment.	Biomed Res Int. 2017;2017:3427319.	Original Article
298	Ueno S, Nakanishi A, Sayo A, 他	眼科	Differences in ocular findings in two siblings: one with complete and other with incomplete achromatopsia.	Documenta ophthalmologica Advances in ophthalmology.2017 Apr 134 (2):141-147.	Original Article
299	Sayo A, Ueno S, Kominami T,他	眼科	Longitudinal study of visual field changes determined by Humphrey Field Analyzer 10-2 in patients with Retinitis Pigmentosa.	Sci Rep. 2017 Nov 27;7(1):16383.	Original Article

300	Kominami T, Ueno S, Kominami A, 他	眼科	Associations Between Outer Retinal Structures and Focal Macular Electroretinograms in Patients With Retinitis Pigmentosa.	Investigative ophthalmology & visual science 2017 Oct;58 (12):5122-5128.	Original Article
301	Terasaki H, Ogura Y, Kitano S, 他	眼科	Management of diabetic macular edema in Japan: a review and expert opinion.	Jpn J Ophthalmol. 2018 Jan;62(1):1-23.	Original Article
302	Haga F, Maruko R, Sato C, 他	眼科	Long-term prognostic factors of chronic central serous chorioretinopathy after half-dose photodynamic therapy: A 3-year follow-up study.	PLoS One. 2017 Jul 24;12(7):e0181479.	Original Article
303	Kaneko H, Terasaki H.	眼科	Biological Involvement of MicroRNAs in Proliferative Vitreoretinopathy.	Transl Vis Sci Technol. 2017 Jul 10;6(4):5.	Review.
304	Takayama K, Kaneko H, Kataoka K, 他	眼科	Comparison between 1-year outcomes of aflibercept with and without photodynamic therapy for polypoidal choroidal vasculopathy:Retrospective observation study.	PLoS One. 2017 May 3;12(5):e0176100.	Original Article
305	Ra E, Ito Y, Kawano K, 他	眼科	Regeneration of photoreceptor outer segments after scleral buckling surgery for rhegmatogenous retinal detachment	Am J Ophthalmol. 2017 May;177:17-26.	Original Article

306	Takayama K, Kaneko H, Terasaki H.	眼科	A case of immunoglobulin G4-associated anterior uveitis and remitting seronegative symmetrical synovitis with pitting edema syndrome.	Ocul Immunol Inflamm. 2017 Oct;25(5):693-694.	Original Article
307	Keisuke Sugimoto, Shuhei Tsuchiya, Kenji Hara, 他	齒科口腔外科	Osteoradionecrosis of the jaw caused by periapical periodontitis A case report	Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology, July 2017, Volume 29, 328-333	Case Report
308	Fujio M, Xing Z, Sharabi N,他	齒科口腔外科	Conditioned media from hypoxic-cultured human dental pulp cells promotes bone healing during distraction osteogenesis	Journal of Tissue Engineering and Regenerative Medicine, 2017 Jul;11(7):2116-2126.	Original Article
309	Ichimura N, Yamamoto N, Nishikawa M, 他	齒科口腔外科	Notch3 is frequently downregulated in oral cancer	Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology, November 2017, Volume 29, 504-510.	Original Article
310	Tsuchiya S, Sugimoto K, Kamio H, 他	齒科口腔外科	Kaempferol-immobilized titanium dioxide promotes formation of new bone: effects of loading methods on bone marrow stromal cell differentiation in vivo and in vitro	International Journal of Nanomedicine, 2018 Mar 19;13:1665-1676.	Original Article
311	Umegaki H, Asai A, Kanda S, 他	老年内科	Factors associated with unexpected admissions and mortality among low-functioning older patients receiving home medical care.	Geriatr Gerontol Int. 2017 Oct;17(10):1623-1627.	Original Article

312	Ogasawara S, Cheng XW, Inoue A,他	老年内科	Cathepsin K activity controls cardiotoxin-induced skeletal muscle repair in mice.	J Cachexia Sarcopenia Muscle. 2018 Feb;9(1):160-175.	Original Article
313	Komiya H, Umegaki H, Asai A,他	老年内科	Factors associated with polypharmacy in elderly home-care patients.	Geriatr Gerontol Int. 2018 Jan;18(1):33-41.	Original Article
314	Yamawaki-Ogata A, Oshima H, Usui A, 他	心臟外科	Bone marrow-derived mesenchymal stromal cells regress aortic aneurysm via the NF- κ B, Smad3 and Akt signaling pathways.	Cytotherapy. 2017 Oct;19(10):1167-1175.	Original Article
315	Mutsuga M, Narita Y, Oshima H, 他	心臟外科	Virtual angiography with multidetector computed tomography for the diagnosis of pannus formation in mechanical aortic valves.	Eur J Cardiothorac Surg. 2017 Dec 1;52(6):1233.	Original Article
316	Hayashi Y, Maekawa A, Sawaki S, 他	心臟外科	Long-term patency of on- and off-pump coronary artery bypass grafting with bilateral internal thoracic arteries: the significance of late string sign development in the off-pump technique.	Interact Cardiovasc Thorac Surg. 2017 Nov 1;25(5):799-805.	Original Article
317	Uchida W, Mutsuga M, Ito H, 他	心臟外科	Nonbacterial Thrombotic Endocarditis Associated With Crohn Disease.	Ann Thorac Surg. 2018 May;105(5):e199-e201.	Original Article

318	Uchibori T, Takanari K, Hashizume R, 他	形成外科	Use of a pedicled omental flap to reduce inflammation and vascularize an abdominal wall patch.	J Surg Res. 2017 May 15;212:77-85.	Original Article
319	Morioka H, Iguchi M, Oodate M, 他	中央感染制御部	Pneumococcal biliary tract infections – How rare are they?	J Infect Chemother. 2017 Jun;23(6):415-418.	Others
320	Morioka H, Iguchi M, Kuzuya T, 他	中央感染制御部	Recurrent bacteremia and liver abscess caused by Clostridium difficile. A case report	Medicine (Baltimore). 2017 Sep; 96(35): e7969.	Case Report
321	Hirabayashi A, Kato D, Tomita Y, 他	中央感染制御部	Risk factors for and role of OprD protein in increasing minimal inhibitory concentrations of carbapenems in clinical isolates of Pseudomonas aeruginosa.	J Med Microbiol. 2017 Nov;66(11):1562-1572.	Original Article
322	Hayashi K, Inoue T, Nagaya M, 他	リハビリテーション部	Combination Treatment of Perioperative Rehabilitation and Psychoeducation Undergoing Thoracic Surgery.	Case Rep Med. 2017;2017:4743952.	Case Report
323	Hayashi K, Kako M, Suzuki K, 他	リハビリテーション部	Associations among pain catastrophizing, muscle strength, and physical performance after total knee and hip arthroplasty.	World J Orthop. 2017 Apr 18;8(4):336-341.	Original Article

324	Hattori K, Matsuda T, Takagi Y, 他	リハビリテーション部	Preoperative six-minute walk distance is associated with pneumonia after lung resection.	Interact Cardiovasc Thorac Surg. 2018 Feb 1;26(2):277-283.	Original Article
325	Nagaya M, Ito S, Fukui T, 他	リハビリテーション部	Preoperative evaluation of six-minute walk test in patients with malignant pleural mesothelioma	Cogent Medicine . 2017 Dec.	Original Article
326	Sawamura A, Okumura T, Takeshita K, 他	循環器内科	Abnormal Circadian Blood Pressure Profile as a Prognostic Marker in Patients with Nonischemic Dilated Cardiomyopathy.	Cardiology. 2017;136(1):1-9.	Original Article
327	Sawamura A, Okumura T, Hiraiwa H, 他	循環器内科	Cholesterol metabolism as a prognostic marker in patients with mildly symptomatic nonischemic dilated cardiomyopathy.	J Cardiol. 2017 Jun;69(6):888-894.	Original Article
328	Hiraiwa H, Okumura T, Sawamura A, 他	循環器内科	The Selvester QRS score as a predictor of cardiac events in nonischemic dilated cardiomyopathy.	J Cardiol. 2018 Mar;71(3):284-290.	Original Article
329	Sawamura A, Okumura T, Hirakawa A, 他	循環器内科	Early Prediction Model for Successful Bridge to Recovery in Patients With Fulminant Myocarditis Supported With Percutaneous Venoarterial Extracorporeal Membrane	Circ J. 2018 Feb 23;82(3):699-707.	Original Article

330	Fukaya K, Takeshita K, Okumura T, 他	循環器内科	Sokolow-Lyon voltage is suitable for monitoring improvement in cardiac function and prognosis of patients with idiopathic dilated cardiomyopathy.	Ann Noninvasive Electrocardiol. 2017 Sep;22(5).	Original Article
331	Yanagisawa S, Inden Y, Mizutani Y, 他	循環器内科	Vagal response in cryoballoon ablation of atrial fibrillation and autonomic nervous system: Utility of epicardial adipose tissue location.	J Arrhythm. 2017 Aug;33(4):275-282.	Original Article
332	Yanagisawa S, Inden Y, Fujii A, 他	循環器内科	Renal function and risk of stroke and bleeding in patients undergoing catheter ablation for atrial fibrillation: comparison between uninterrupted direct oral anticoagulants and warfarin administration.	Heart Rhythm. 2018 Mar;15(3):348-354.	Original Article
333	Yanagisawa S, Inden Y, Fujii A, 他	循環器内科	Assessment of autonomic nervous system modulation after novel catheter ablation techniques for atrial fibrillation using multiple short-term electrocardiogram recordings.	J Interv Card Electrophysiol. 2018 Jan;51(1):35-44.	Original Article
334	Hirashiki A, Adachi S, Nakano Y, 他	循環器内科	Circulatory power and ventilatory power over time under goal-oriented sequential combination therapy for pulmonary arterial hypertension.	Pulm Circ. 2017 Apr-Jun;7(2):448-454.	Original Article
335	Hirashiki A, Adachi S, Nakano Y, 他	循環器内科	Left main coronary artery compression by a dilated main pulmonary artery and left coronary sinus of Valsalva aneurysm in a patient with heritable pulmonary arterial hypertension and FLNA mutation.	Pulm Circ. 2017 Jul-Sep;7(3):734-740.	Case Report

336	Shimizu Y, Polavarapu R, Eskla KL, 他	循環器内科	Hydrogen sulfide regulates cardiac mitochondrial biogenesis via the activation of AMPK	J Mol Cell Cardiol. 2018 Mar;116:29-40.	Original Article
337	Hayashida R, Kondo K, Morita S, 他	循環器内科	Diallyl Trisulfide Augments Ischemia-Induced Angiogenesis via an Endothelial Nitric Oxide Synthase-Dependent Mechanism.	Circ J. 2017 May 25;81(6):870-878.	Original Article
338	Harada K, Kikuchi R, Suzuki S, 他	循環器内科	Impact of high-density lipoprotein 3 cholesterol subfraction on periprocedural myocardial injury in patients who underwent elective percutaneous coronary intervention.	Lipids Health Dis. 2018 Feb 2;17(1):21.	Original Article
339	Negishi Y, Ishii H, Suzuki S, 他	循環器内科	The combination assessment of lipid pool and thrombus by optical coherence tomography can predict the filter no-reflow in primary PCI for ST elevated myocardial infarction.	Medicine (Baltimore). 2017 Dec;96(50):e9297.	Original Article
340	Shibata Y, Kikuchi R, Ishii H, 他	循環器内科	Balance between angiogenic and anti-angiogenic isoforms of VEGF-A is associated with the complexity and severity of coronary artery disease.	Clin Chim Acta. 2018 Mar;478:114-119.	Original Article
341	Kawamiya T, Suzuki S, Ishii H,他	循環器内科	Correlations between geriatric nutritional risk index and peripheral artery disease in elderly coronary artery disease patients.	Geriatr Gerontol Int. 2017 Jul;17(7):1057-1062.	Original Article

342	Ichii T, Morimoto R, Okumura T, 他	循環器内科	Impact of Renal Functional/Morphological Dynamics on the Calcification of Coronary and Abdominal Arteries in Patients with Chronic Kidney Disease.	J Atheroscler Thromb. 2017 Nov 1;24(11):1092-1104.	Original Article
343	Morimoto R, Okumura T, Hirashiki A, 他	循環器内科	Myocardial contractile reserve predicts left ventricular reverse remodeling and cardiac events in dilated cardiomyopathy.	J Cardiol. 2017 Oct;70(4):303-309.	Original Article
344	Aoki S, Okumura T, Sawamura A, 他	循環器内科	Usefulness of the Combination of In-Hospital Poor Diuretic Response and Systemic Congestion to Predict Future Cardiac Events in Patients With Acute Decompensated Heart Failure.	Am J Cardiol. 2017 Jun 15;119(12):2010-2016.	Original Article
345	Imai R, Uemura Y, Okumura T, 他	循環器内科	Impact of red blood cell distribution width on non-cardiac mortality in patients with acute decompensated heart failure with preserved ejection fraction.	J Cardiol. 2017 Dec;70(6):591-597.	Original Article
346	Kondo T, Yamada S, Asai C, 他	循環器内科	Skeletal Muscle Pump Function Is Associated With Exercise Capacity in Patients With Heart Failure.	Circ J. 2018 Mar 23;82(4):1033-1040.	Original Article
347	Kawagashira Y, Koike H, Kawabata K, 他	神経内科	Vasculitic Neuropathy Following Exposure to a Glyphosate-based Herbicide.	Intern Med. 2017;56(11):1431-1434.	Case Report

348	Noda S, Koike H, Maeshima S, 他	神経内科	Transforming growth factor- β signaling is upregulated in sporadic inclusion body myositis	Muscle Nerve. 2017 May;55(5):741-747.	Original Article
349	Koike H, Nakamura T, Hashizume A, 他	神経内科	Cardiac and peripheral vasomotor autonomic functions in late-onset transthyretin Val30Met familial amyloid polyneuropathy.	J Neurol. 2017 Nov;264(11):2293-2302.	Original Article
350	Koike H, Kadoya M, Kaida KI,他	神経内科	Paranodal dissection in chronic inflammatory demyelinating polyneuropathy with anti-neurofascin-155 and anti-contactin-1 antibodies.	J Neurol Neurosurg Psychiatry. 2017 Jun;88(6):465-473.	Original Article
351	Hashizume A, Katsuno M, Suzuki K, 他	神経内科	Long-term treatment with leuprorelin for spinal and bulbar muscular atrophy: natural history-controlled study.	J Neurol Neurosurg Psychiatry. 2017 Dec;88(12):1026-1032	Original Article
352	Hashizume A, Banno H, Katsuno M, 他	神経内科	Quantitative Assessment of Swallowing Dysfunction in Patients with Spinal and Bulbar Muscular Atrophy.	Intern Med. 2017 Dec 1;56(23):3159-3165.	Original Article
353	Nakatsuji H, Araki A, Hashizume A, 他	神経内科	Correlation of insulin resistance and motor function in spinal and bulbar muscular atrophy.	J Neurol. 2017 May;264(5):839-847.	Original Article

354	Riku Y, Watanabe H, Yoshida M, 他	神経内科	Pathologic Involvement of Glutamatergic Striatal Inputs From the Cortices in TAR DNA-Binding Protein 43 kDa-Related Frontotemporal Lobar Degeneration and Amyotrophic Lateral Sclerosis.	J Neuropathol Exp Neurol. 2017 Sep 1;76(9):759- 768.	Original Article
355	Riku Y, Watanabe H, Mimuro M, 他	神経内科	Non-motor multiple system atrophy associated with sudden death: pathological observations of autonomic nuclei.	J Neurol. 2017 Nov;264(11):2249-2257.	Original Article
356	Yokoi S, Udagawa T, Fujioka Y, 他	神経内科	3'UTR Length- Dependent Control of SynGAP Isoform α 2 mRNA by FUS and ELAV-like Proteins Promotes Dendritic Spine Maturation and Cognitive Function.	Cell Rep. 2017 Sep 26;20(13):3071-3084.	Original Article
357	Tsuboi T, Tanaka Y, Yoshida Y, 他	神経内科	Highly asymmetric and subacutely progressive motor weakness with unilateral T2- weighted high intensities along the pyramidal tract in the brainstem in adrenomyeloneuropat hy.	J Neurol Sci. 2017 Oct 15;381:107-109.	Case Report
358	Takahashi M, Koike H, Ikeda S, 他	神経内科	Distinct pathogenesis in nonsystemic vasculitic neuropathy and microscopic polyangiitis.	Neurol Neuroimmunol Neuroinflamm. 2017 Oct 23;4(6):e407.	Original Article
359	Tsuboi T, Watanabe H, Tanaka Y, 他	神経内科	Early detection of speech and voice disorders in Parkinson's disease patients treated with subthalamic nucleus deep brain stimulation: a 1-year follow-up study.	J Neural Transm (Vienna). 2017 Dec;124(12):1547- 1556.	Original Article

360	Yoneyama N, Watanabe H, Kawabata K, 他	神経内科	Severe hyposmia and aberrant functional connectivity in cognitively normal Parkinson's disease.	PLoS One. 2018 Jan 5;13(1):e0190072.	Original Article
361	Kawabata K, Watanabe H, Hara K, 他	神経内科	Distinct manifestation of cognitive deficits associate with different resting-state network disruptions in non-demented patients with Parkinson's disease.	J Neurol. 2018 Mar;265(3):688-700.	Original Article
362	Hijikata Y, Katsuno M, Suzuki K, 他	神経内科	Treatment with Creatine Monohydrate in Spinal and Bulbar Muscular Atrophy: Protocol for a Randomized, Double-Blind, Placebo-Controlled Trial.	JMIR Res Protoc. 2018 Mar 5;7(3):e69.	Original Article
363	Mikrogeorgiou A, Sato Y, Kondo T, 他	総合周産期母子医療センター	Dedifferentiated Fat Cells as a Novel Source for Cell Therapy to Target Neonatal Hypoxic-Ischemic Encephalopathy	Developmental neuroscience. 2017;39(1-4):273-86.	Original Article
364	Morita D, Nishio N, Saito S, 他	先端医療・臨床研究支援センター	Enhanced Expression of Anti-CD19 Chimeric Antigen Receptor in piggyBac Transposon-Engineered T Cells	Mol Ther Methods Clin Dev. 2017 Dec 22;8:131-140.	Original Article
365	Kuwatsuka Y, Tomizawa D, Kihara R, 他	先端医療・臨床研究支援センター	Prognostic value of genetic mutations in adolescent and young adults with acute myeloid leukemia	Int J Hematol. 2018 Feb;107(2):201-210.	Original Article

366	Fukaya K1, Takeshita K1,2, Okumura T1, 他	救急科	Sokolow-Lyon voltage is suitable for monitoring improvement in cardiac function and prognosis of patients with idiopathic dilated cardiomyopathy.	Ann Noninvasive Electrocardiol. 2017 Sep;22(5).	Original Article
367	Nishikimi M1, Matsuda N2, Matsui K3, 他	救急科	A novel scoring system for predicting the neurologic prognosis prior to the initiation of induced hypothermia in cases of post-cardiac arrest syndrome: the CAST score	Scand J Trauma Resusc Emerg Med. 2017 May 10;25(1):49.	Original Article
368	Takatani Y, Ono K, Suzuki H, 他	救急科	Inducible nitric oxide synthase during the late phase of sepsis is associated with hypothermia and immune cell migration.	Lab Invest. 2018 Feb 14.	Original Article
369	Nishikimi M, Numaguchi A, Takahashi K, 他	救急科	Effect of Administration of Ramelteon, a Melatonin Receptor Agonist, on the Duration of Stay in the ICU: A Single- Center Randomized Placebo-Controlled Trial.	critical care medicine. 2018.3; 10.1097/CCM.000000000 0003132	Original Article

計369件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Nishida T, Imahashi M, Imahashi N, Ohashi H, Katsumi A, Terakura S, Murata M, Kiyoi H, Naoe T	血液内科	後天性慢性赤芽球癆 に対するABO血液型 一致同胞間骨髄移植 後も赤血球造血のみ 遅延した一例	日本輸血細胞治療学会誌 2017 Aug;63(4):614-18	Case Report
2	Yamamoto H, Hattori H, Takagi E, Morishita T, Ishikawa Y, Terakura S, Nishida T, Ito Y, Murata M, Kiyoi H	血液内科	持続するEBウイルス 感染後に骨髄異形成 症候群を発症した MonoMAC症候群	臨床血液 2018 Mar;59(3):315-322.	Case Report
3	Goto T, Murata M	血液内科	造血幹細胞移植にお ける間葉系幹細胞を 用いた細胞療法	臨床血液. 2018 Feb;59(2):195-204	Review
4	Okumura T, Murohara T	循環器内科	高齢者心不全－左室 駆出率の保たれた心 不全を中心に－	日本老年医学会雑誌. 2018.Jan; 第55巻1号: 34- 40	Review
5	Okumura T	循環器内科	Stage D心不全にお けるAdaptive Servo Ventilation治療経験	心臓. 2017.Oct; 第49巻10 号; 1087-1091	Case Report
6	Uchida G, Nakamura M, Watanabe O, Yamamura T, Matsushita M, Ishikawa T, Furukawa K, Funasaka K, Ohno E, Kawashima H, Miyahara	消化器内科	原因不明消化管出血 精査後における再出 血予測因子と適切な 経過観察期間に関す る検討	日本消化器病学会雑誌. 2017 Oct;114(10):1819- 1829	Original Article

7	Hasegawa Y	呼吸器内科	特発性肺線維症の治療ガイドライン2017	厚生労働科学研究費補助金難治性疾患政策研究事業「びまん性肺疾患に関する調査研究」班 特発性肺線維症の治療ガイドライン作成委員会 2017.Feb: 74	Others
8	Shindo Y, Hasegawa Y	呼吸器内科	肺炎における薬剤耐性菌リスクと抗菌治療	分子呼吸器病 2017.3.1:(21)52-55	Others
9	Wakahara K, Hasegawa Y	呼吸器内科	A呼吸器系疾患 気管支喘息	薬局2017年3月増刊号 病気とくすり 基礎と実践/南山堂 2017,3,25 68(4) 646-655	Others
10	Yazaki Y , Hasegawa Y etc	呼吸器内科	9.呼吸器系の疾患	内科学 第11版 机上版/朝倉書店2017,3,20 11 707-868	Others
11	Wakahara K, Kawabe T, Hasegawa Y	呼吸器内科	第5章-4 抗アレルギー薬 第5章-5 ステロイド薬 第5章-6 花粉症 第5章-7 気管支喘息 第5章-13 衛生仮説	免疫ペディア 101のイラストで免疫学・臨床免疫学に強くなる!/羊土社 2017.07.01 192-193,196-198, 199-200, 213-214	Others
12	Morise M, Hasegawa Y	呼吸器内科	高齢者肺癌の臨床	日本内科学会雑誌 2017 106-9 1986-1990	Review

13	Hashimoto N, Hasegawa Y	呼吸器内科	難治性びまん性肺疾患診療の手引き	難治性びまん性肺疾患診療の手引き 2017.Oct/南江堂 2017	Others
14	Kawabe T, Hasegawa Y	呼吸器内科	アレルギー/気管支喘息・過敏性肺炎・サルコイドーシス・アナフィラキシー・薬物アレルギー・食物アレルギー・アレルギー性鼻炎・花粉症・アレルギー性結膜疾患・血清病	免疫学コア講義2017.Nov 4 228-237	Others
15	Hasegawa Y	呼吸器内科	7 びまん性汎細気管支炎(DPB)は今もあるんですか？	むかしの頭で診ていませんか？呼吸器診療をスッキリまとめました2017 11.15 1 42-46	Others
16	Hashimoto N, Hasegawa Y	呼吸器内科	閉塞性細気管支炎	呼吸器内科/科学評論社 2017.Nov 32(5)460-463	Others
17	Tanaka I	呼吸器内科	肺がん・悪性中皮腫のメカノバイオロジーとYAP/TAZの役割	呼吸臨床2017 10.24557	Review
18	Sato K, Sato N, Kobayashi H	呼吸器内科	サイエンストランスレーショナルメディスンに載った日本人研究者：近赤外光線免疫療法を用いた腫瘍関連制御性T細胞の空間選択的排除	AAAS2017.Mar	Others

19	Yukawa H, Kobayashi K, Niioka H, Kameyama T, Sato K, Torimoto T, Ishikawa T, Baba Y	呼吸器内科	NIR-II近赤外領域における移植幹細胞in vivo蛍光イメージング	BIO INDUSTRY2017.1 27-33	Others
20	Wakahara K, Hasegawa Y	呼吸器内科	気管支喘息	病気とくすり 2018 3.24 652-661	Others
21	Hasegawa Y	呼吸器内科	特集:細気管支炎とその周辺 オーバービュー:細気管支炎のとらえ方	呼吸器内科 2018.Apr 33(4) 331-334	Others
22	Hasegawa Y Editor:Takizawa H	呼吸器内科	びまん性汎細気管支炎(DPB)は今もあるんですか?	呼吸器診療をスッキリまとめました・南江堂 2017.Nov 42-46	Others
23	Tanaka I, Yokoyama T, Nomura F	呼吸器内科	主治医からのアドバイス-1	嚢胞性線維症の診療の手引き(改訂2版) 2018.Mar 101-104	Others
24	Morise M	呼吸器内科	肺癌診療ガイドライン 2017年度版	日本肺癌学会肺癌診療ガイドライン 2017年版 IV期 非小細胞肺癌薬物療法 2017.Dec	Others

25	Sakamoto K, Hashimoto N, Hasegawa Y	呼吸器内科	閉塞性細気管支炎 (GVHDを含めて)	呼吸器内科/科学評論社 2017.May 31(5)436-442	Others
26	Sakamoto K	呼吸器内科	間質性肺炎における 長鎖ノンコーディング RNA	分子呼吸器病 2018.Mar 22(1) 8-11	Others
27	Hashimoto N, Hasegawa Y	呼吸器内科	II 各疾患のBAL所見 と検査の意義「閉塞 性細気管支炎」	日本呼吸器学会びまん性 肺疾患学術部会 厚生労 働科学研究費補助金難治 性疾患政策研究事業「び まん性肺疾患に関する調 査研究」班編 改訂第3版 【気管支肺胞洗浄【BAL】 法の手引き】 2017.Oct ; 頁148-150	Others
28	Kobayashi T, Iwama S, Yasuda Y, Iwata N, Sugimura Y, Ando Y, Akiyama M, Hasegawa Y, Arima H.	糖尿病・内分泌内科	免疫チェックポイント 阻害薬による内分泌 障害(臨床研究第一 報)	日本内分泌学会雑誌 2017 Jun; 93 (Suppl.Update): 70-72.	Others
29	Iwama S, Arima H.	糖尿病・内分泌内科	免疫チェックポイント 阻害剤による内分泌 副作用の臨床とその メカニズム	日本臨床免疫学会会誌 2017 Jun 40(2): 90-94	Others
30	Ebata T, Yokoyama Y, Sugawara G, Igami T, Mizuno T, Yamaguchi J, Onoe S, Nagino M	消化器外科1	<胆道専門医講座 胆道癌取扱い規約 第6版>(第3回) 胆道 癌取扱い規約第6版 における胆管癌分類 胆道癌取扱い規約第 6版、胆管癌分類の 基礎	胆道. 2017 Oct; 31(4): 759-764	Original Article

31	Nagino M, Ebata T, Mizuno T, Yokoyama Y, Igami T, Sugawara G	消化器外科1	肝門部領域胆管癌に 対する肝動脈切除	胆道. 2017 Mar; 31(1): 78-86	Original Article
32	Nagino M	消化器外科1	ガイドラインと外科 肝胆膵領域の悪性腫 瘍の治療ガイドライン	日本外科学会雑誌. 2017 Jul; 118(4): 484-485	Original Article
33	Uehara K, Nagino M	消化器外科1	手術のtips and pitfalls 局所進行下 部直腸癌に対する腹 腔鏡下自律神経温存 側方リンパ節郭清	日本外科学会雑誌. 2017 Sep; 118(5): 559-562	Original Article
34	Sakatoku Y, Fukaya M, Miyata K, Takahashi T, Nagino M	消化器外科1	根治的化学放射線療 法後3度の再発と二 次原発癌をきたした 食道癌の1例	日本臨床外科学会雑誌. 2018 Jan; 79(1): 84-89	Case Report
35	Tashiro M, Fujii T, Suzuki K, Morimoto D, Tanaka N, Takami H, Hayashi M, Sugimoto H, Kodera Y	消化器外科2	術中動脈塞栓術を施 行した腹腔動脈起始 部狭窄をともなう脾 動脈起始部近傍動脈 瘤・脾過誤腫の1例	日本消化器外科学会雜 誌.2017 Sep;50(9):728- 735	Case Report
36	Tanaka N, Fujii T, Yamada S, Takami H, Hayashi M, Morimoto D, Tashiro M, Sugimoto H, Kodera Y	消化器外科2	膵癌との鑑別が困難 であった慢性膵炎経 過中に発生した腫瘤 形成性自己免疫性膵 炎の1例	日本消化器外科学会雜 誌.2017 Nov;50(11):888- 896	Case Report

37	Morimoto D, Fuji T, Yamada S, Suzuki K, Takami H, Tashiro M, Tanaka N, Hayashi M, Sugimoto H, Kodera Y	消化器外科2	腹腔動脈狭窄症例に 対する臍頭十二指腸 切除術にハイブリッド 手術室での 術中血 管造影が有用であっ た2例の経験	日本消化器外科学会雑 誌.2017 Dec;50(12):956- 964	Case Report
38	Kikumori T	乳腺・内分泌外科	甲状腺癌における TSH抑制療法の Pro/Con 推奨できる という立場から	Thyroid Cancer Explore,2017年6月;3 (1):40-43	Others
39	Kikumori T	乳腺・内分泌外科	甲状腺乳頭癌に対す る外側区域郭清は推 奨できるか? 推奨で きないという立場から	Thyroid Cancer Explore,2018年1月;3 (2):128-131	Others
40	Kikumori T	乳腺・内分泌外科	【進行甲状腺癌にお ける外科治療の役 割】分子標的薬登場 後の進行甲状腺乳頭 癌に対する治療戦略	癌の臨床,2018年3月;63 (6):525-530	Review
41	Kikumori T, Inaishi T, Miyazima N, Adachi Y, Takano Y, Nakanishi K, Noda S, Takeuchi D	乳腺・内分泌外科	甲状腺癌気管浸潤に 対する期間端々吻合	日本内分泌・甲状腺外科 学会雑誌,2017年 Jul;34 (2):98-101	Review
42	Kikumori T	乳腺・内分泌外科	甲状腺結節の取り扱 いについて	臨床画像,2017.Jun;33 (7):836-839	Review

43	Kojima T	整形外科	【TNF阻害剤の可能性を再考する】RA領域 現在のリウマチ治療の中で手術療法が目指すもの(解説/特集)	クリニシアン.2017 July;64(7):606-611	Original Article
44	Higuchi Y, Seki T, Hasegawa Y, Takegami Y, Kasai T, Komatsu D, Osawa Y, Okura T, Morita D, Kusano T, Ide K	整形外科	Ceramic on Ceramic 人工股関節置換術後にsqueakingを生じた4症例の音響解析(原著論文)	日本人工関節学会誌 (1345-7608)47巻 Page679-680(2017.12)	Original Article
45	Seki T, Takegami Y, Kasai T, Komatsu D, Higuchi Y, Okura T, Osawa Y, Morita D, Kusano T	整形外科	股関節手術は腰痛・膝関節痛を軽減させるか?(原著論文)	日本人工関節学会誌 (1345-7608)47巻 Page745-746(2017.12)	Original Article
46	Seki T, Takegami Y, Amano T, Komatsu D, Higuchi Y, Kasai T, Morita D, Osawa Y, Okura T, Kusano T	整形外科	人工股関節置換術後の身体機能改善に関連する患者報告アウトカムスコアの臨床的有意性の検討(原著論文)	日本人工関節学会誌 (1345-7608)47巻 Page625-626(2017.12)	Original Article
47	Amano T, Seki T, Takegami Y, Kasai T, Komatsu D, Higuchi Y, Okura T, Osawa Y, Morita D, Kusano T	整形外科	偏心性寛骨臼回転骨切り術における術前2Dテンプレートインジ法の試み(原著論文)	Hip Joint (0389-3634)43 巻2号 Page1012- 1016(2017.08)	Original Article
48	Amano T, Seki T, Takegami Y, Kasai T, Komatsu D, Higuchi Y, Okura T, Osawa Y, Morita D, Kusano T	整形外科	60歳時における偏心性寛骨臼回転骨切り術の臨床経過(原著論文)	Hip Joint (0389-3634)43 巻1号 Page431- 434(2017.08)	Original Article

49	Seki T, Takegami Y, Amano T, Komatsu D, Higuchi Y, Kasai T, Osawa Y, Okura T, Morita D, Kusano T	整形外科	THA患者の満足度における臨床的に意味のある改善に関する因子(原著論文)	Hip Joint (0389-3634)43 巻1号 Page196- 199(2017.08)	Original Article
50	Takegami Y, Seki T, Higuchi Y, Komatsu D, Kasai T, Morita D, Okura T, Osawa Y, Kusano T	整形外科	インターネット上の股関節骨切り術についての情報の質(原著論文)	Hip Joint (0389-3634)43 巻1号 Page24- 28(2017.08)	Original Article
51	Nakano T	手の外科	上肢区域麻酔の歴史と現状	整形・災害外科.60(2), 131-136, 2017-02	Original Article
52	Hirata H, Inoue S	手の外科	論究 デュピュイトラン拘縮の疾病負担分析	整形・災害外科.60(3), 325-335, 2017-03	Original Article
53	Oyama S, Hirata H	手の外科	新しい医療技術 近赤外光・テラヘルツ光を用いた新しい体外診断法(解説)	整形・災害外科.60(13), 1611-1616, 2017-12	Original Article
54	Mitsuya S, Mitsuya M, Fukui J, Hasegawa J, Hagawa T, Nakano T	手の外科	軟部組織欠損に対する有茎皮弁の採取部を小さくさせるBashir変法を利用した閉鎖法	中部整災誌.60(4), 695- 696, 2017.Dec	Original Article

55	Makino Y, Tsuji M, Iida R, Yoshikawa T, Hirata H, Sudo A	手の外科	Pachydermodactylyに 対し手術的治療を 行った1例	中部整災誌.60(5), 833- 834, 2017.Dec	Original Article
56	Mitsuya M, Mitsuya S, Hasegawa J, Fukui J, Fujita M, Yamauchi K	手の外科	バックアウトを防止す るロッキングテンショ ンバンドワイヤリング を施行した尺骨肘頭 骨折の治療成績	中部整災誌. 60(5), 853- 854, 2017.Dec	Original Article
57	Mitsuya S, Miyatsu Y, Tokutake K, Nakano T, Tanaka M, Hirata H	手の外科	前腕切断再接着の早 期血行再開 —cross limb vascular shunt, temporary intravascular shunt, intraosseous wiring—	日本手外科学会雑 誌.34(3)1-7,2017	Original Article
58	Sawada H, Nishizuka T, Takeda S, Urata S, Hirata H	手の外科	切断指の治療成績と 患者満足度の検討	日本手外科学会雑 誌.34(3)410-414,2017	Original Article
59	Ishii H, Nakao E, Shinohara T, Miyatsu Y, Nakamura R, Hirata H	手の外科	手根管開放手術後の 合併症の検討 —鏡 視下手根管開放手術 と直視下手根管開放 手術(全切開法, 小 切開法)との比較—	日本手外科学会雑 誌.34(4)515-517,2017	Original Article
60	Oyama S, Morishita S, Yokota H, Hirata H	手の外科	近赤外線カメラを利用 した血管及び神経 の術中画像分離	日本手外科学会雑 誌.34(4)898-901,2017	Original Article

61	Akane M, Iwatsuki K, Hirata H	手の外科	末梢神経麻痺	専門医の整形外科外来診療.119-122,2017.Apr	Original Article
62	Iwatsuki K, Hirata H	手の外科	CRPS研究最新の動向	ペインクリニック.38(4)449-452,2017-04	Original Article
63	Nakano T, Kurimoto S, Iwatsuki K, Hirata H	手の外科	末梢神経内に作成した異所性neural ganglionによる機能再建	末梢神経.28(1)78-85,2017-06	Original Article
64	Nishizuka T, Tatebe M	手の外科	手関節尺側部痛の関節鏡診断	関節外科 .36(8)20-25,2017	Original Article
65	Akane M, Iwatsuki K, Hirata H	手の外科	前骨間・後骨間神経麻痺の手術適応と術中所見	神経内科.86(4)473-475,2017-04	Original Article
66	Iwatsuki K, Hirata H	手の外科	手根管症候群で手術療法を選択するのはどのような場合ですか？	神経内科 clinical Questions and Pearls.115-118,2018.Jan	Original Article

67	Yamamoto M	手の外科	デュプイトラン拘縮	今日の治療指針 2018.(60)1,1093- 1094,2018-01	Original Article
68	Oyama S, Hirata H	手の外科	誌上シンポジウム 3 Dプリンティング技術 の上肢技術への応用	臨床整形外科.53(2),121- 129,2018-02	Original Article
69	Nakamura K, Niimi K, Yamamoto E, Sekiya Y, Nishino K, Sato S, Kan M, Fujiwara S, Suzuki S, Kikkawa F	産婦人科	血清hCG 100万 mIU/ml以上の胎状奇 胎の検討	東海産科婦人科学会雑誌 (0915-7204)53巻 Page213-220(2017.03)	Original Article
70	Terasaki H, Ito Y, Iwase T, Kaneko H, Kataoka K, Sugita T, Maruko R, Asami T, Yasuda S, Takayama K, Oiwa K, Kawano K	眼科	網膜機能障害解析の 多角的アプローチ 網膜剥離を中心に	日本眼科学会雑誌(0029- 0203)121巻3号 Page185- 231(2017.03)	Original Article
71	Terasaki H	眼科	糖尿病網膜症 診 断・治療の新しいアプ プローチ 網膜血管検 査法を中心に	あたらしい眼科(0910- 1810)34巻1号 Page49- 56(2017.01)	Original Article
72	Kasa Y, Yamada H, Sugiura K, Akiyama M, Sueki H	皮膚科	【乾癬-2017】<臨床 例>尋常性乾癬が先 行したと考えられる IL-36受容体拮抗因 子欠損症(DITRA)	皮膚病診療. 2017 Dec; 39(12):1251-1254.	Case Report

73	Shimizu K, Yokota K, Kono M, Akiyama M	皮膚科	右母指有棘細胞癌の術後に臀部軟部肉腫と肺癌を併発した重複癌の1例	臨床皮膚科. 2017 Dec; 71(13): 1077-1081.	Case Report
74	Goto K, Takeichi T, Sugawara Y, Akiyama M	皮膚科	【バリア障害】〈臨床例〉 self-improving collodion ichthyosis	皮膚病診療 2017 Aug; 39 (8): 869-872.	Case Report
75	Momohara M, Muro Y, Akiyama M	皮膚科	【エリテマトーデスをさわめる-SLEエンサイクロペディア】(Part2) 非特異的皮疹(case 15) 日光過敏	Visual Dermatology 2017 Jul; 16 (8): 776-777.	Case Report
76	Momohara M, Muro Y, Akiyama M	皮膚科	【診断基準を満たさないとき、どうする?】(Part2) 非典型例をどう考えるか(case10) 皮膚筋炎	Visual Dermatology 2017 Jun; 16 (7): 680-685.	Case Report
77	Takeichi T, Akiyama M	皮膚科	指定難病最前線 (Volume45) 先天性魚鱗癬の特徴と診療の実際	新薬と臨床 2017 Sep; 66 (9): 1171-1175.	Review
78	Nakayama M, Yanaba K, Nakagawa H, Ito H, Hamaguchi Y, Muro Y	皮膚科	悪性腫瘍,筋炎,間質性肺疾患の合併を伴わない抗TIF1抗体陽性皮膚筋炎の2例	皮膚科の臨床 2018 Jan; 60(1) 91-95.	Case Report

79	Kohara A, Yanaba K, Nakagawa H, Numata T, Hamaguchi Y, Muro Y	皮膚科	抗KS抗体陽性抗ARS 抗体症候群の1例	皮膚科の臨床 2017 Nov; 59(12):1869-1872.	Case Report
80	Kato M, Yoshino Y, Goto M	泌尿器科	新膀胱(Hautmann法)	日本臨床 増刊号 2017 Oct,75 231	Review
81	Goto M	泌尿器科	地域における高齢者 排泄ケアシステムの 構築	日本臨床 2017 75 631- 635	Review
82	Goto M	泌尿器科	排尿機能と蓄尿機能 の評価	臨床と研究 2017 94 147-152	Review
83	Goto M	泌尿器科	男性下部尿路症状・ 前立腺肥大症の診断	排尿障害プラクティス 2017 35 133-138	Review
84	Goto M	泌尿器科	下部尿路機能障害と QOL	Modern Physician 2017 37 1290-1292	Review

85	Goto M	泌尿器科	自己導尿法(清潔簡潔自己導尿法)	2017今日の治療指針 2017.Jan 1168-1169	Review
86	Goto M	泌尿器科	夜間頻尿	下部尿路機能障害の治療とケア 2017.Mar 102-106	Review
87	Yamamoto T、Suzuki A、Funahashi Y、Matsukawa Y、Hattori R、Goto M	泌尿器科	大動脈石灰化マーカ	日本腎泌尿器疾患予防医学研究会誌 2017.Mar 25 61-63	Case Report
88	Teranishi M、Sone M	耳鼻咽喉科	内リンパ水腫の画像診断	Equilibrium Research 2017.Jun ;76:85-92.	Review
89	Sone M	耳鼻咽喉科	論説 内耳障害のMRI評価	耳鼻咽喉科臨床 2017.May; 110(5):307-313.	Review
90	Sone M	耳鼻咽喉科	めまい診療UP DATE	Medical view point 2017, vol38 No5, p3-4	Review

91	Sone M	耳鼻咽喉科	総説 内耳障害のMRI	耳鼻臨床 2017.May, 110 巻5号, 307-312.	Review
92	Sone M	耳鼻咽喉科	画像診断up to date	日耳鼻 120;1219-1223, 2017.Oct	Review
93	Shinji Naganawa	放射線科	Glymphatic system～ 放射線医学における 臨床的意義と脳内ガ ドリニウム沈着にお ける重要性～	第76回日本医学放射線学 会総会 ランチョンセミ ナー12 講演録	Others
94	Shinji Naganawa	放射線科	最新医療機器:シス テム進展の方向性 2018年 最新医療機 器の動向を探る CTおよびMRIなどの 画像診断機器の最新 潮流ならびに今後の あり方	月間新医療データブック・ シリーズ 医療機器システ ム白書 2018:14-17 2017.Oct	Others
95	Shinji Naganawa	放射線科	H28年度「レベル3以 上事例アンケート」詳 細報告	全国国立大学法人放射線 診療部門会議 医療安全 委員会 放射線部医療安 全 NEWSLETTER 2017 ISSUE 2:1-4	Others
96	Shinji Naganawa	放射線科	後下小脳動脈抹消部 動脈瘤の診断におけ るthin slab MIP法の 有用性に対するのこ メント	日本脳神経CI学会機関誌 39(3-4):121-130	Others

97	Shinji Naganawa, Toshiaki Taoka, Hisashi Kawai	放射線科	MR画像による脳内の 物質輸送機構の解明	脳とこころの研究センター 脳疾患克服に向けた次世 代創薬開発のためのコ ホート・コンソーシアム型研 究拠点形成 平成29年度 活動報告書:25-26	Review
98	Toshiaki Taoka	放射線科	脳機能解剖の多次元 解析 磁気共鳴拡散 画像の進歩	【微小脳神経外科解剖Ⅲ】 脳神経外科ジャーナル 26 Supplement(2):72-79 2016.May	Original Article
99	Toshiaki Taoka	放射線科	拡散テンソルトラクトグ ラフィーの基礎と応用	医療法人社団英明会附属 神経科学研究所医誌 2(1):11-18 2017.Oct	Original Article
100	Araki Y, Kondo G, Kurimoto M, Muraoka S, Uda K, Natsume A, Wakabayashi T.	脳神経外科	非もやもや病小児閉 塞性脳血管障害3例 の経験.	小児の脳神経.2017 42 344-349	Case Report
101	Ishizaki T, Maewaza S	脳神経外科	てんかん手術を企図 した脳機能画像ネット ワーク解析	脳神経外科速報.2018.1 28 27-33	Review
102	Educhi K, Nishimura Y, Himoto S, Ando R, Nagashima Y, Wakabayashi T	脳神経外科	転移性脊椎腫瘍に対 する外科的治療がも たらすQOLの改善	脊髄外科.2019.4 33 in press	Review

103	Okamoto S, Shimizu K, Muraoka S, Uda K, Ohta S, Wada K, Sakamoto Y, Araki Y, Wakabayashi T.	脳神経外科	多種多様な杉田クリップの使い方について.	脳卒中の外科.2017.Apr 45 83-88,	Original Article
104	Takeuchi K, Kato M, Hatano H, Osawa H, Kondo G, Kurimoto M, Chu J, Wakabayashi T	脳神経外科	小児のう胞性疾患に対する内視鏡治療	小児の脳神経. in press	Review
105	Chalise L, Ohka F, Hirano M, Tanahashi K, Wakabayashi T	脳神経外科	中枢神経原発悪性リンパ腫 (PCNSL) に対するRMPV (リツキシマブ, メトレキサート, プロカルバジン, ビンクリスチン) 療法の治療成績—期待と課題—	脳神経外科ジャーナル.2018.1 27 29~36	Original Article
106	Naito T, Miyachi S, Isoda H, Terada M, Kosugi M	脳神経外科	塞栓術後脳動脈瘤に対しMRIを用いた血流解析の試み	CI研究.2016 38 17-22	Original Article
107	Nakasu Y	脳神経外科	症候性放射線脳壊死診療ガイドライン	脳神経外科ジャーナル.2017.4 26(4) 287-306	Review
108	Nakasu Y, Mitsuya K, Hayashi N	脳神経外科	転移性脳腫瘍の集学的治療:診療ガイドラインから未来へ	脳神経外科ジャーナル.2017.9 26(9) 668-676	Review

109	Nagata Y.	脳神経外科	治療困難な傍鞍部病変に対する完全内視鏡下経鼻開頭同時手術	Video journal of Japan Neurosurgery.2017.2 25	Original Article
110	Nagata Y, Inoshita N, Fukuhara N, Yamaguchi- Okada M, Nishioka H, Yamada S.	脳神経外科	若年発症の成長ホルモン産生下垂体腺腫の治療成績	日本内分泌学会雑誌 2017.10 93 10-12	Original Article
111	Hayashi N, Mitsuya K, Nakasu Y	脳神経外科	転移性脳腫瘍診療ガイドライン	脳神経外科速報.2017.1 27(1) 48-54	Review
112	Fuji M, Maetzawa S	脳神経外科	大脳白質解剖と言語	脳神経外科ジャーナル.2017.10 26,S(2) 66-71	Review
113	Mitsuya K, Nakasu Y, Ono S, Hayashi N, Watanabe R, Ito I	脳神経外科	術中綿片洗浄細胞診(コットンダム細胞診):転移性脳腫瘍摘出術における髄膜播種の評価と予防のために	脳神経外科.2017.1 45(1) 29-32	Original Article
114	Muraoka S, Araki Y, Uda K, Kondo G, Kurimoto M, Natsume A, Wakabayashi T.	脳神経外科	小児もやもや病における周術期脳梗塞.	小児の脳神経.2017 in press	Original Article

115	Wakabayashi T, Motomura K, Ohka F	脳神経外科	高齢者の悪性神経膠腫の治療の現状	Geriatric Neurosurgery.2017.3 29 21-24	Review
116	Watanabe T	脳神経外科	解剖を中心とした脳神経外科手術手技内視鏡によるkeyhole transcranial approachのバリエーション	Neurological Surgery 脳神経外科 45巻6号 2017.Jun	Original Article
117	Kadomatsu Y, Mori S, Ueno Y, Fukumoto K, Uchiyama M, Sigemitsu K, Yoshioka H, Yokoi K.	呼吸器外科	上大静脈および腕頭静脈合併切除を施行した胸部悪性腫瘍症例における血行再建術式と周術期管理の検討	日呼外会誌 2017.May 31 (4), 446-452	Original Article
118	Nakamura S, Kawaguchi K, Fukui T, Hakiri S, Ozeki N, Yokoi K.	呼吸器外科	肋骨破壊を伴う肺膿瘍の治療:膿瘍腔開放・胸壁合併切除・開窓術後、EWSによる細気管支瘻コントロール下に有茎筋皮弁充填術を施行した1例	日呼外会誌 2017.Nov 31 (7), 944-949	Case Report
119	Mutsuga M, Usui A.	心臓外科	【進化した大動脈基部置換術】Bio-Bentall手術の展望	胸部外科. 2018 Jan;71(1):37-42.	Original Article
120	Tsuchikawa Y, Kobayashi K, Shimizu M, Kainuma M, Usui A.	心臓外科	心臓外科術後にICU-acquired deliriumを発症した患者の術前身体機能特性	日本集中治療医学会雑誌 (1340-7988).2017.Nov.24(6):619-624	Original Article

121	Abe T, Usui A.	心臓外科	【胸部外科領域における合併症予防のための周術期管理】心臓血管領域 急性大動脈解離における腹部臓器虚血 手術の工夫と術後管理	胸部外科.2017 Jul;70(8):605-611.	Original Article
122	Tokuda Y, Usui A.	心臓外科	【循環器疾患患者さんとフレイル・サルコペニア】高齢者の心臓大血管手術とフレイル・サルコペニア	循環器ナーシング.2017 May;7(5):36-43	Original Article
123	Kamei Y	形成外科	【小児外来必携 お子さまの病気を専門医がわかりやすく説明します(II)】鳩胸形が気になって治したいのですが(解説/特集)	小児外科 (0385-6313)49巻1号 Page68-69(2017.01)	Others
124	Kato C, Watanabe T, Endo H, Matsushita T.	輸血部	全自動輸血検査システムORTHO VISIONを使用した抗体価測定	日本輸血細胞治療学会誌 (1881-3011)2017.Aug.63(4) 585-591	Original Article
125	Iwagao A, Hanabusa H, Fukutake K, Ammano K, Taki M, Kuwahara M, Yang J, Kobayashi M, Yamamoto K, Matsushita T, Shima	輸血部	血友病Bに対する半減期延長型遺伝子組換え凝固第IX因子アルブミン融合タンパク製剤(rIX-FP)の第III相臨床試験における日本人患者サブ解析	日本血栓止血学会誌 (0915-7441)2017.Aug.28(4)502-509	Original Article
126	Iseki A, Hata S, Kato K, Kobayashi H, Hara T, Shimoyama Y, Nakamura S, Matsushita T.	輸血部	浸潤性小葉癌組織球様細胞亜型 (Histiocytoid breast carcinoma)の1例	医学検査(0915-8669)2017.May.66(3)289-296	Case Report

127	Numaguchi A	救急科	平成27年度 愛知県における重症小児患者の診療実態に関する調査【前編】二次調査報告	愛知醫報. 2017.5;2046:8-13	Original Article
128	Numaguchi A	救急科	平成27年度 愛知県における重症小児患者の診療実態に関する調査【後編】二次調査報告	愛知醫報. 2017.6;2048:2-5	Original Article
129	Numaguchi A	救急科	愛知県における重症小児患者の診療実態に関する調査報告	愛知醫報. 2017.11;2057:9-14	Original Article
130	Numaguchi A	救急科	4 チャイルド・デス・レビューの実施に向けて～小児医療者は何ができるか～ 愛知県における多施設共同でのチャイルド・デス・レビュー実施の取り組み	小児保健研究. 2018.1;77(1):23-26	Original Article
131	Matsuda N	救急科	Q1 COPDでの高濃度酸素投与の問題点と対策について教えてください	急性期NPPVハンドブック、2017年10月1日:168-170	Original Article
132	Matsuda N	救急科	ショックにおけるカテコールアミンの適正使用	小児救命救急・ICUピックアップ1、2017年11月15日:93-102	Original Article

133	Matsuda N, Higashi M	救急科	敗血症の診断と治療	集中治療医学レビュー、 2018年2月20日:198-206	Original Article
134	Matsuda N	救急科	救急・集中治療 最新 ガイドライン 2018- 2019	成人の敗血症性ショックの 診療指針、2018年2月20 日:78-83	Original Article
135	Matsuda N	救急科	救急・集中治療アドバ ンス 重症患者にお ける急性肝不全・急 性腎障害・代謝異常	糖尿病:急性期血糖管理、 2018年3月10日:235-244	Original Article
136	Higashi M, Matsuda N	救急科	経腸栄養における超 音波の役割	INTENSIVIST、2017.Jan 9:144-147	Review
137	Matsuda N	救急科	集中治療のバンドル 化と仕組み化	日本医事新報、2017.Jul 4866:26-35	Review
138	Matsuda N	救急科	ICUにおける患者ア セスメント. 日本版敗 血症診療ガイドライン における人工呼吸療 法と血液浄化法の位 置づけ	Clinical Engineering 2017.Oct 28:837-846	Review

139	Hatano T, Matsuda N, Iguchi M, Yagi T, Ejima T, Adachi Y, Numaguchi A	救急科	菌血症診断における プロカルシトニンの有 効性の検討	日集中医誌 2017.Mar 24:115-20	Original Article
140	Mizuno Y, Inoue T, Takagi Y, Hattori K, Kadono I, Nishida Y, Ogura Y, Nagaya M, Ito S	リハビリテーション部	当院における小児肝 移植患者に対する呼 吸リハビリテーション の現状	第39回国立大学リハビリ テーション療法士学術大 会誌39;122-126.2018	Original Article
141	Suzuki K, Kako M, Takegami Y, Amano T, Seki T	リハビリテーション部	人工股関節全置換術 前の身体活動量は術 後の下肢筋力と歩行 能力および在院日数 と関連する	日本人工関節学会誌 47:255-256.2017.Dec	Original Article
142	Yoshida A, Okamoto S, Tobinaga M, Nishikawa K, Wakabayashi T	リハビリテーション部	血行再建術後のモヤ モヤ病児に対する作 業療法における復学 支援一児の好む作業 活動を選択すること で、苦手な課題への 取り組みが可能となっ た事例—	作業療法.2017.10 36 507-515	Original Article
143	Tomida S, Yoshida A, Arai E, Yasuda S, Nishikawa K, Matsui Y, Sugiura H, Nishida Y	リハビリテーション部	軟部悪性腫瘍広範切 除に伴い肩甲骨の大 部分を切除した症例 に対して復職を目的 にアクティビティを用 いた介入の報告	第39回国立大学リハビリ テーション療法士学術大 会誌 39;30-35 2018	Original Article

計143件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
・ 手順書の主な内容 倫理審査委員会業務（利益相反マネジメント、試料等の保管、対応表の管理、有害事象、審査受託、教育等）及び 研究者の申請についての手順・方法等	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年37回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
・ 規定の主な内容 利益相反の定義、教職員等の責務、委員会の組織等	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年12回

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年8回
・ 研修の主な内容 改正指針の概要について、臨床研究をめぐる環境と倫理、臨床介入研究の倫理審査におけるポイント、臨床研究法の概要について	

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

各診療科に所属して、初期研修によって習得された基本的診療能力に上乘せられる、医師としての総合的診療能力の習得に加えて、当該診療科で実施されている先進的な医療に特化した研修を行うことで、医師としての広くかつ専門的経験を蓄積しながら、専門医資格の取得等を目指す後期研修を実施している。

また、新しい専門医制度の平成30年4月開始に伴い、全19領域の基幹病院として、日本専門医機構に提出した各領域のプログラムに基づき、専門医師資格の取得を目指す後期研修を実施している。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	197人
-------------	------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
佐藤 寿一	総合診療科	講師	32年	
葛谷 雅文	老年内科	教授	35年	
清井 仁	血液内科	教授	32年	
室原 豊明	循環器内科	教授	33年	
廣岡 芳樹	消化器内科	准教授	32年	
長谷川 好規	呼吸器内科	教授	38年	
有馬 寛	糖尿病・内分泌内科	教授	30年	
丸山 彰一	腎臓内科	教授	29年	
勝野 雅央	脳神経内科	教授	23年	
柳野 正人	消化器外科一	教授	39年	
小寺 泰弘	消化器外科二	教授	33年	
古森 公浩	血管外科	教授	36年	
小倉 靖弘	移植外科	教授	27年	
菊森 豊根	乳腺・内分泌外科	講師	29年	
碓氷 章彦	心臓外科	教授	37年	
横井 香平	呼吸器外科	教授	40年	
亀井 譲	形成外科	教授	33年	
内田 広夫	小児外科	教授	29年	
西脇 公俊	麻酔科	教授	34年	
高橋 義行	小児科	教授	26年	
吉川 史隆	産科婦人科	教授	37年	
尾崎 紀夫	精神科	教授	36年	
石黒 直樹	整形外科	教授	38年	
寺崎 浩子	眼科	教授	38年	
秋山 真志	皮膚科	教授	32年	

後藤 百万	泌尿器科	教授	38年
曾根 三千彦	耳鼻いんこう科	教授	31年
長縄 慎二	放射線科	教授	31年
若林 俊彦	脳神経外科	教授	37年
松田 直之	救急科	教授	25年
西田 佳弘	リハビリテーション科	教授	30年
日比 英晴	歯科口腔外科	教授	31年
中村 栄男	病理部	教授	39年
八木 哲也	中央感染制御部	教授	30年
安藤 雄一	化学療法部	教授	28年
清井 仁	卒後臨床研修・キャリア形成支援センター	教授	32年

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容

【看護部】

看護部では、論理的思考過程を養い、専門職として自律し、主体的に看護活動ができる看護師の育成を目指し研修、教育を実施している。

新人には卒後臨床研修制度を実施し、外科系、内科系の2部署をローテーションすることで、確実な知識と技術を習得し、実践できる看護師の育成を目指している。

特に、フィジカルアセスメントを中心としたsaving lifeナース育成研修を実施し、患者の変化に早期に気づき、患者の早期回復に向けた看護実践ができる看護師の育成を目指している。

JCI受審に向けて、一次救命、二次救命講習会の受講を2年ごとの更新計画で実施している。

【医療技術部】

人材育成プログラム及び研修制度に関する研修（慶應義塾大学病院例）

・研修の期間・実施回数

【看護部】

平成29年4月～平成30年3月、44のプログラム、延べ20,530時間

【医療技術部】

平成30年2月21日（水）17:30～19:30・1回

・研修の参加人数

【看護部】

延べ4182人

【医療技術部】

84名

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容

【臨床研究セミナー】

臨床研究を担う人材の育成を目的とし、先端医療・臨床研究支援センターが毎月1,2回程度開催している。臨床研究に従事する職員（医師及び歯科医師も含む）、研究者、大学院生等を対象としている。講習内容は毎回異なり、法規、知財、モニタリング等、多岐に渡るテーマでセミナーを実施している。

・研修の期間・実施回数

1セミナーにつき1時間半。

平成29年度はのべ18回開催した。（DVD上映でのセミナー5回を含む）

・研修の参加人数

平成29年度はのべ3,147名が受講した。（DVDでの受講者329名を含む）

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

・研修の主な内容

・研修の期間・実施回数

・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 2. 現状
管理責任者氏名	病院長 石黒 直樹
管理担当者氏名	副病院長、医療の質・安全管理部長 長尾 能雅 病院長補佐、メディカルITセンター長 白鳥 義宗 病院長補佐、薬剤部長 山田 清文 総務課長 上野 哲也 医事課長 古川 一広

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十一条の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課
		各科診療日誌	中央管理
		処方せん	中央管理
		手術記録	中央管理
		看護記録	中央管理
		検査所見記録	中央管理
		エックス線写真	中央管理
		紹介状	中央管理
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十一条の三第二項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	人事労務課
		高度の医療の提供の実績	医事課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	経営企画課, 医事課
		高度の医療の研修の実績	人事労務課
		閲覧実績	総務課, 医事課
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課
	規則第一条の十一第一項に掲げる事項	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課, 薬剤部
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療の質・安全管理部
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療の質・安全管理部
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療の質・安全管理部
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療の質・安全管理部	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一	院内感染対策のための指針の策定状況	医療の質・安全管理部
	第二項	院内感染対策のための委員会の開催状況	医療の質・安全管理部
	第一号	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療の質・安全管理部
	第三号	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療の質・安全管理部
	第四号	医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部
	第五号	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
	第六号	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
	第七号	医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
	第八号	医療機器安全管理責任者の配置状況	経理課
	第九号	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	経理課, 臨床工学技術部
	第十号	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	経理課, 臨床工学技術部
第十一号	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	経理課, 臨床工学技術部	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療の質・安全管理部
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療の質・安全管理部
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療の質・安全管理部
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	メディカルITセンター
		医療安全管理部門の設置状況	医療の質・安全管理部
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医事課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	薬剤部
		監査委員会の設置状況	総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療の質・安全管理部
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療の質・安全管理部
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療の質・安全管理部
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	監査室
		職員研修の実施状況	医療の質・安全管理部
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	総務課
管理者が有する権限に関する状況	総務課		
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	<input checked="" type="radio"/> 2. 現状	
閲覧責任者氏名	総務課長 上野 哲也		
閲覧担当者氏名	総務課病院事務係長 水野克彦		
閲覧の求めに応じる場所	総務課		
閲覧の手続の概要 病院の管理及び運営に関する諸記録は、公文書等の管理に関する法律の規定に基づき、保有する法人文書ファイルとして、名称、保存期間、文書管理者、保存場所、その他の事項を記載した法人文書ファイル管理簿を作成し、一般の閲覧に供するとともに、公表しています。			

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0件
閲覧者別	医師	延	件
	歯科医師	延	件
	国	延	件
	地方公共団体	延	件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全管理に関する基本的な考え方 ・ 組織に関する基本的事項 ・ 医療に係る安全管理のための従業者に対する研修に関する基本方針 ・ 事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 ・ 医療システムの質改善 ・ 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 ・ 患者との間の情報の共有に関する基本方針 ・ 患者からの相談等への対応に関する基本方針 	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 設置の有無 (有・無) ・ 開催状況：年 16 回 ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療事故発生の防止に努め、かつ、発生した医療事故への適切な対応 病院全体の医療の質向上を積極的に図る。 及びこれらの活動のために次の事項を審議する。 ・ 医療事故の防止及び医療安全推進に関する事項 ・ 医療上の紛争処理に関する事項 ・ 医療の質向上に関する事項 	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 30 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容 (すべて)： <ul style="list-style-type: none"> ・ 全職員、外注業者を対象として、「JCI受審への進捗とこれから」「国際患者安全目標 (IPSG)～JCIに求められる具体的取り組み～」 「新しいダブルチェックの方法と指差呼称」「みんなで取り組む医療安全」「インフォームドコンセントについて」「7次システムにおける全死亡事例報告システムについて」等をテーマとした研修を実施 ・ TeamSTEPPS研修を計10回実施し、1175名が受講した ・ 新規・中途採用職員を対象として、採用時に医療安全ポケットマニュアルの内容について研修を実施 ・ 平成28年度からは、各種会議で医療の質・安全管理部から周知した重要伝達事項について、各職員の理解度を確認するために、簡易なテストを実施し、解説を行っている。 <p>※上記実施状況は会場にて実施した回数 (DVD貸出及びeラーニング受講は除く)</p>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 各部門とのインシデント検討会にて報告事例を審議し、改善に結びつける。(33回開催) ・ 重大事故に関しては外部委員主導の事故調査委員会などを開催し、そこで得られた分析結果や提言を踏まえ、再発防止に結びつける。(2回開催) ・ 多職種が関連した事例等については、カンファレンス形式による検討会を開催し、改善に活かしている。(2回開催) ・ 方針・手順書、教育実践、事例抽出、Measure等のグループから成る病院質向上推進本部を設置し、業務の質改善に取り組む。(12回開催) ・ インシデント報告総件数 (10133件) 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	(有)・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： ・ 院内感染対策に関する基本的な考え方 ・ 院内感染対策のための委員会と組織 ・ 院内感染対策のための従業者に対する研修に関する事項 ・ 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 ・ 院内感染発生時の対応に関する基本方針 ・ 病院感染リスクアセスメントに基づいた感染対策の立案 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 11 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <p>院内感染の防止に努めるとともに、発生した感染事例について適切な対応を図る。 これらの活動のため、次の事項を審議する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 院内感染の予防及び対策等に関する事項 ・ 患者の取扱いに関する事項 ・ 医療従事者への感染予防に関する事項 ・ 感染症診療支援及び抗菌薬適正使用に関する事項 ・ その他院内感染対策及び感染症診療支援に関する事項 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 21 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容（すべて）： ・ 全職員、清掃業者従事者及び廃棄物運搬・収集業務従事者を対象として、「JCI受審に向けて」「JCI国際認証病院で求められる感染対策の取り組み～患者安全のガバナンスとリーダーシップ～」 「JCIを踏まえた院内感染対策」等をテーマとした研修を実施 ・ 清掃業者を対象として、「私たちは清掃のプロです」をテーマとした研修を実施 ・ 新規・中途採用職員を対象として、採用時に「針刺し・血液体液曝露」などをテーマとした研修を実施 <p>※上記実施状況は会場にて実施した回数（DVD貸出及びeラーニング受講は除く）</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有)・無 ・ その他の改善のための方策の主な内容： ・ 全病棟と外来、部門を対象に感染対策の知識、手指衛生などの感染対策の実施状況、環境整備のチェックを中心としたICTラウンドの実施 ・ MRSA新規検出症例数の独自介入基準を設け、基準に合致した部署に対して手指衛生観察巡回などを実施し、感染対策の強化を図っている ・ NICU、MICUとの定期的なミーティング ・ 抗菌薬適正使用の推進を目的とした薬剤部とのミーティング ・ 診療科横断的な感染症症例コンサルテーションと血液培養陽性例への介入 ・ 4職種の実務的メンバーによるICTコアミーティングを週1回行い、全病院的に感染対策が漏れなく実施されるよう検討・管理している 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 4回
<p>・研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師・歯科医師・看護師・薬剤師・臨床工学士・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士を対象とした医薬品の安全使用に係る研修(医薬品の保管管理について：医薬品の温度管理、ハイアラート薬の保管管理、製剤見本の取り扱い)を実施した。 ・医師・歯科医師・看護師・薬剤師・臨床工学士・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士を対象とした医薬品の安全使用に係る研修(医薬品の保管管理について：麻薬の保管管理、ハイアラート薬の保管管理)を実施した。 ・新任看護師を対象とした研修(薬剤管理①、薬剤管理②)を実施した。 ・研修医を対象とした研修(薬剤安全プログラム・医薬品の取り扱いについて)を実施した。 	
<p>③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 (有・無) ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： <p>医薬品の採用・購入に関する事項、医薬品の管理に関する事項、患者に対する投薬指示から調剤に関する事項、患者に対する与薬や服薬指導に関する事項、医薬品の安全使用に係わる情報の取り扱いに関する事項、危険薬の取り扱い、ハイアラート薬の取り扱い、名称類似および外観類似薬の取り扱い、他施設との連携に関する事項、適応外、禁忌等の処方に係わる確認および指導に関する事項、医薬品の安全使用のための業務手順書に基づく業務の遂行に関する事項</p>	
<p>④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例(あれば)： 妊娠中にトキソプラズマに初感染した場合、胎児への感染が起こりうる。妊娠初期のトキソプラズマ症の母子感染リスクを確実に低減する治療法はないが、海外ではスピラマイシンの投与により胎児感染が減少したとの報告があり、投与が推奨されている。しかし、スピラマイシンは日本では発売されていないため、スピラマイシン酢酸エステルがわが国では一般的である。しかしながら、現在わが国では保険適用がされていない現状である。上記治療は、産婦人科診療ガイドライン～産科編2017に掲載されており、投与が推奨されている。こうした背景より、産婦人科より妊娠中のトキソプラズマ症に対するスピラマイシン酢酸エステルの適応外使用申請の申請があった。この適応外使用申請を未承認新規医薬品等管理室で受理し、申請書類、引用文献等を確認し、疑問点等を申請医師に確認した。その後、未承認新規医薬品等評価委員会に審査を依頼した。評価委員より挙げられた指摘事項を申請医師に連絡し、対応いただいた。未承認新規医薬品等評価委員会より申請について意見をいただき、医薬品安全管理責任者により適当と判断された。(スピラマイシンは日本産科婦人科学会より開発要望が出され、厚生労働省の「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議」において医療上の必要性が高い薬剤として評価がなされた。2014年11月にサノフィが開発要請を受け、2018年7月に「先天性トキソプラズマ症の発症抑制」の効能・効果で厚生労働省より製造販売承認された。) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 院内で収集されたインシデント報告等から業務を見直し、マニュアルや方針・手順書を改訂している。 ・ 薬剤部のクオリティー&セーフティマネジャーおよび病棟担当薬剤師が、診療科(部)、病棟、中央診療施設などにおいて、医療の質・安全管理部と連携して、各部署内における医薬品の安全管理に関する指導を行っている。 ・ 医薬品に係わる適正使用に関する情報や副作用情報を薬事委員会や医療の質向上と安全推進委員会等で報告している。 ・ 必要に応じて薬品情報室から安全使用のための情報を文書にて各病棟、外来診療科、その他の部署に配布するとともにメールにて配信している。さらに、電子カルテのDI参照のお知らせ 	

せ画面、薬剤部ウェブサイトにも安全使用のための情報を掲載し職員への周知徹底に努めている。
・重要度の高い情報については、電子カルテのトップページや院内広報：薬剤部ページにも掲載している。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	随時
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： ・人工呼吸器・除細動器など特に安全使用に際して技術の習得が必要と考えられる機器に関して、医療機器・材料安全管理室が年2回実施。 ・放射線部門にて直線加速器と放射線照射装置に関する年2回の定期研修を実施。 ・その他の医療機器についても各部署にて適宜勉強会を実施。 (随時実施) ・新卒者のオリエンテーションにて、医療機器の安全使用のための研修を実施。 ・研修医や看護師を対象に臨床工学技士・メーカーによる研修の実施。 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無) ・ 機器ごとの保守点検の主な内容： ・医療機器の管理を医療機器管理ソフトにて行っており、購入日・使用場所・保守点検状況等の管理を行っている。 ・臨床工学技士が生命維持管理装置(人工心肺・血液浄化・不整脈・心臓カテーテル・OPE・ICU関連)の操作・保守点検・管理を行っている。 ・院内で中央管理する機器の定期点検は電気安全解析装置などのシミュレーターを用いて実施している。また交換パーツについてはメーカー講習会を受講し、供給を受けて院内で行っている。 ・ダヴィンチやX線撮影装置など保守契約を結んでいるものについては、機器の空き状況を確認し実施している。 ・手術室に委託業者が常駐して医療機器の日常点検や不具合発生時の対応などを行う、医療機器保守管理業務契約を締結している。 ・その他医療機器についても、必要に応じ定期点検等の保守契約を結んでいる。 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例(あれば)： ・未承認については、H29年度の実績ない。 ・適用外については、Nブチル-2-シアノアクリレート(NBCA)を適用外使用した事例。 腫瘍病変、血管瘤、血管奇形、血流改変等の治療で動脈塞栓術や静脈塞栓術を行う際に、NBCAは血管内で瞬時に固まり十分な塞栓効果が得られ、液状塞栓物質であることからカテーテルの通過性も良好で、血管塞栓術の塞栓材として優れている。しかしNBCAの血管内使用は、保険適応がなく薬剤添付文書では使用禁忌となっている。しかし、NBCA以外に有用な液状塞栓物質はないため、NBCAを用いて血管塞栓術を行った。 ・ その他の改善のための方策の主な内容： PMDAやメーカー、納入業者からの報告を受取り、MLCEニュースやMDI通知メール、電子カルテに掲載するなど電子媒体を利用して関連部署での情報共有を実施している。 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有 無
<p>・ 責任者の資格 (医師・歯科医師)</p> <p>・ 医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療安全管理責任者を配置しており、医療の質・安全管理部長、医療の質向上と安全推進委員会委員長を務め、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者を統括している。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (15名) ・ 無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・ 医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>医薬品情報は、整理した上で薬事委員会月例報告として月1回院内へ周知している。周知状況の確認は、各診療科の薬事委員が周知完了報告を薬剤部薬品情報室に提出することにより行っている。また、各診療科の周知状況は薬事委員会にて報告している。</p> <p>・ 未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>(適応外)</p> <p>適応外については、薬品情報室が未承認新規医薬品等評価委員会承認した適応外使用医薬品を「適応外投与(承認)一覧」として部内に配信し情報を共有している。薬剤師は処方監査時に適応外使用を把握した場合は、患者への説明及びカルテへの記載が必要であること、未承認新規医薬品等評価委員会への申請が必要であることを医師に指導して記録を残している。</p> <p>(禁忌)</p> <p>禁忌処方をチェックするシステムは電子カルテ上にあり、医師が処方確定時にアラートが表示される。また、薬剤部で印字された処方せん下部にもアラートが印字される。薬剤師は処方監査時にこのアラート情報を確認し、個別に医師へ連絡し、当該医師の対応方針を確認した後に記録を残している。</p> <p>(未承認薬)</p> <p>未承認薬は未承認新規医薬品等評価委員会へ申請し承認を得た上で使用されている。必要に応じて副作用報告や個別の経過報告を行っている。</p> <p>未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門については、「名古屋大学医学部附属病院未承認新規医薬品取扱要項」および「名古屋大学医学部附属病院未承認新規医薬品等評価委員会に関する要項」を制定した。</p>	

<ul style="list-style-type: none"> ・ 担当者の指名の有無 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 ・ 担当者の所属・職種： <ul style="list-style-type: none"> (所属：薬剤部, 職種 薬剤師) (所属： , 職種) (所属： , 職種) (所属： , 職種) (所属： , 職種) (所属： , 職種) (所属： , 職種) (所属： , 職種)
--

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無) ・ 説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容： <p>目的、方針、適応範囲、定義、役割と責任、遵守と監視、手順、説明と同意の種類、説明と同意の確認のプロセス、説明・同意書の文書様式、説明及び同意に関し問題が起こった場合、等</p> 	

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容： <p>「診療録等内部監査要項」に基づいて、記載内容の確認を行い、その結果を病歴管理委員会で報告をしている。また、十分でない事例が認められる場合には、当該医師へ必要な指導を行うとともに、各部署に通知等をして診療録等の精度向上に努めている。</p> 	

⑥ 医療安全管理部門の設置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員：専従 (7) 名、専任 () 名、兼任 (6) 名 <ul style="list-style-type: none"> うち医師：専従 (2) 名、専任 () 名、兼任 (3) 名 うち薬剤師：専従 (1) 名、専任 () 名、兼任 (2) 名 うち看護師：専従 (3) 名、専任 () 名、兼任 () 名 (注) 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ JCI 基準に準拠した方針・手順書の作成と遵守状況のモニタリング ・ 品質管理手法を用いた改善効果の測定 ・ 全部門からのインシデント・アクシデント情報の集積と分析 	

- ・院内の伝達会議、安全研修、学生教育等による周知、啓発
- ・重大アクシデントに対し、病院全体で対応できる治療連携体制の起動
- ・医療事故に対する第三者による事例検証（医療事故調査）
- ・適切なインフォームド・コンセント体制の整備

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（ 13 件）、及び許可件数（ 13 件）
- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・活動の主な内容：
 - ・申請内容を確認するとともに、委員会に対し提供の適否等について意見を求める。
 - ・部門の長は、委員会の意見を踏まえ提供の適否等について決定し診療科長へ通知
 - ・部門の長は、適正な手続きに基づいて提供されていたかについて、定期的、又は患者が死亡した場合には、手術記録、診療録等の記載内容を確認
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（ 有 ・ 無 ）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・医薬品における前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（1 件）、及び許可件数（1 件）
- ・医療機器における前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（1 件）、及び許可件数（1 件）
- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有 ・ 無 ）

・活動の主な内容：

(医薬品の場合) 診療科の申請医師は申請書類を薬剤部未承認新規医薬品等管理室に提出する。未承認新規医薬品等管理室の薬剤師は申請書類(申請書、説明同意文書、確認表)と引用文献等の内容を確認し、疑義等について申請者に回答の依頼をする。その後、未承認新規医薬品等評価委員会にて評価委員が申請内容を審査する。事前に評価委員から指摘事項等を挙げ、その内容を申請医師に連絡する。申請医師は書類の修正等委員会前にできるだけ対応していただき、未承認新規医薬品等評価委員会で申請内容の説明、指摘事項等の回答等をする。

申請が適当と判断され、患者に使用された後、申請医師は定期的に経過報告書を提出する。未承認新規医薬品等管理室の薬剤師は、同意の取得、副作用がモニタリングされているか等遵守状況について確認を行う。

(医療機器の場合)

未承認新規医療機器等の使用の適否及び使用条件について、医療機器選定委員会にて審議した。使用医療機器の必要性や安全性、患者への同意書の内容について重点的に審議した。また、過去に承認し、継続的に使用している未承認新規医療機器についても、使用状況、不具合事例がなかったかを審議した。

- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (有 ・ 無)
- ・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 (有 ・ 無)

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 342 件
- ・ 上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 241 件
- ・ 上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容
死亡状況の確認及び審議

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・ 他の特定機能病院等への立入り (有 (病院名：東京大学医学部附属病院) ・ 無)
- ・ 他の特定機能病院等からの立入り受入れ (有 (病院名：滋賀医科大学医学部附属病院) ・ 無)
- ・ 技術的助言の実施状況
 - ・ インシデントやアクシデントの報告等の状況， 医療安全管理委員会の業務の状況， 医薬品等の

安全使用体制の状況、高難度新規医療技術又は未承認新規医薬品等を用いた医療の適否等を決定する部門の運用状況、監査委員会の業務の結果及び監査委員会からの指摘への対応状況についての助言があった。助言を受け、以下の対応を図っている。

- ・インシデント・アクシデント報告体制、そのスクリーニングから医療安全管理委員会を経て重要事項のフィードバック等の体制については、高い評価を得ており、引き続きその実効性を維持するように努めている。
- ・医薬品等の安全使用体制については、改善を求めるような指摘事項はなかった。
- ・高難度新規医療技術専門審査委員会に関する要綱及び高難度新規医療技術導入申請書を一部改訂し、当該医療提供の経験がある者や医療機関との連携を図るようにしている。
- ・監査委員会の開催時期を調整し、原則5月と11月に実施することとし、相互立入り前に調査が行われるようにしている。
- ・消化器外科一と消化器外科二の合併を検討している。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

地域連携・患者相談センター：相談窓口にて一次対応を行なっている。

安全管理に関連する事案については、医療の質・安全管理部と連携しながら適切に応じる体制を整えている。

各種相談については、担当者が対応。

地域連携・患者相談センター：相談員3名、MSW10名、看護師11名

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

- ・全職員、外注業者を対象として、「JCI受審への進捗とこれから」「国際患者安全目標（IPSG）～JCIに求められる具体的取り組み～」 「新しいダブルチェックの方法と指差呼称」「みんなで取り組む医療安全」「インフォームドコンセントについて」「7次システムにおける全死亡事例報告システムについて」等をテーマとした研修を実施
- ・TeamSTEPPS研修を計10回実施し、1175名が受講した
- ・新規・中途採用職員を対象として、採用時に医療安全ポケットマニュアルの内容について研修を実施
- ・平成28年度からは、各種会議で医療の質・安全管理部から周知した重要伝達事項について、各職員の理解度を確認するために、簡易なテストを実施し、解説を行っている。

※上記実施状況は会場にて実施した回数（DVD貸出及びeラーニング受講は除く）

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修

の実施状況

・研修の実施状況

管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者が、公益財団法人日本医療機能評価機構が実施する「平成29年度特定機能病院管理者研修」を受講した。

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

規則第7条の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基準の主な内容 <ol style="list-style-type: none"> 1. 人格が高潔で、学識が優れ、医学部附属病院内外の信頼を得ることができる者であること。 2. 医学部附属病院等における学生への教育、学術研究及び社会貢献に関して、調和のとれた運営を行うことができる者であること。 3. 医学部附属病院の運営にあたり、構成員の意見に耳を傾けつつ、迅速な意思決定を行う強い指導力を発揮することができる者であること。 4. 診療、臨床教育、臨床研究など大学病院特有のミッションに精通し、医療機関の管理者としてリスク対応を含めた高いマネジメント能力を持ち、多職種からなる構成員に対して、優れたリーダーシップを発揮できる者であること。 5. 医療安全管理業務の経験並びに医療安全を第一に考える姿勢及び指導力を備え、医療安全確保のために必要な資質・能力を有する者であること。 6. 医学部附属病院の安定的財政基盤の確立と効率的な組織編成を実現できる総合的運営能力を有する者であること。 7. 国際的な視野を持って医学部附属病院の運営を行うことができる者であること。 8. 医学部附属病院の現状を正確に分析するとともに、中長期的な目標に向かって将来ビジョンを具体的かつ明確に示し、全学及び医学部附属病院の課題について、総長と連携して取り組むことができる者であること。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 基準に係る内部規程の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無) ・ 公表の方法 ホームページにて公表

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有 <input checked="" type="radio"/> 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 (有 ・ 無) ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 (有 ・ 無) ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 (有 ・ 無) ・ 公表の方法 	

管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関 係
和田 肇	名古屋大学	○	理事又は副総長のうち総長が指名した者	有・無
長谷川 好規	名古屋大学		医学部教授会において構成員の専任教授のうちから選出された者	有・無
石黒 直樹	名古屋大学		医学部教授会において構成員の専任教授のうちから選出された者	有・無
後藤 百万	名古屋大学		医学部教授会において構成員の専任教授のうちから選出された者	有・無
柵木 充明	愛知県医師会		総長が委嘱した学外の有識者 名古屋大学医療安全管理業務監査委員会委員長として、本院の医療安全管理体制等について深い見識を有している。	有・無
鳥羽 研二	国立長寿医療研究センター		総長が委嘱した学外の有識者 名古屋大学特定臨床研究監査委員会委員長として、本院の臨床研究業務等について深い見識を有している。	有・無
平田 雅也	愛知県健康福祉部		総長が委嘱した学外の有識者 愛知県の医療に係る行政の担当責任者として、愛知県の医療行政について深い見識を有している。	有・無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	(有) 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 合議体の主要な審議内容 病院の経営、管理及び人事に関する企画、立案及び方針を決定する。 ・ 審議の概要の従業者への周知状況 病院部長会において各診療科長に報告するとともに、病院連絡会において各医局長に決定事項を周知している。 ・ 合議体に係る内部規程の公表の有無 (有 (無)) ・ 公表の方法 ・ 外部有識者からの意見聴取の有無 (有 (無)) 	

合議体の委員名簿

氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
石黒 直樹	○	医師	病院長
西脇 公俊		医師	副病院長
小寺 泰弘		医師	副病院長
清井 仁		医師	副病院長
長尾 能雅		医師	副病院長
市村 尚子		看護師	副病院長
永家 清考		事務	副病院長
安藤 雄一		医師	病院長補佐
白鳥 義宗		医師	病院長補佐
山田 清文		薬剤師	病院長補佐
安藤 善孝		臨床検査技師	医療技術部長

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無 (有 無)
- ・ 公表の方法
名古屋大学ホームページに掲載
- ・ 規程の主な内容

病院長の権限に関する内容は下記のとおり

- ・ 病院長は、病院の管理、運営をつかさどり、所属職員を統督する。
 - ・ 病院長は、病院で行われる診療について、その実施状況の報告を求め、又は自ら調査し、必要に応じて是正又は停止を命ずることができる
 - ・ 部長、科長、センター長、部門長等（以下「部長等」という。）の任命は、病院長が行う。
 - ・ 病院長は、部長等が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、これを免ずることができる。
 - 一 勤務実績がよくない場合
 - 二 心身の故障のため職務の遂行に支障があり、又はこれに堪えない場合
 - 三 その他必要な適性を欠く場合
 - ・ 部長等は、別に定める手続きを経ることなく、その意に反して免ぜられることはない。
 - ・ 病院長は、第4項の規定により部長等を免じたときは、その理由を明らかにしなければならない。
-
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割

副院長は、病院長から指示された具体的な事項を担当し、及び病院長が海外渡航等で不在の場合は、あらかじめ病院長が指名した副院長が、病院長の職務を代行する。
副院長は、病院長の職務を円滑に遂行させるため、病院の管理・運営等に関する企画・立案にかかわるとともに、広報の職務又は病院の教育・研究・診療にかかわる職務を分担する。
病院長補佐は、病院全体の立場に立ち、病院の管理・運営等に関し提案された企画立案等を検討し、病院長に提言する。
-
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者が、公益財団法人日本医療機能評価機構が実施する「平成29年度特定機能病院管理者研修」を受講。
新任部課長が、国立大学病院長会議が開催する「国立大学病院新任部課長研修」を受講。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況	有・無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年 2 回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>以下に掲げる事項を監査する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療安全管理に係る体制 ・ 医療安全管理責任者，医薬品安全管理責任者，医療機器安全管理責任者等の業務の状況 ・ 医療の質・安全管理部の業務の状況 ・ 医療の質向上と安全推進委員会の業務の状況 ・ その他医療安全管理に関して必要な事項 <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無 (有 無)</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無 (有 無)</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無 (有 無)</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無 (有 無)</p> <p>・ 公表の方法：</p> <p>名古屋大学医学部附属病院ホームページにおいて公開</p>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
柵木 充明	愛知県医師会	○	愛知県医師会長を務めており，医療安全に精通しているため。	有・無	1
三島 信彦	名古屋通信病院		名古屋通信病院長を務めており，医療安全に精通しているため。	有・無	1
長谷川 ふき子	成田・長谷川法律相談所		医療安全管理を得意とする弁護士であり，法律に関する高い識見を有しているた	有・無	1

			め。		
芦田 豊	全国健康保険協会愛知支部		全国健康保険協会愛知支部長を務めており、医療を受ける者として、医療に係る高い見識を有しているため。	有・ <input checked="" type="radio"/>	2
和田 肇	名古屋大学		総長が指名する理事・副総長	<input checked="" type="radio"/> ・無	3

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

名古屋大学監査室において、病院も含めた全学の業務方法書、規程、内規等の整備状況及び実施状況、年度計画に基づく組織及び制度全般の運営状況、人事管理状況などについて監査を行っている。

また、「名古屋大学における内部統制システムの整備及び運用に関する規程」を整備し、病院も含めた全学の業務状況を確認するため、内部統制委員会を年一回開催することとした。

・ 専門部署の設置の有無 (有 無)

・ 内部規程の整備の有無 (有 無)

・ 内部規程の公表の有無 (有 無)

・ 公表の方法

名古屋大学ホームページに掲載

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 名古屋大学役員会をもって充てることとし、病院の経営に関する事項については病院長、又は副病院長が出席し審議を行うこととしている。 ・ 会議体の実施状況（年 46回） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（<input checked="" type="radio"/>有・<input type="radio"/>無）（年 8回） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="radio"/>有・<input type="radio"/>無） ・ 公表の方法 名古屋大学ホームページで公表 			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
			有・無
			有・無
			有・無
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 4 号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none">・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)・ 通報件数 (年〇件)・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)・ 周知の方法 名古屋大学ホームページに掲載するとともに、職員に配付している「医療安全ポケットガイド」においても掲載し、案内している。

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
<p>・ 評価を行った機関名、評価を受けた時期</p> <p>公益財団法人 日本生産性本部 日本版医療MB賞クオリティクラブ (JHQC)</p> <p>平成28年7月19日から平成31年7月31日までです。</p>	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
<p>・ 情報発信の方法、内容等の概要</p> <p>1. 附属病院における臨床研究成果を①名古屋教育記者会会員15社へFax、記者会見を通じて、プレスリリースを行い、②医学系研究科ホームページに研究トピックスとして掲載し、広く学外</p> <p>・ 院外に向けて情報発信している。</p> <p>2. 診療内容・医療サービスや診療実績等の医療情報について、附属病院ホームページにおいて公開している。</p> <p>3. 患者や地域向けに広報誌を作成し、広く頒布している。また、一般市民を対象とした公開講座を毎年度開催し、地域市民に向けた教育・啓発活動にも取り組んでいる。</p>	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>
<p>・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p> <p>ア. 補助人工心臓を用いた重症心不全治療…心臓移植治療、心臓外科、循環器内科、ICU、麻酔科、精神科の診療科の他に、看護師、臨床工学技士、理学療法士（心臓リハビリ）、臨床心理士、栄養管理部、薬剤部が合同して患者管理を行っています。植込型補助人工心臓治療は心臓移植適応患者を対象とするため、多職種カンファレンスで適応を審査し、補助人工心臓移植から在宅管理、将来的な心臓移植までのシームレスな重症心不全治療を多職種で行っています。</p> <p>イ. 肝臓移植はチーム医療で行っている。（図1）</p> <p>ウ. 神経線維腫症1型患者に対して、15歳までと15歳以降に分け、それぞれ基本的に診療を担当する科を決め、他は症状に合わせて診療科を決めるシステムを構築した。15歳までの診療システムを示す。（図2）</p> <p>エ. 肉腫患者に対するサルコーマボード：整形外科、化学療法部、放射線科、緩和ケア科、外科、泌尿器科などが参加して、肉腫患者に対する診療方針に関する検討会を月1回開催している</p> <p>オ. 大動脈疾患における人工血管治療とステント治療の同時ハイブリッド手術…心臓外科と血管外科が合同して手術を行っている。</p> <p>カ. 閉塞性動脈硬化症、血管炎、バージャー病による四肢虚血に対する血管新生療法…循環器内科と血管外科が合同で適応検討、諸検査、治療を行っている。</p> <p>キ. NST、褥瘡対策チーム、RSTなど、複数診療科の医師と看護師、およびコメディカルからなる専門チームを整備し、定期回診や職員に対する教育活動を行っている</p>	

図 1

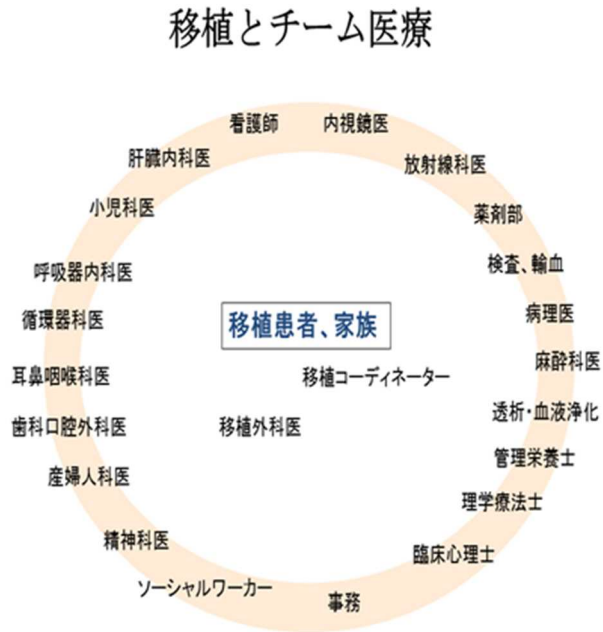


図 2

